

別添別紙1

項目	項目	入力/選択 /値/単位	必須/ 任意	入力・選択形式	備考①	備考②	備考③
1.診断書入力情報							
1-1	事業所情報	表示	—				
1	事業者名	入力	必須				
2	診断先事業所名	入力	必須				
3	業種	選択	必須	【業種一覧】シートの一覧から選択			
4	主要事業内容	入力	必須				
5	建物用途 (大項目)	選択	必須	別添別紙B 建物用途一覧で示す建物用途から選択			
6	建物用途 (小項目)	選択	必須	別添別紙B 建物用途一覧で示す建物用途から選択	本項目でテナントビルを選択した場合、「オフィス系」「商業複合系」を選択 大項目でオフィスを選択した場合、「自ビル系」「テナント専有部」を選択 大項目で工場を選択した場合、「加工・組立系」「印刷・製本」を選択	選択する建物用途によって、想定削減量およびベンチマーク区分が変動	
7	延床面積	入力	必須	入力形式: 数値	C02排出係数を算出するために使用		
8	設置設備 - 換気①~⑤	選択	必須	空調/照明/PC/風呂/全熱交換器/給湯/自動販売機/冷蔵: 冷凍/暖房用から選択	設置設備 - 換気を任意から選択すると、空調設備 - 換気も選択可能になる。 右記の上から選択できる設備 - 換気は最大9種類。	ここで選択した設備によって、運用改善 - 設備選定の対象設備を決定する。 ●運用改善は選択した設備に応じた設備に該当することで想定削減量をセッ ト。 ●設備選定「空調」「照明」のツール実装が必須とし、実行設備と更新予定設備の仕様を入力し、実行設備と更新予定設備のC02排出 係数を算出し、その差分から想定削減量をセッ ト。 「空調」「照明」以外の設備改善については別途委託者に協議し決定する。	
9	稼働時間① (昼)	選択	任意	00:00~00:00形式で選択	1日あたりの稼働時間を選択し、稼働日数/年の値を乗じ、年間稼働時間を算出		
10	稼働日数① (年)	入力	任意	入力形式: 数値	年間稼働時間の算出のため、1日あたりの稼働時間に乗じる。		
11	年間電力使用量 (kWh)	入力	必須	入力形式: 数値	年間使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
12	年間発電量 (kWh)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
13	月別電力使用量 (kWh)	入力	必須	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。 年間使用量については入力必須とする。また、電気料金請求書サンプルを掲載する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
14	年間発電量 (kWh) (電力使用量の内訳)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
15	月別発電量 (kWh)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
16	年間都市ガス使用量 (m³)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
17	月別都市ガス使用量 (m³)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
18	年間LPガス使用量 (m³)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
19	月別LPガス使用量 (m³)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
20	年間LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
21	月別LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
22	年間LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
23	月別LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
24	年間LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
25	月別LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
26	月別LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
27	月別LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
28	月別LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
29	月別LPG使用量 (L)	入力	任意	入力形式: 数値	月別使用量の直接入力 月別使用量が入力された場合は、月別使用量の合計を年間使用量にセッ	年間使用量は原油換算値及びC02換算値を算出する。	換算式は別添別紙2.省エネルギー診断報告書P13を参照
2-1	省エネ対策実施状況 (運用改善)	表示	—				
2-1-1	エネルギー管理体制等の整備状況	表示	—				
1	エネルギー管理体制の整備 - 確立がなされていますか	選択	必須	【実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で選択した設備 - 換気に関わらず表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断書入力情報でセッしたエネルギー使用量に対して、回答に応じ削減率を算出して算出 未実施削減率=1%、実施済削減率=10% ※0%にて、「未実施」が1つ以上あれば、診断結果に運用改善提案「エネルギー管理体制の整備」を表示	
2	エネルギー原単位の管理をされていますか	選択	必須	【実施済み】 【未実施】 から選択	同上	同上	
3	省エネルギーの管理目標を設定していますか	選択	必須	【実施済み】 【未実施】 から選択	同上	同上	
4	エネルギーデータを記録/活用していますか	選択	必須	【実施済み】 【未実施】 から選択	同上	同上	
5	換気の定期的な保守 - メンテナンスをされていますか	選択	必須	【実施済み】 【未実施】 から選択	同上	同上	
2-1-2	空調設備の省エネ対策実施状況	表示	—				
1	室内温度の適正化	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「空調設備」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断書入力情報で選択した建物用途に応じた想定削減量 (別添別紙3.想定削減量例を参照) をセッ 回答によって、想定削減量に上下制約を敷き、省エネ効果を算出する。 適宜で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「室内温度の適正化」を表示	- 選択済の定義は以下の通りとする。 実施済=90%以上、適宜で実施済=50%以上90%未満、一部実施済=10%以上50%未満、未実施=10%未満 - 設問又は委託者と協議し決定する
2	空調設備のフィンコイル、フィルターの清掃	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「空調設備」を選択した場合に表示	同上 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「空調設備のフィンコイル、フィルターの清掃」を表示	同上
3	空調運転時間の適正化	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「空調設備」を選択した場合に表示	同上 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「空調運転時間の適正化」を表示	同上
2-1-3	照明設備の省エネ対策実施状況	表示	—				
1	照度の適正化	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「照明設備」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断書入力情報で選択した建物用途に応じた想定削減量 (別添別紙3.想定削減量例を参照) をセッ 回答によって、想定削減量に上下制約を敷き、省エネ効果を算出する。 適宜で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択済の定義は以下の通りとする。 実施済=90%以上、適宜で実施済=50%以上90%未満、一部実施済=10%以上50%未満、未実施=10%未満 - 設問又は委託者と協議し決定する
2	不要時消灯	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「照明設備」を選択した場合に表示	同上 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「不要時消灯」を表示	同上
3	不要時消灯 (窓際照明の消灯)	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「照明設備」を選択した場合に表示	同上 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「不要時消灯 (窓際照明の消灯)」を表示	同上
4	不要時消灯 (昼休みの消灯)	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「照明設備」を選択した場合に表示	同上 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「不要時消灯 (昼休みの消灯)」を表示	同上
5	省エネ型ランプへの変更	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「照明設備」を選択した場合に表示	同上 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「省エネ型ランプへの変更」を表示	同上
2-1-4	換気設備の省エネ対策実施状況	表示	—				
1	換気運転の適正化	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「換気設備」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断書入力情報で選択した建物用途に応じた想定削減量 (別添別紙3.想定削減量例を参照) をセッ 回答によって、想定削減量に上下制約を敷き、省エネ効果を算出する。 適宜で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「換気運転の適正化」を表示	- 選択済の定義は以下の通りとする。 実施済=90%以上、適宜で実施済=50%以上90%未満、一部実施済=10%以上50%未満、未実施=10%未満 - 設問又は委託者と協議し決定する
2-1-5	全熱交換器の省エネ対策実施状況	表示	—				
1	全熱交換器の運転改善	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「全熱交換器」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断書入力情報で選択した建物用途に応じた想定削減量 (別添別紙3.想定削減量例を参照) をセッ 回答によって、想定削減量に上下制約を敷き、省エネ効果を算出する。 適宜で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「換気運転の適正化」を表示	- 選択済の定義は以下の通りとする。 実施済=90%以上、適宜で実施済=50%以上90%未満、一部実施済=10%以上50%未満、未実施=10%未満 - 設問又は委託者と協議し決定する
2-1-6	自動販売機の省エネ対策実施状況	表示	—				
1	省エネ型自動販売機の採用	選択	必須	【実施済み】 【適宜で実施済み】 【一部実施済み】 【未実施】 から選択	【診断書入力情報】で「自動販売機」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断書入力情報で選択した建物用途に応じた想定削減量 (別添別紙3.想定削減量例を参照) をセッ 回答によって、想定削減量に上下制約を敷き、省エネ効果を算出する。 実施済=90%以上、適宜で実施済=50%以上90%未満、一部実施済=10%以上50%未満、未実施=10%未満 選択済【実施済み】以外が選択された場合、診断結果に運用改善提案「換気運転の適正化」を表示	- 選択済の定義は以下の通りとする。 実施済=90%以上、適宜で実施済=50%以上90%未満、一部実施済=10%以上50%未満、未実施=10%未満 - 設問又は委託者と協議し決定する

2-1-7	パソコンの省エネ対策実施状況	表示	—						
	1 待機電力の削減	選択	必須	「実施済み」「適年で実施済み」「一部実施済み」「未実施」から選択	診断事業所情報で「PC」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断事業所情報で選択した建物用途に応じた想定削減量（別添別紙3. 想定削減量例を参照）をセッ ト回答によって、想定削減量と下照射率を併し、省エネ効果を算出する。 適年で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択既「実施済み」以外が選択された場合、診断結果に適用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択既の定義は以下の通りとする。 実施済み=90%以上、適年で実施済み=50%以上90%未満、一部実施済み=10%以上50%未満、未実施=10%未満 診断又は委託者と協議し決定する		
	2 PCディスプレイの輝度調整	選択	必須	「実施済み」「適年で実施済み」「一部実施済み」「未実施」から選択	診断事業所情報で「PC」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断事業所情報で選択した建物用途に応じた想定削減量（別添別紙3. 想定削減量例を参照）をセッ ト回答によって、想定削減量と下照射率を併し、省エネ効果を算出する。 適年で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択既「実施済み」以外が選択された場合、診断結果に適用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択既の定義は以下の通りとする。 実施済み=90%以上、適年で実施済み=50%以上90%未満、一部実施済み=10%以上50%未満、未実施=10%未満 診断又は委託者と協議し決定する		
3-1-8	給湯設備の省エネ対策実施状況	表示	—						
	1 給湯運転時間の見直し	選択	必須	「実施済み」「適年で実施済み」「一部実施済み」「未実施」から選択	診断事業所情報で「給湯設備」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断事業所情報で選択した建物用途に応じた想定削減量（別添別紙3. 想定削減量例を参照）をセッ ト回答によって、想定削減量と下照射率を併し、省エネ効果を算出する。 適年で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択既「実施済み」以外が選択された場合、診断結果に適用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択既の定義は以下の通りとする。 実施済み=90%以上、適年で実施済み=50%以上90%未満、一部実施済み=10%以上50%未満、未実施=10%未満 診断又は委託者と協議し決定する		
	2 給湯運転期間の見直し	選択	必須	「実施済み」「適年で実施済み」「一部実施済み」「未実施」から選択	診断事業所情報で「給湯設備」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断事業所情報で選択した建物用途に応じた想定削減量（別添別紙3. 想定削減量例を参照）をセッ ト回答によって、想定削減量と下照射率を併し、省エネ効果を算出する。 適年で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択既「実施済み」以外が選択された場合、診断結果に適用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択既の定義は以下の通りとする。 実施済み=90%以上、適年で実施済み=50%以上90%未満、一部実施済み=10%以上50%未満、未実施=10%未満 診断又は委託者と協議し決定する		
	3 給湯温度の見直し	選択	必須	「実施済み」「適年で実施済み」「一部実施済み」「未実施」から選択	診断事業所情報で「給湯設備」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断事業所情報で選択した建物用途に応じた想定削減量（別添別紙3. 想定削減量例を参照）をセッ ト回答によって、想定削減量と下照射率を併し、省エネ効果を算出する。 適年で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択既「実施済み」以外が選択された場合、診断結果に適用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択既の定義は以下の通りとする。 実施済み=90%以上、適年で実施済み=50%以上90%未満、一部実施済み=10%以上50%未満、未実施=10%未満 診断又は委託者と協議し決定する		
2-1-9	冷蔵・冷凍設備の省エネ対策実施状況	表示	—						
	1 冷蔵・冷凍設備設定温度の見直し	選択	必須	「実施済み」「適年で実施済み」「一部実施済み」「未実施」から選択	診断事業所情報で「冷蔵・冷凍設備」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断事業所情報で選択した建物用途に応じた想定削減量（別添別紙3. 想定削減量例を参照）をセッ ト回答によって、想定削減量と下照射率を併し、省エネ効果を算出する。 適年で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択既「実施済み」以外が選択された場合、診断結果に適用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択既の定義は以下の通りとする。 実施済み=90%以上、適年で実施済み=50%以上90%未満、一部実施済み=10%以上50%未満、未実施=10%未満 診断又は委託者と協議し決定する		
2-1-10	暖房設備の省エネ対策実施状況	表示	—						
	1 暖房用途の節電機能の活用	選択	必須	「実施済み」「適年で実施済み」「一部実施済み」「未実施」から選択	診断事業所情報で「暖房用途」を選択した場合に表示	エネルギー使用量の想定削減量は診断事業所情報で選択した建物用途に応じた想定削減量（別添別紙3. 想定削減量例を参照）をセッ ト回答によって、想定削減量と下照射率を併し、省エネ効果を算出する。 適年で実施済み=10%、一部実施済み=50%、未実施=100% 選択既「実施済み」以外が選択された場合、診断結果に適用改善提案「照度の適正化」を表示	- 選択既の定義は以下の通りとする。 実施済み=90%以上、適年で実施済み=50%以上90%未満、一部実施済み=10%以上50%未満、未実施=10%未満 診断又は委託者と協議し決定する		

3. 照明設備									
3-1	既存設備の変更（設備改善）	表示	—						
3-1-1	空調設備の変更	表示	—						
	1 高効率空調設備の導入	選択	必須	「はい」「いいえ」から選択	初期値は「いいえ」 「はい」を選択すると以下の入力項目が展開				
3-1-1-1	現在の照明設備概要	表示	—						
	1 設置場所	入力	任意						
	2 機器名称・型番	入力	任意						
	3 消費電力 [kW]	入力	必須	入力形式：数値					
	4 視覚的消費電力 [W]	入力	必須	入力形式：数値					
	5 器具種別	選択	必須	「電球」「省エネ型」「LED」から選択					
	6 1台あたりの定格エネルギー消費量（冷期）	入力	必須	入力形式：数値					
	7 1台あたりの定格エネルギー消費量（暖期）	入力	必須	入力形式：数値					
	8 1台あたりの定格エネルギー消費量（単位）	入力	必須	入力形式：数値					
	9 台数	入力	必須	入力形式：数値					
	10 1日あたりの稼働時間 [h/日]（冷期）	選択	必須	0~24から選択					
	11 年間稼働日数 [日/年]（冷期）	入力	必須	入力形式：数値					
	12 1日あたりの稼働時間 [h/日]（暖期）	選択	必須	0~24から選択					
	13 年間稼働日数 [日/年]（暖期）	入力	必須	入力形式：数値					
	14 年間総消費電力量 [kWh/年]	自動	—		燃料種別に応じた原燃換算エネルギー使用量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			
	15 年間CO2排出量 [t-CO2/年]	自動	—		燃料種別に応じた年間CO2排出量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			
3-1-1-2	更新後の照明設備概要	表示	—						
	1 設置場所	入力	任意						
	2 機器名称・型番	入力	任意						
	3 消費電力 [kW]	入力	必須	入力形式：数値					
	4 視覚的消費電力 [W]	入力	必須	入力形式：数値					
	5 器具種別	選択	必須	「電球」「省エネ型」「LED」から選択					
	6 1台あたりの定格エネルギー消費量（冷期）	入力	必須	入力形式：数値					
	7 1台あたりの定格エネルギー消費量（暖期）	入力	必須	入力形式：数値					
	8 1台あたりの定格エネルギー消費量（単位）	入力	必須	入力形式：数値					
	9 台数	入力	必須	入力形式：数値					
	10 1日あたりの稼働時間 [h/日]（冷期）	選択	必須	0~24から選択					
	11 年間稼働日数 [日/年]（冷期）	入力	必須	入力形式：数値					
	12 1日あたりの稼働時間 [h/日]（暖期）	選択	必須	0~24から選択					
	13 年間稼働日数 [日/年]（暖期）	入力	必須	入力形式：数値					
	14 年間総消費電力量 [kWh/年]	自動	—		燃料種別に応じた原燃換算エネルギー使用量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			
	15 年間CO2排出量 [t-CO2/年]	自動	—		燃料種別に応じた年間CO2排出量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			
3-1-2	照明設備の変更	表示	—						
	1 高効率照明設備の導入	選択	必須	「はい」「いいえ」から選択	初期値は「いいえ」 「はい」を選択すると以下の入力項目が展開				
3-1-2-1	現在の照明設備概要	表示	—						
	1 設置場所	入力	任意						
	2 機器名称・型番	入力	任意						
	3 ランプ種類	選択	必須						
	4 筐体形状	選択	必須	筐体形状であれば「はい」を選択してください。					
	5 1台あたりの灯数	入力	必須	入力形式：数値					
	6 定格光束 [lm]	入力	必須	入力形式：数値					
	7 1台あたりの消費電力 [W]	入力	必須	入力形式：数値					
	8 台数	入力	必須	入力形式：数値					
	9 点灯時間 (h/日)	選択	必須	0~24から選択					
	10 年間点灯日数 (日/年) [日/年]	入力	必須	入力形式：数値					
	11 年間電費使用量 [kWh/年]	自動	—		原燃換算エネルギー使用量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			
	12 年間CO2排出量 [t-CO2/年]	自動	—		年間CO2排出量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			
3-1-2-2	更新後の照明設備概要	表示	—						
	1 設置場所	入力	任意						
	2 機器名称・型番	入力	任意						
	3 ランプ種類	選択	必須						
	4 筐体形状	選択	必須	筐体形状であれば「はい」を選択してください。					
	5 1台あたりの灯数	入力	必須	入力形式：数値					
	6 定格光束 [lm]	入力	必須	入力形式：数値					
	7 1台あたりの消費電力 [W]	入力	必須	入力形式：数値					
	8 台数	入力	必須	入力形式：数値					
	9 点灯時間 (h/日)	選択	必須	0~24から選択					
	10 年間点灯日数 (日/年) [日/年]	入力	必須	入力形式：数値					
	11 年間電費使用量 [kWh/年]	自動	—		原燃換算エネルギー使用量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			
	12 年間CO2排出量 [t-CO2/年]	自動	—		年間CO2排出量を算出	換算式は別添別紙2. 省エネルギー診断報告書P13を参照			

4. 診断結果									
4-1	省エネポテンシャルサマリー	表示	—						
	1 事業者名	自動	—						
	2 診断先事業所名	自動	必須						別添別紙2. 省エネルギー診断報告書の表紙及びCP1、別添別紙4. 診断結果イメージを参照
	3 エネルギー削減量 [kWh/年]	自動	必須						別添別紙2. 省エネルギー診断報告書の表紙及びCP1、別添別紙4. 診断結果イメージを参照
					改善提案で算出された原燃換算エネルギー削減量の合計をセッ				別添別紙2. 省エネルギー診断報告書の表紙及びCP1、別添別紙4. 診断結果イメージを参照

東京都地球温暖化防止活動推進センター				最終決裁者		提出日	東京都産業労働局	
内部専門員	一次	二次	代理人	日付	印		日付	印
				/		/	/	

No. 2024-000

株式会社 ○○○○ 殿
省エネルギー診断報告書



2024年○○月

東京都地球温暖化防止活動推進センター
クール・ネット東京

2024-000

■ 総括

1. 省エネルギー診断概要

現地診断実施日

2024年〇〇月〇〇日

天気：

気温：〇〇.〇℃

診断実施者

東京都地球温暖化防止活動推進センター

〇〇 〇〇

//

〇〇 〇〇

診断内容

- 事前調査書
- 省エネルギー対策に関するヒアリング
- 現地診断

2. エネルギー削減量等

- ◆ 想定されるエネルギー削減量 〇〇.〇 kL/年
- ◆ 想定される二酸化炭素削減量 〇〇.〇 t-CO₂/年
- ★ 想定される光熱水費削減額 〇,〇〇〇 千円/年

2024-000

千L/年・GJ/年は自己記入で対応

■省エネルギー診断に基づく二酸化炭素削減量等のまとめ

改善提案 No.	提案	エネルギーの種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			省エネ量	原油換算	CO ₂ 削減量	CO ₂ 削減率	削減額	導入費	投資回収年
			MWh/年 千m ³ /年	kL/年	t-CO ₂ /年	%	千円/年	千円	年 ⑥/⑤
【運用改善】									
1-1	エネルギー管理体制の構築	電気	4.54	1.14	2.22	3.1	100		
1-2	エネルギー管理体制の構築	都市ガス	0.280	0.314	0.608	0.8	31		
1-3	エネルギー管理体制の構築	上下水	0.0676	-	0.0466	0.1	17		
2	空調設定温度の適正化	電気	6.32	1.59	3.09	4.3	139		
3	照度の適正化	電気	2.09	0.526	1.02	1.4	46		
	合計			3.57	6.98	9.7	333		
【設備改善】									
4	高効率空調設備の導入	電気	18.8	4.73	9.19	12.8	413	7,463	18.1
5	高効率照明器具の導入 (LED)	電気	2.80	0.705	1.37	1.9	61	2,080	-
6	高効率照明器具の導入 (誘導灯)	電気	2.03	0.511	0.993	1.4	45	335	7.4
7	デマンド監視装置の導入	電気	-	-	-	-	68	320	4.7
	合計			5.95	11.6	16.1	587	10,198	
	総計	-	-	9.52	18.5	25.8	920	10,198	-

総エネルギー使用量(原油換算値)	対策実施前	36.5 kL/年	-	対策実施後	27.0 kL/年	=	削減量	9.52 kL/年
総CO ₂ 排出量		71.8 t-CO ₂ /年			53.3 t-CO ₂ /年			18.5 t-CO ₂ /年

※総計値は個々の提案を単純集計したものです。同時に実施できない提案もあります。
 ※①～③については、有効桁数を3桁で表示しているため、合計値は単純合計値と異なる場合があります。
 ④⑦は小数点以下1桁表示、⑤⑥は整数表示としています。
 ※省エネ量及び導入費は想定による概算値です。

2024-000

■事業所の概要

1. 事業所概要

(1) 主要事業内容

○○○○

(2) 建物規模

延床面積 2,000 m²
 階数 地上○階、地下○階
 竣工年月 1976 年 2 月 <竣工後 ○○ 年経過>
 改修年月 2000 年 10 月 <○○設備の更新>
 2001 年 9 月 <△△設備の更新>

(3) 事業所データ

建物用途 テナントビル（オフィス系）
 6F 自社事務所（診断対象外：住居、倉庫）
 3～5F テナント事務所
 1F、2F 自社事務所
 従業員数 ○○人
 利用者数 ○○人

(4) 稼働時間、年間稼働日数・時間、稼働設備状況

対象	開始時刻	終了時刻	稼働時間 (時間)	年間稼働日数 (日)	年間稼働時間 (時間)	稼働設備	備考
3～5F事務所	8:30 ~	20:30	12	260	3,120	照、換、生	月～土（木休日）
	8:30 ~	20:30	12	217	2,604	空	年間稼働期間：○ヶ月
1、2F事務所	9:00 ~	20:00	11	250	2,750	照、換、生	月～金（時間外を含）
	9:00 ~	20:00	11	208	2,288	空	年間稼働期間：○ヶ月

※稼働設備の凡例 空：空調設備、照：照明設備、換：換気設備、生：生産設備

2024-000

(5) 主要設備の構成及び屋内環境測定結果

①空調設備の構成及び温度測定結果

空調の方式：EHP（電気式ヒートポンプ）、GHP（ガスヒートポンプ）

	外気	測定点①	測定点②	測定点③	測定点④
部屋名または測定箇所					
測定温度		00.0℃	00.0℃	00.0℃	00.0℃
夏期設定温度		00℃	00℃	00℃	00℃
冬期設定温度		00℃	00℃	00℃	00℃
設備稼働状況		入	切	入	—
備考	東京都推奨室内温度：夏期＝28℃、冬期＝20℃				

設備稼働状況
確認不可だった場合：—
換気扇等設置なしの場合：斜線罫線（/）

②換気設備の構成及びCO₂濃度測定結果

主な換気設備：換気扇、全熱交換器

	外気	測定点①	測定点②	測定点③	測定点④
部屋名または測定箇所					
測定CO ₂ 濃度	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm
設備稼働状況					
備考	ビル管理法の基準：1,000ppm以下（3,000㎡以上のビルに適用） 学校環境衛生の基準：1,500ppm以下				

③照明設備の構成及び照度測定結果

主な照明器具：蛍光灯、LED照明、水銀灯

	測定点①	測定点②	測定点③	測定点④
部屋名または測定箇所				
測定室の主な照明器具				
測定照度	Lx	Lx	Lx	Lx
備考	JISによる照度範囲：例 事務室 500～1,000Lx 学校環境衛生の基準：教室及びそれに準ずる場所の下限値は300Lx、教室及び黒板の照度は500Lx以上が望ましい。			

④その他主要設備

設備名：エレベータ、厨房、生産設備等

⑤エネルギー「見える化」機器（デマンド監視装置、デマンドコントローラ、BEMS等）の設置状況及び使用状況

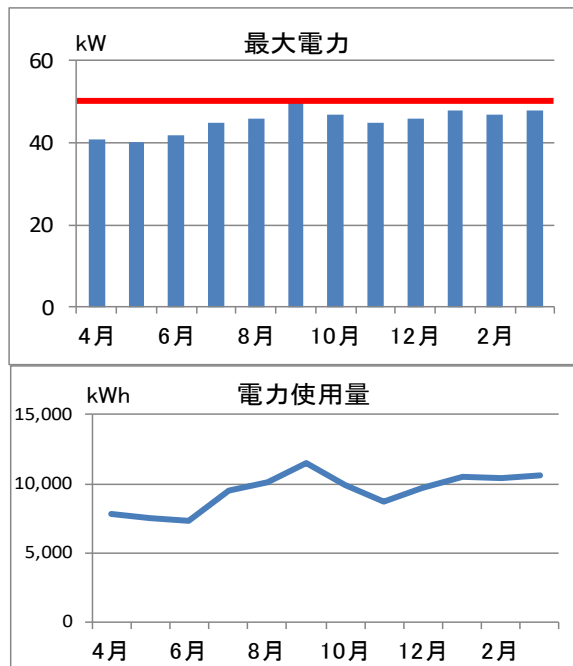
設置されていません。/デマンド監視装置、及びBEMS装置が設置されており、エネルギー使用量を把握するために活用されています。/デマンド監視装置が設置されています。エネルギーデータを活用しましょう。

2024-000

2. 年間エネルギー使用量（費用）及びCO₂排出量

(1) 月別エネルギー使用量（電力）

電力	電力			
	最大電力 (kW)	電力使用量 (kWh)	発電量 (kWh)	
2022年	4月	41	7,800	
	5月	40	7,500	
	6月	42	7,300	
	7月	45	9,500	
	8月	46	10,100	
	9月	50	11,500	
	10月	47	9,900	
	11月	45	8,700	
	12月	46	9,700	
	2023年	1月	48	10,500
		2月	47	10,400
		3月	48	10,600
合計	—	113,500		
電力費用	—	2,840千円/年		
単価	—	25.0円/kWh		

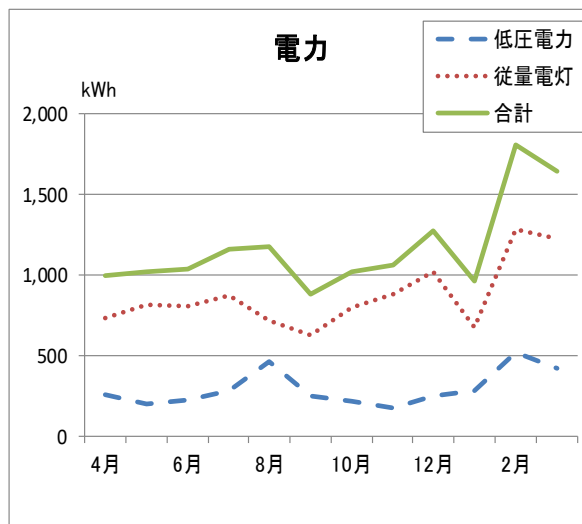


表の赤字、グラフの赤線は最大電力の最大値（契約電力）を示しています。

◆コメント

- ・最大電力及び電力使用量の変動は、空調設備の負荷によるものと推測されます。
- ・電力使用量は冬期に多くなっています。要因は空調暖房使用の増加と推測されます。
- ・電力使用量の変動は、店舗稼働状況によるものと推測されます。

電力	電力				
	低圧電力 (kWh)	従量電灯 (kWh)	合計 (kWh)		
2022年	4月	264	732	996	
	5月	206	815	1,021	
	6月	225	811	1,036	
	7月	287	878	1,165	
	8月	464	717	1,181	
	9月	249	632	881	
	10月	219	801	1,020	
	11月	183	882	1,065	
	12月	254	1,024	1,278	
	2023年	1月	286	675	961
		2月	521	1,288	1,809
		3月	423	1,224	1,647
合計	3,581	10,479	14,060		
電力費用	662千円/年	400千円/年	1,062千円/年		
単価	184.9円/kWh	38.2円/kWh	75.5円/kWh		



2024-000

契約種別(選択約款含)	〇〇〇〇 (△△新電力)	
契約条件等	契約電力	000kW
	受電電圧	6.0kV
	力率	000%
	トランス容量	000kVA
	電灯	000kVA×0 000kVA×0
	動力	000kVA×0 000kVA×0

東京電力の場合のみ、契約種別に応じて図を選び、張り付ける。

契約電力50kW未満⇒低圧電力

対 象：モータ等の動力を使用する小規模の商店や工場など

契約電力：次の二つの契約電力の決め方があり、使用実態に応じて選択します。

負荷設備契約	使用する機器をあらかじめ設定し、その総容量（入力）に一定の係数を乗じて契約電力を算定する方法です。
主開閉器契約	契約主開閉器の定格電流値に基づき、契約電力を決定する方法です。多数の電気機器を一度に使用しない場合は、主開閉器契約にすることで、契約電力を低く抑えることが可能です。

※力率改善割引

低圧電力の場合、力率85%を基準としてそれより良いものは90%、悪いものは80%に設定し、それぞれ基本料金を5%割引、割増します。

契約電力50kW以上500kW未満⇒小口電力（業務用電力、高圧電力A）

対 象：中規模の業務用ビル・商業施設⇒業務用電力

中規模の工場⇒高圧電力A

契約電力：実量値（実際の最大需要電力）に基づき、当月を含む過去12か月における各月の最大需要電力のうち最大値を契約電力としています。

小口需要家（契約電力 50kW 以上 500kW 未満）のポイント

ある月に1回でも大きな最大電力を発生させると、以後1年間はこの最大電力に基づき基本料金が算定されます。最大需要電力の発生状況を把握し、その抑制に努めましょう

契約電力500kW以上⇒大口電力（業務用電力、高圧電力B、特別高圧電力）

対 象：大規模の業務用ビル・商業施設⇒業務用電力

大規模の工場⇒高圧電力B、特別高圧電力

契約電力：電力会社と協議の上決められます。余裕を見過ぎた契約をしないことが重要です。

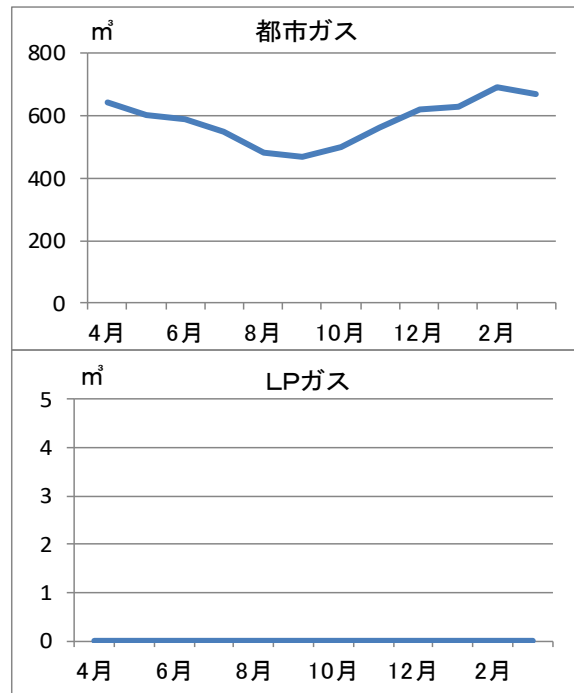
大口需要家（契約電力 500kW 以上）のポイント

契約電力に余裕を見過ぎると過大な基本料金を支払うことになり、逆に小さいと契約電力を超過して違約金を支払うこととなります。適切な契約電力の設定と日常の監視が大切です

2024-000

(2) 月別エネルギー使用量(燃料)

燃料		燃料		
		都市ガス	LPガス	
		(m ³)	(m ³)	
2022年	4月	640		
	5月	600		
	6月	590		
	7月	550		
	8月	480		
	9月	470		
	10月	500		
	11月	560		
	12月	620		
	2023年	1月	630	
		2月	690	
		3月	670	
合計		7,000		
燃料費用		770千円/年		
単価		110.0円/m ³		

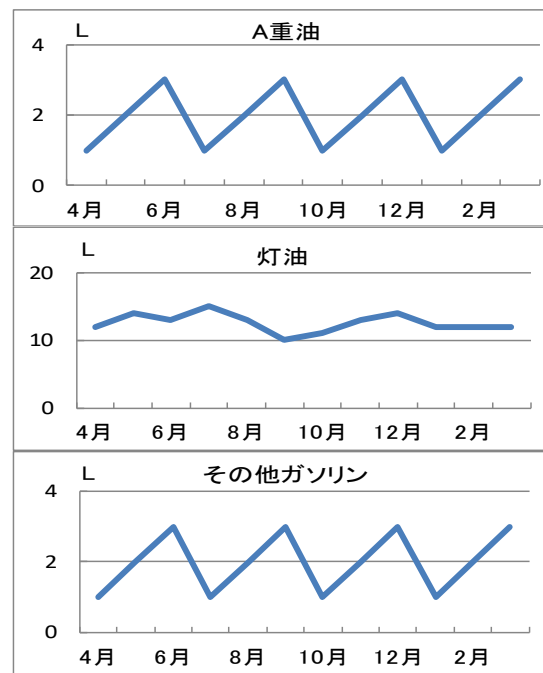


LPG: 1m³=2.07kg

◆コメント

- 都市ガスは、GHP 及び給湯設備、乾燥機等で使用されています。
- 使用量の変動は、空調設備の負荷によるものと推測されます。
- 都市ガスは、給湯設備及び調理実習等に使用されており、授業内容や学校行事により使用量が変動しているものと推測されます。
- 使用量の変動は、水温の低下による給湯設備の負荷と推測されます。

燃料		燃料			
		A重油	灯油	その他ガソリン	
		(L)	(L)	(L)	
2022年	4月	1	12	1	
	5月	2	14	2	
	6月	3	13	3	
	7月	1	15	1	
	8月	2	13	2	
	9月	3	10	3	
	10月	1	11	1	
	11月	2	13	2	
	12月	3	14	3	
	2023年	1月	1	12	1
		2月	2	12	2
		3月	3	12	3
合計		24	151	24	
燃料費用		500千円/年	11,023千円/年		
単価		20.8円/L	73.0円/L		



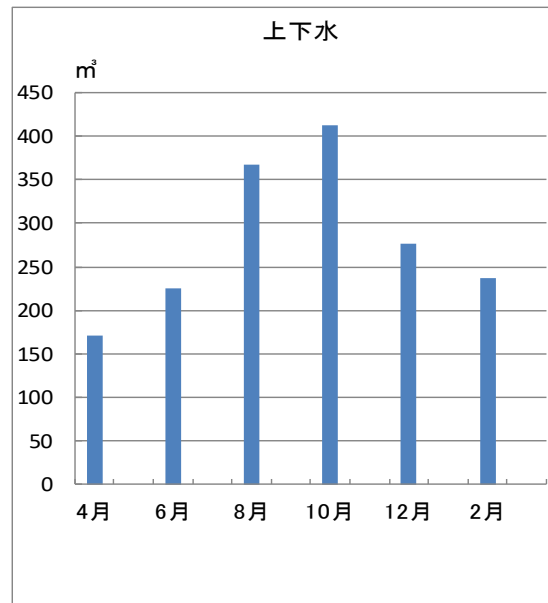
◆コメント

- 燃料使用量が多い月と、その要因
- その他

2024-000

(3) 月別エネルギー使用量 (水、その他)

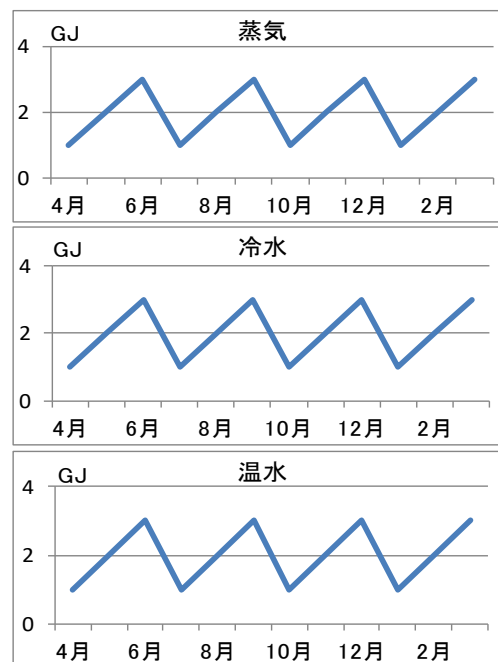
水	水			
	上水 (m ³)	下水 (m ³)	井水 工水 (m ³)	
2022年	4月	171	171	
	5月			
	6月	225	225	
	7月			
	8月	367	367	
	9月			
	10月	413	413	
	11月			
	12月	276	276	
	2023年	1月		
		2月	237	237
		3月		
合計	1,689	1,689		
水道等費用	200千円/年	220千円/年		
単価	118.4円/m ³	130.3円/m ³		



◆コメント

- ・上下水は、生活用水に使用されています。
- ・水道の使用量は、年間を通じて大きな変動はありません。
- ・使用量の変動は、学校行事及び授業内容によるものと推測されます。
- ・水道の使用量は、8、10月に増加しています。原因を調査して省エネにつなげましょう。

	その他				
	蒸気 (GJ)	冷水 (GJ)	温水 (GJ)		
2022年	4月	1	1	1	
	5月	2	2	2	
	6月	3	3	3	
	7月	1	1	1	
	8月	2	2	2	
	9月	3	3	3	
	10月	1	1	1	
	11月	2	2	2	
	12月	3	3	3	
	2023年	1月	1	1	1
		2月	2	2	2
		3月	3	3	3
合計	24	24	24		
エネルギー費用					
単価	0.0千円/GJ	0.0千円/GJ	0.0千円/GJ		



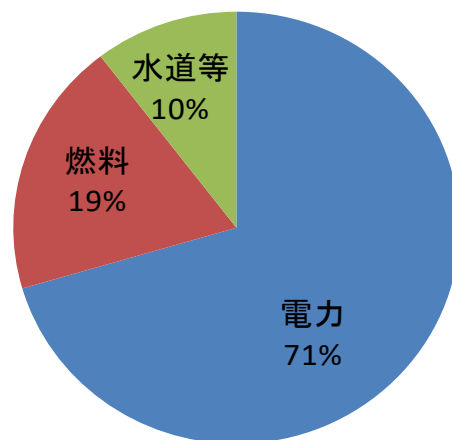
◆コメント

- ・エネルギー使用量が多い月と、その要因
- ・その他

2024-000

(4) 年間エネルギー費用割合

		年間費用 (千円)	
電力	電力使用量	2,840	2,840
	発電量		
燃料	都市ガス	770	770
	LPガス		
	A重油		
	灯油		
	その他		
水道等	上水	200	420
	下水	220	
	井水・工水		
合計		4,030	



蒸気、冷水、温水は非表示にしています

蒸気、冷水、温水は非表示にしています

(5) 二酸化炭素排出量・原油換算エネルギー使用量

	電力		燃料					水			合計
	電力使用量 (MWh)	発電量 (MWh)	A重油 (kL)	灯油 (kL)	都市ガス (千m ³)	LPガス (千m ³)	LPガス (kg)	上水 (千m ³)	下水 (千m ³)	工水 (千m ³)	
年間使用量合計	114				7.00			1.69	1.69		—
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)	55.5	—			15.2			0.449	0.676		71.8
原油換算量 (kL/年)	28.6	—			7.86						36.5
総エネルギー使用量 (GJ/年)	1,110	—			305						1,420
原油換算比	78.5%	—			21.5%						100%

※都市ガスは低圧（単位換算係数：0.967Nm³/m³）で算出しています。

※有効桁数を3桁で表示しているため、合計値は単純合計値と異なる場合があります。

◆延床面積	2,000	m ²
◆CO ₂ 排出原単位	35.4	kg-CO ₂ /m ² ・年
◆エネルギー消費原単位	710	MJ/m ² ・年

※原単位は、エネルギー使用量を建物面積等で割って、単位面積（m²）当たりのエネルギー使用量を表示（kWh/m²・年、t-CO₂/m²・年等）するものです。

2024-000

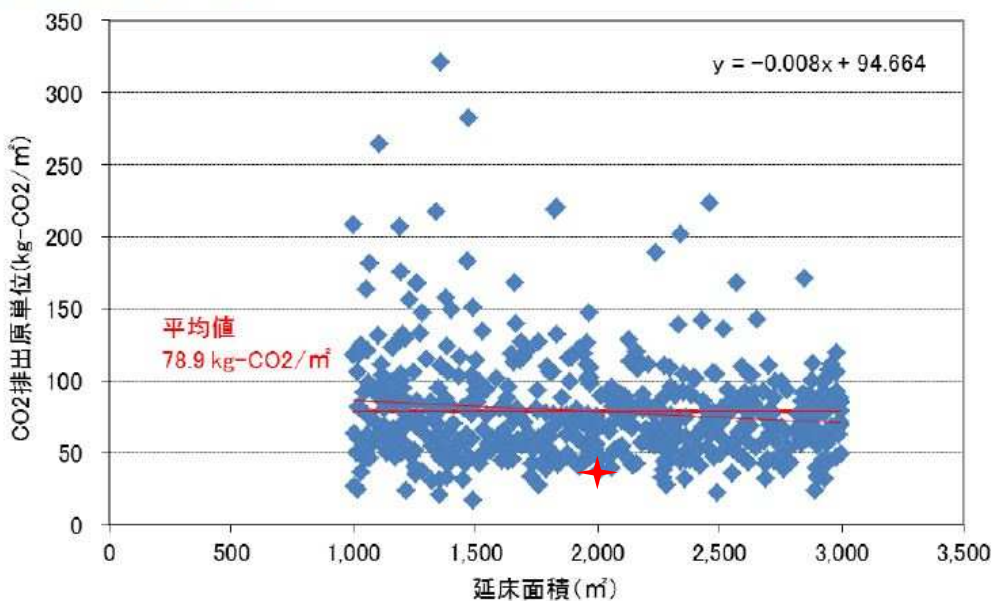
【参考】 出典：東京都環境局 低炭素ベンチマーク [2012実績改訂版]

区分番号:3(1) テナントビル(オフィス系、小規模)

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	43.4 以下	47.4 以下	49	9.5%	2014	
A3+	0.55超-0.60以下	43.4 超	47.4 以下	28	17.4%	1949	
A3	0.60超-0.65以下	47.4 超	51.3 以下	25		1777	
A3-	0.65超-0.70以下	51.3 超	55.3 以下	37		1885	
A2+	0.70超-0.75以下	55.3 超	59.2 以下	32	15.7%	2058	
A2	0.75超-0.80以下	59.2 超	63.2 以下	24		1934	
A2-	0.80超-0.85以下	63.2 超	67.1 以下	25		2022	
A1+	0.85超-0.90以下	67.1 超	71.1 以下	35	16.8%	2157	
A1	0.90超-0.95以下	71.1 超	75.0 以下	24		2004	
A1-	0.95超-1.00以下	75.0 超	78.9 以下	28		2151	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 78.9 超	82.9 以下	26	13.5%	2023	
B2	1.05超-1.10以下	82.9 超	86.8 以下	24		2026	
B2-	1.10超-1.15以下	86.8 超	90.8 以下	20		2118	
B1	1.15超-1.50以下	90.8 超	118.4 以下	87	16.8%	1966	
C	1.50超	118.4 超		53	10.3%	1660	
				合計	517	平均	1966

③CO₂排出原単位の散布図



※上記【参考】に表記している同業種の平均原単位と比較すると、貴事業所のベンチマークレンジはA4であり、CO₂排出量は平均より大変少ないことがわかります。本報告書を参考に、引き続き省エネを推進していきましょう。

A4~A1- : 引き続き
B2+~C : まずは平均値を目標に

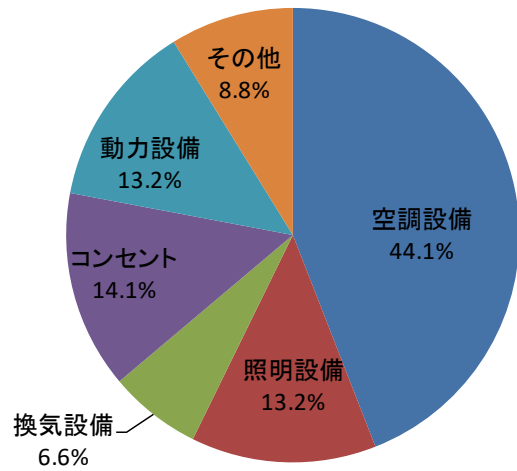
A4~A3- : 平均より大変少ない
A2+~A1+ : 平均より少ない
A1 : ほぼ平均的な
A1- : 平均的な
B2+~B1 : 平均より少し多い
C : 平均よりかなり多い

2024-000

(6) 主要設備のエネルギー使用比率（推定値）

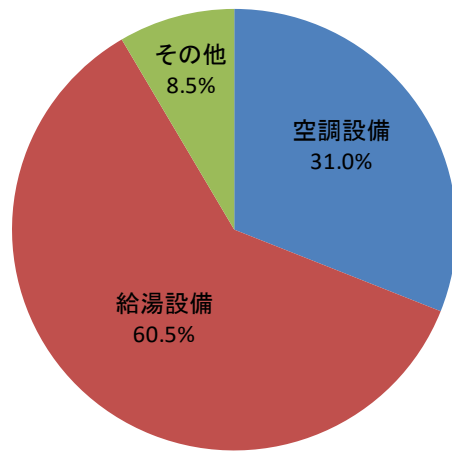
①電力

電力使用設備名	使用量
空調設備	50,000kWh/年
照明設備	15,000kWh/年
換気設備	7,500kWh/年
コンセント	16,000kWh/年
動力設備	15,000kWh/年
その他	10,000kWh/年
合計	113,500kWh/年



②燃料等（都市ガス）

燃料使用設備名	使用量
空調設備	2,172m ³ /年
給湯設備	4,236m ³ /年
その他	592m ³ /年
合計	7,000m ³ /年



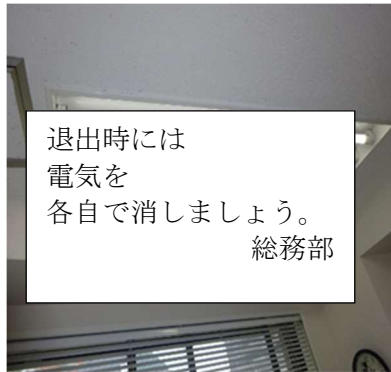
2024-000

■過去に実施した省エネルギー対策

貴事業所では、以下の省エネ対策に取り組んでいました。

実施済み対策名

省エネ意識の啓発



写真：2F 会議室の省エネ啓発貼り紙

実施済み対策名

空調運転時のサーキュレータ等の活用



写真：1F 事務室のサーキュレータ

実施済み対策名

高効率空調設備の導入



写真：1F 事務室空調機

2024-000

■報告書で使用した係数、計算式

1. 原油換算エネルギー使用量

<直接排出（燃料の燃焼）>

原油換算エネルギー使用量＝燃料等使用量×単位発熱量×原油換算係数

<間接排出（電気及び熱）>

原油換算エネルギー使用量＝燃料等使用量×一次エネルギー換算係数
×原油換算係数

2. 特定温室効果ガス排出量（CO₂）

<直接排出（燃料の燃焼）>

温室効果ガス排出量＝燃料等使用量×単位発熱量×C 排出係数×44/12

<間接排出（電気及び熱）>

温室効果ガス排出量＝燃料等使用量×CO₂ 排出係数

燃料の燃焼	単位発熱量	原油換算係数	C 排出係数
灯油 [L]	36.7 [GJ/kL]	0.0258 [kL/GJ]	0.0185 [t-C/GJ]
軽油 [L]	37.7 [GJ/kL]	0.0258 [kL/GJ]	0.0187 [t-C/GJ]
A 重油 [L]	39.1 [GJ/kL]	0.0258 [kL/GJ]	0.0189 [t-C/GJ]
LPG [t]	50.8 [GJ/t]	0.0258 [kL/GJ]	0.0161 [t-C/GJ]
都市ガス [m ³]	45.0 [GJ/千Nm ³]	0.0258 [kL/GJ]	0.0136 [t-C/GJ]
電気及び熱	一次エネルギー換算係数	原油換算係数	CO ₂ 排出係数
購入電力 [kWh]	9.76 [GJ/MWh]	0.0258 [kL/GJ]	0.489 [t-CO ₂ /MWh]
蒸気(産業用) [GJ]	1.02 [GJ/GJ]	0.0258 [kL/GJ]	0.060 [t-CO ₂ /GJ]
蒸気(産業用以外) [GJ]	1.36 [GJ/GJ]	0.0258 [kL/GJ]	0.060 [t-CO ₂ /GJ]
温水・冷水 [GJ]	1.36 [GJ/GJ]	0.0258 [kL/GJ]	0.060 [t-CO ₂ /GJ]
水道及び工業用水 [m ³]	—	—	0.266 [t-CO ₂ /千m ³]
公共下水道 [m ³]	—	—	0.400 [t-CO ₂ /千m ³]

※都市ガス（低圧用）使用量の単位換算係数（m³→Nm³）：0.967Nm³/m³

※都市ガス（中圧用）使用量の単位換算係数（m³→Nm³）：0.957Nm³/m³

※LPG 使用量の単位換算係数（m³ → kg）：2.07kg/m³

※計算には、「地球温暖化対策報告書作成ツール」が使用できますのでご活用ください。

詳細はこちらから

<https://www8.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/ondanka/report/format/index.html>

地球温暖化対策報告書制度における係数一覧

<https://www8.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/ondanka/report/pdf/keisuuitiran.pdf>

2024-000

■東京都支援策

関連する制度

①【地球温暖化対策報告書制度】

事業者の方々が、簡単に二酸化炭素の排出量を把握でき、具体的な地球温暖化対策に取り組むことができるよう、事業所ごとのエネルギー使用量や地球温暖化対策等の実施状況を東京都へ報告する制度です。

- ㊦ <https://www.tokyo-co2down.jp/learn/report/warming>
 クール・ネット東京 地球温暖化対策報告書制度ヘルプデスク
 (0570-03-3517)



②【地球温暖化対策PRシート】

自社の事業所のエネルギー使用量、省エネルギー対策の取組、省エネ診断の受診有無等について表示できます。

③【カーボンレポート制度】

テナントビルのCO₂削減実績やベンチマーク及び省エネルギー対策の取組状況等が表示できます。



助成金・減税・融資

④【中小企業者向け省エネ促進税制（法人事業税・個人事業税の減免）】

中小企業者が都内中小規模事業所において東京都が指定する省エネ設備等（空調設備、照明設備、小型ボイラ設備、再生可能エネルギー設備）の取得を行う場合に、事業税を減免します。

- ㊦ 減免に関すること
<https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/kazei/info/kangen-tokyo.html>
 主税局課税部法人課税指導課 法人事業税班 (03-5388-2963)
 主税局課税部課税指導課 個人事業税班 (03-5388-2969)



- ㊦ 導入推奨機器（減免対象機器）に関すること
<https://www.donyu-suisho.metro.tokyo.lg.jp/>
 クール・ネット東京 省エネ導入推奨機器申請受付ヘルプデスク
 (03-5990-5087)



⑤【東京都中小企業制度融資】

設備投資を行う場合等に活用できる融資メニューがあります。

- ㊦ <https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/chushou/kinyu/youushi/youushi/>
 産業労働局金融部金融課 (03-5320-4877)



2024-000

その他の支援策

⑥ 【 省エネ・再エネ等にかかるワンストップ相談窓口 】

都内中小企業者等のための省エネ・再エネ等に関する総合相談窓口です。

- ⑥ <https://www.tokyo-co2down.jp/learn/one-stop>
クール・ネット東京 省エネ推進チーム (03-5990-5239)



⑦ 【 東京都地球温暖化対策ビジネス事業者登録・紹介事業 】

都の温暖化対策に協力し、具体的な温暖化対策の取り組みをサポートできる事業者を東京都が登録し、紹介しています。

- ⑥ <https://www.tokyo-co2down.jp/learn/registration>
クール・ネット東京 省エネ推進チーム (03-5990-5087)



⑧ 【 事業所向け研修会等への講師派遣 】

業界団体・事業者等が主催する研修会等に無料で省エネの講師を派遣します。

- ⑥ <https://www.tokyo-co2down.jp/seminar/small>
クール・ネット東京 省エネ推進チーム (03-5990-5087)



⑨ 【 業種別省エネルギー対策テキスト 】

個々の業種の特徴に適した省エネ対策をまとめたテキストを用意しています。

- <https://www.tokyo-co2down.jp/seminar/type/text>



⑩ 【 アニメで分かる省エネ 】

様々な省エネ対策を、アニメで分かりやすく紹介しています。

- <https://www.tokyo-co2down.jp/learn/save>



⑪ 【 東京ソーラー屋根台帳 】

都内にあるそれぞれの建物がどれくらい太陽光発電システム等に適しているかが一目で分かる「東京ソーラー屋根台帳 (ポテンシャルマップ)」を公開しています。

- ⑥ <https://tokyosolar.netmap.jp/map/>
クール・ネット東京 普及連携チーム (03-5990-5065)



⑫ 【 東京地中熱ポテンシャルマップ 】

東京都では、都内における地中熱の採熱に必要な熱交換井の長さや有効熱伝導率等の分布状況を「東京地中熱ポテンシャルマップ」として公開しています。

- <https://www.tokyogeoheatmap.metro.tokyo.lg.jp/>



⑬ 【 区市町村、国の補助金等情報 】

国や区市町村による温暖化対策の支援策 (助成金、支援策等) を紹介しています。

- <https://www.tokyo-co2down.jp/learn/save-support>



⑭ 【 メールマガジン等 】

東京都およびクール・ネット東京では、最新の環境情報 (報道発表、HP 新着更新状況等) をメールマガジンや Twitter により定期的に配信しています。

- ・クール・ネット東京メールマガジン登録
<https://www.tokyo-co2down.jp/guide/kouhou/melmaga>



2024-000

⑮【 DVD 等の貸し出し 】

クール・ネット東京では省エネルギー対策に活用していただける DVD や測定機器（照度計、放射温度計、二酸化炭素測定機等）を無料で貸し出しています。

<https://www.tokyo-co2down.jp/guide/dvd>

**⑯【 グリーンリース実践の手引き 】**

グリーンリースの実例や手順を分かり易く解説した「グリーンリース実践の手引き」を公開しています。

https://www.sangyorodo.metro.tokyo.lg.jp/energy/menu/saving_main/green_lease/index.html

**⑰【 省エネ改修効果診断ツール（見える化プロジェクト） 】**

エネルギー使用量や設備情報を入力するだけで、設備改修の省エネ効果を簡単にシミュレーションでき、「省エネ改修効果診断書」として結果が表示されます。

https://www.sangyorodo.metro.tokyo.lg.jp/energy/menu/saving_main/visualization/index.html

**⑱【 エネルギー最適化プロジェクト 】**

- ・リーフレット「設備の最適化のススメ」

設備の最適化の解説、チューニング対策の取組み手順や削減メリットを整理した事例などを紹介しています。

- ・チューニング対策簡易診断ツール

エネルギー使用量や対策の実施状況を入力することで、運用改善による省エネ効果を簡単に把握できるツールです。

https://www.sangyorodo.metro.tokyo.lg.jp/energy/menu/saving_main/tuning/index.html

**⑲【 HTT <電力をHへらす・Tつくる・Tためる>を進めよう 】**

東京都は、HTT <電力をHへらす・Tつくる・Tためる>推進のため、様々な取組や支援策をポータルサイトで紹介しています。

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/tokyo_coolhome_coolbiz/index.html



別添別紙 3

想定削減量-空調設定温度の適正化

用途	原油換算削減量 [kL/年]	CO2 削減量 [t-CO2/年]	削減額 [千円]
オフィス	1.88	3.15	178.52
オフィス (テナント)	1.26	2.19	148.28
テナントビル (オフィス系)	4.03	6.88	339.56
テナントビル (店舗系)	5.48	10.54	580.67
テナントビル (その他)	0.24	0.46	25.67
飲食店舗	0.80	1.32	68.95
その他小売店舗	1.05	1.88	92.95
旅館・ホテル	6.12	10.90	435.83
学校・教育施設	3.43	6.59	321.07
病院・診療所	4.41	7.94	371.71
保健・介護施設	4.21	7.73	336.84
工場 (印刷・製本)	2.08	3.48	152.82
工場 (加工・組立を行う業種)	1.33	2.13	99.26
その他	1.73	2.93	131.08

セルフ診断ツール 省エネポテンシャル診断結果

公益財団法人東京都環境公社

東京都地球温暖化防止活動推進センター

1 省エネポテンシャル

(1) 省エネポテンシャルサマリー

エネルギー
削減量9.52
kL/年CO₂削減量18.5
t-CO₂/年光熱水費
削減額920
千円/年

(2) 改善対策別省エネポテンシャル

運用改善

No	対策	エネルギーの種類	省エネ量	エネルギー削減量(原油換算)	CO ₂ 削減量	光熱水費削減額
			MWh/年 千m ³	kL/年	t-CO ₂ /年	千円/年
1	エネルギー管理体制の構築等	—	4.54	1.14	2.22	100
3	空調設定温度の適正化	電気	6.32	1.59	3.09	139
4	照度の適正化	電気	2.09	0.526	1.02	46

設備改善

No	対策	エネルギーの種類	省エネ量	エネルギー削減量(原油換算)	CO ₂ 削減量	光熱水費削減額
			MWh/年 千m ³	kL/年	t-CO ₂ /年	千円/年
1	高効率空調設備の導入	電気	18.8	4.73	9.19	413
2	LED照明の導入	電気	2.8	0.705	1.37	61

セルフ診断ツール 診断結果

公益財団法人東京都環境公社

東京都地球温暖化防止活動推進センター

2 省エネ対策解説(運用改善)

No1 エネルギー管理体制の構築等

省エネポテンシャル

エネルギー削減量



1.14
kL/年

CO₂削減量



2.22
t-CO₂/年

光熱水費削減額



100
千円/年

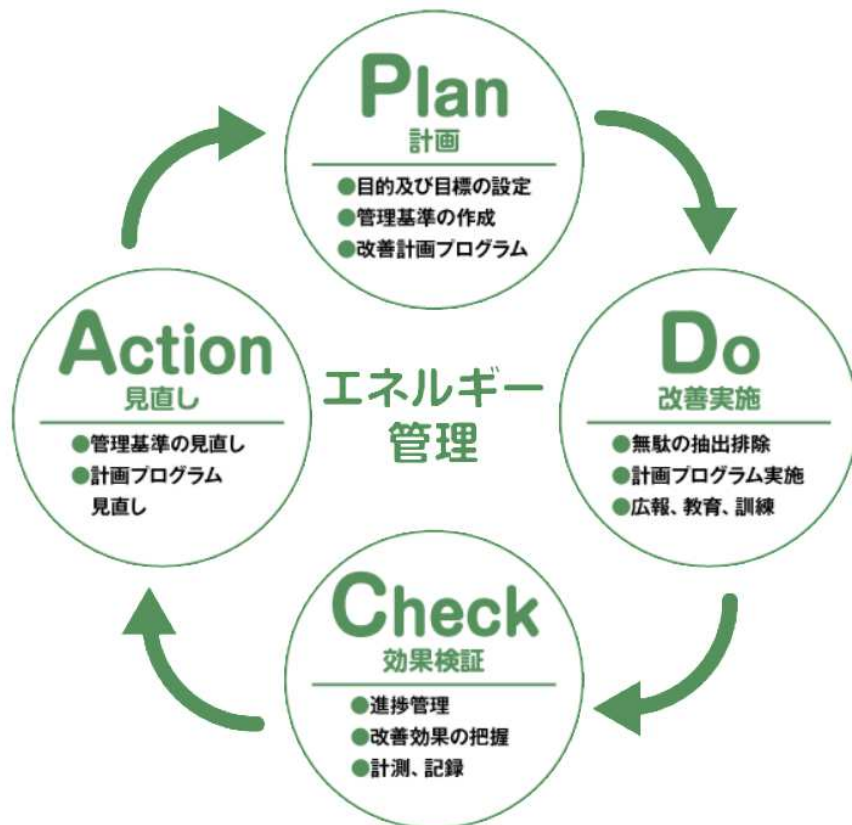
対策の概要

貴事業所では、エネルギー管理体制が構築されていません。次頁の該当する対策を実施して、エネルギー使用量の削減を図ります

対策の留意点

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 省エネ対策は、組織的に取り組むことが重要です。
- 目標の達成状況を確認して、未達成の場合にはその原因を明確にして対策を立てましょう。省エネ活動は継続的に取り組むことが大切です。
- 全員参加で運用改善について話し合い、省エネを推進しましょう。その効果について検証を行い、ポスターやグラフ等で掲示しましょう。
- 東京都では、アニメで分かる省エネ(動画)【「これからはじめる」省エネ推進体制】を公開しています。



セルフ診断ツール 診断結果

公益財団法人東京都環境公社

東京都地球温暖化防止活動推進センター

2 省エネ対策解説(運用改善)

No3 空調設定温度の適正化

省エネポテンシャル

エネルギー削減量



1.59
kL/年

CO₂削減量



3.09
t-CO₂/年

光熱水費削減額



139
千円/年

対策の概要

空調機の設定温度を見直してエネルギー使用量の削減を図ります(下図参照)。東京都では、実際の室温で「夏期:28℃、冬期:20℃」を目安に、それを上(下)回らないよう上手に節電<湿度管理も併せて行き快適性を確保>することを推奨しています。

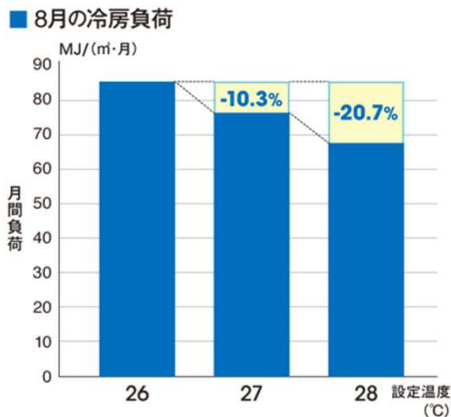


図: 冷房設定温度と空調負荷

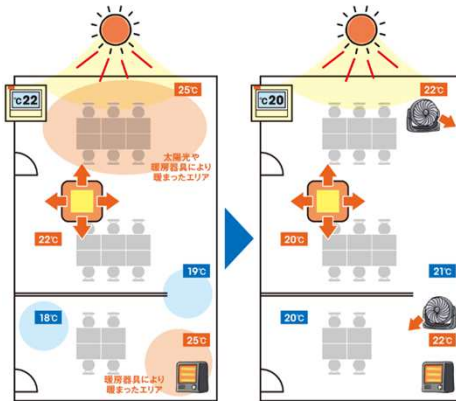


図: 室内温度ムラの緩和イメージ

対策の留意点

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 空調機の設定温度は実際の室温と異なることがあるため、室温を計測して室温が目標温度になるよう管理しましょう。
- 空調時の室内規定温度については、事業所内で十分協議する必要があります。
- 「暑い」「寒い」といった快適性が損なわれる室内温度にならないよう注意しましょう。
- 規定された温度管理を徹底するためには、温度計の設置とリモコンスイッチに室内規定温度を掲示しましょう。
- 中間期(4、5、10、11月)は、可能な限り空調機を使用せず、窓の開放や換気扇・扇風機等を利用して、省エネを図りましょう。
- 空調運転時に、扇風機・サーキュレータ等を利用して室内の空気を循環させ、温度ムラをなくすようにしましょう。過剰な空調運転を防止することで電力使用量が削減できます。
- ブラインドやカーテンを活用して、窓からの熱の入射を防止しましょう。

セルフ診断ツール 診断結果

公益財団法人東京都環境公社

東京都地球温暖化防止活動推進センター

2 省エネ対策解説(設備改善)

No2 LED照明器具の導入

省エネポテンシャル

エネルギー削減量



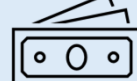
0.705
kL/年

CO₂削減量



1.37
t-CO₂/年

光熱水費削減額



61
千円/年

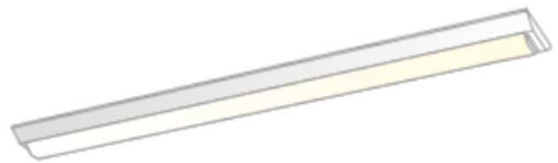
対策の概要

既設の照明器具をLED照明に更新し、電力使用量の削減と長寿命化を図ります。
現在使用している照明器具は、LED照明と比べると効率が低く寿命も短いため、ランプ交換の頻度

before



after



対策の留意点

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 室内照度は、室内環境(取付高さ、壁の色等)に影響されます。製品の選択は、使用電力の削減量だけでなく、既存照明器具との違い(光源色の種類、演色性、光の広がり等)室内環境に適した製品であることを確認しましょう。選定を誤ると「明るすぎる」・「暗い」といった事態を招く可能性があります。
- 直管形LED照明は、光の方向が主として下方を向いています。そのため、LEDの全光束が蛍光灯より小さくても、机上の明るさが変わりません。
- LED照明の特徴は、天井面と壁面が多少暗くなるため、部分的に導入して問題のないことを確認してから全体に導入しましょう。
- 日本照明工業会では、「照明をLED化する際は照明器具一式の交換」を推奨しています。LED照明の寿命は40,000時間と言われていますが、ランプのみを交換した場合、器具の劣化により寿命を達成できない可能性があります。
- 投資金額は参考価格です。複数の施工業者等から見積りを徴取してご検討ください。
- 本提案の照明器具リストは、代表的な照明設備及び台数について記載してあります。貴事業所全体において、その他の効率の悪い照明器具があった場合は、LED照明器具に交換することにより省エネ効果が得られます。
- 照明設備の選定機種等によっては税が減免されます。詳細は■東京都支援策 ④【中小企業者向け省エネ促進税制(法人事業税・個人事業税の減免)】をご参照ください。

同種同規模比較-参考事例 目次

01. オフィス（テナント専有部）
02. オフィス（自社ビル）
- 03（1）. テナントビル（オフィス系、小規模）
- 03（2）. テナントビル（オフィス系、中規模）
- 03（3）. テナントビル（オフィス系、準大規模）
- 04（1）. テナントビル（商業複合系、小規模）
- 04（2）. テナントビル（商業複合系、中規模）
- 04（3）. テナントビル（商業複合系、準大規模）
05. 物販店（コンビニ）
06. 物販店（ドラッグストア）
07. 物販店（総合スーパー・百貨店）
08. 物販店（生鮮食品等）
09. 物販店（食料品の製造小売）
10. 物販店（服飾品）
11. 物販店（自動車（新車）小売）
12. 飲食店（食堂・レストラン）
13. 飲食店（居酒屋・バー）
14. 飲食店（ハンバーガー）
15. 飲食店（喫茶）
16. 飲食店（焼肉）
17. 飲食店（中華料理・ラーメン）
18. 飲食店（その他）
19. 旅館・ホテル
20. 学校・教育施設
21. 病院・診療所
22. 保育所
23. 保健・介護施設
24. フィットネス施設
25. パチンコ店舗
26. カラオケボックス店舗
27. ゲームセンター
28. 図書館
29. 博物館・美術館
30. 区市町村庁舎等

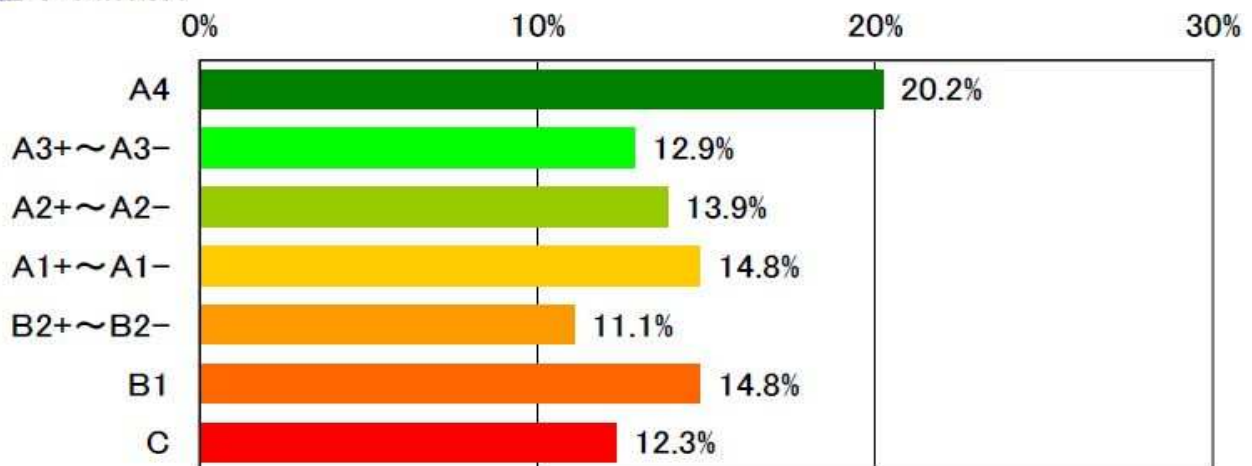
■区分番号ー1 オフィス（テナント専有部）

区分番号:1 オフィス(テナント専有部)

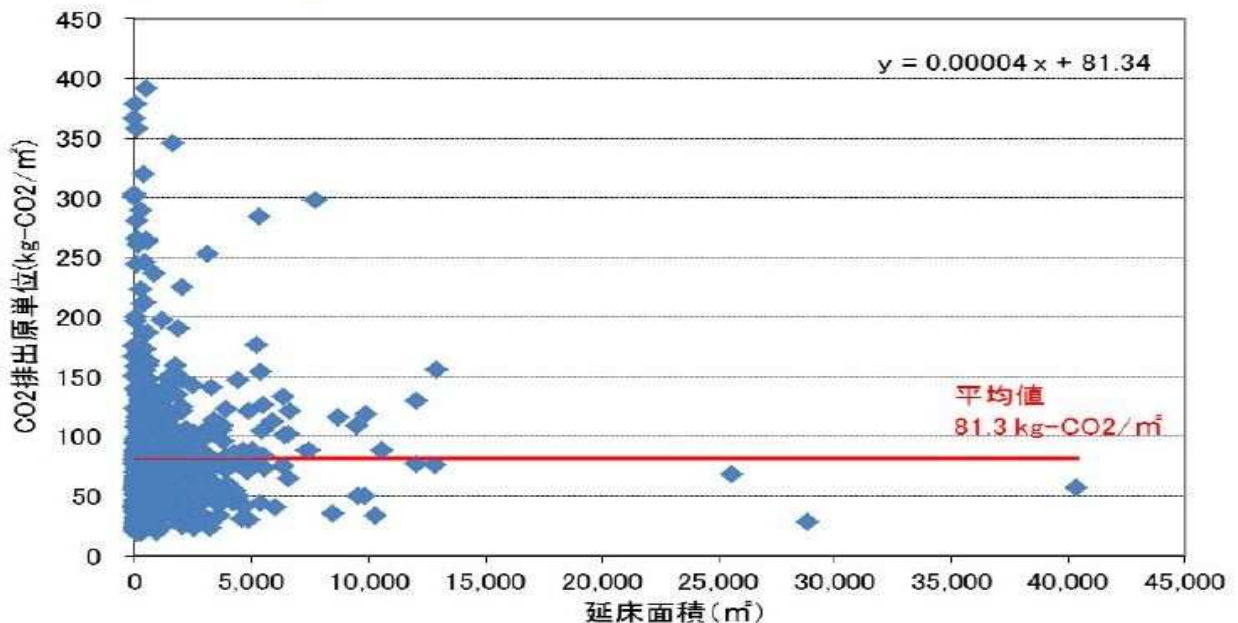
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	44.8 以下	146	20.2%	1260
A3 +	0.55超-0.60以下	44.8 超 48.8 以下	27	12.9%	1203
A3	0.60超-0.65以下	48.8 超 52.9 以下	31		1501
A3 -	0.65超-0.70以下	52.9 超 57.0 以下	35		1078
A2 +	0.70超-0.75以下	57.0 超 61.0 以下	40	13.9%	1924
A2	0.75超-0.80以下	61.0 超 65.1 以下	28		1097
A2 -	0.80超-0.85以下	65.1 超 69.2 以下	32		1756
A1 +	0.85超-0.90以下	69.2 超 73.2 以下	30	14.8%	1328
A1	0.90超-0.95以下	73.2 超 77.3 以下	47		2001
A1 -	0.95超-1.00以下	77.3 超 81.3 以下	30		1283
B2 +	1.00超-1.05以下	81.3 超 85.4 以下	28	11.1%	1497
B2	1.05超-1.10以下	85.4 超 89.5 以下	32		1920
B2 -	1.10超-1.15以下	89.5 超 93.5 以下	20		919
B1	1.15超-1.50以下	93.5 超 122.0 以下	107	14.8%	1641
C	1.50超	122.0 超	89	12.3%	1402
合計			722	平均	1467

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



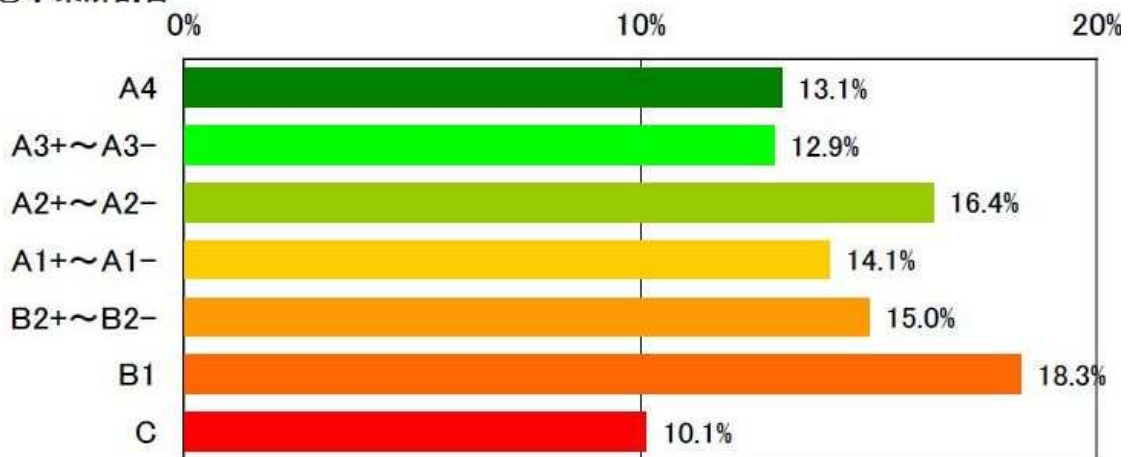
■区分番号-2 オフィス（自社ビル）

区分番号:2 オフィス(自社ビル)

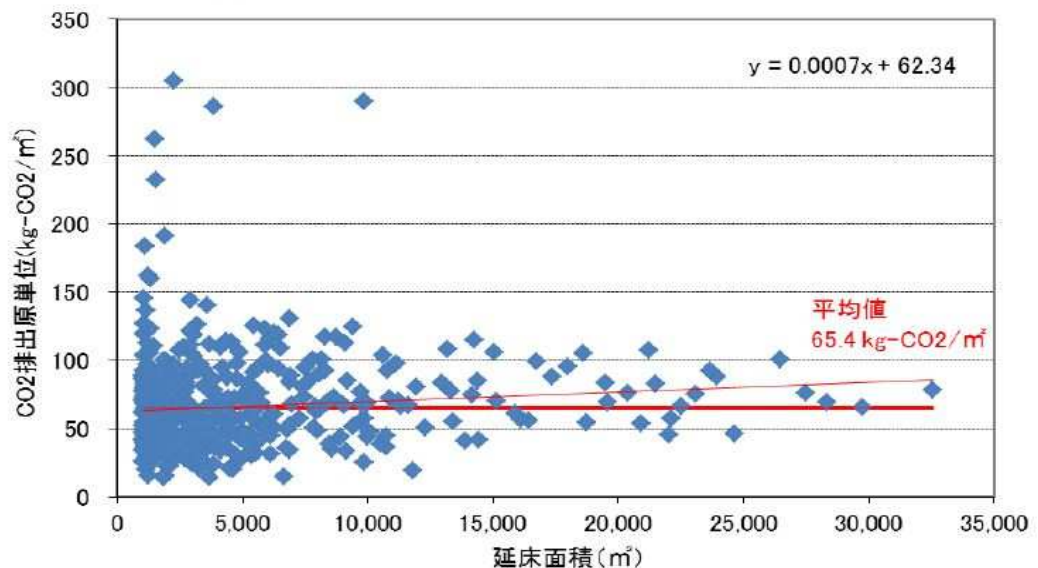
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)	
A4	0.55以下	36.0 以下		75	13.1%	3126	
A3+	0.55超-0.60以下	36.0 超	39.3 以下	29	12.9%	3092	
A3	0.60超-0.65以下	39.3 超	42.6 以下	21		3338	
A3-	0.65超-0.70以下	42.6 超	45.8 以下	24		4377	
A2+	0.70超-0.75以下	45.8 超	49.1 以下	35	16.4%	3314	
A2	0.75超-0.80以下	49.1 超	52.4 以下	32		3173	
A2-	0.80超-0.85以下	52.4 超	55.6 以下	27		4164	
A1+	0.85超-0.90以下	55.6 超	58.9 以下	23	14.1%	5388	
A1	0.90超-0.95以下	58.9 超	62.2 以下	31		2641	
A1-	0.95超-1.00以下	62.2 超	65.4 以下	27		2814	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 65.4 超	68.7 以下	34	15.0%	4906	
B2	1.05超-1.10以下	68.7 超	72.0 以下	30		5468	
B2-	1.10超-1.15以下	72.0 超	75.3 以下	22		4651	
B1	1.15超-1.50以下	75.3 超	98.1 以下	105	18.3%	5209	
C	1.50超	98.1 超		58	10.1%	5755	
				合計	573	平均	4232

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



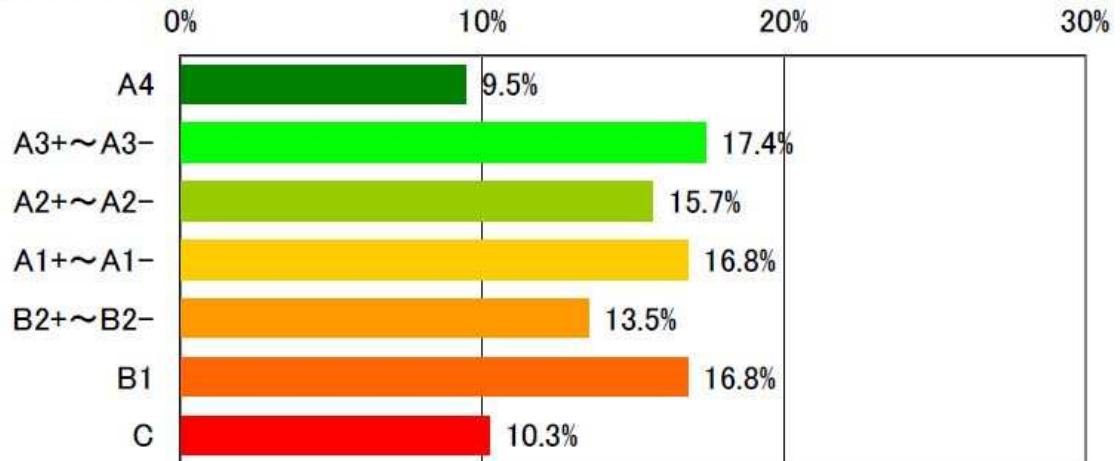
■区分番号-3(1) テナントビル(オフィス系、小規模)

区分番号:3(1) テナントビル(オフィス系、小規模)

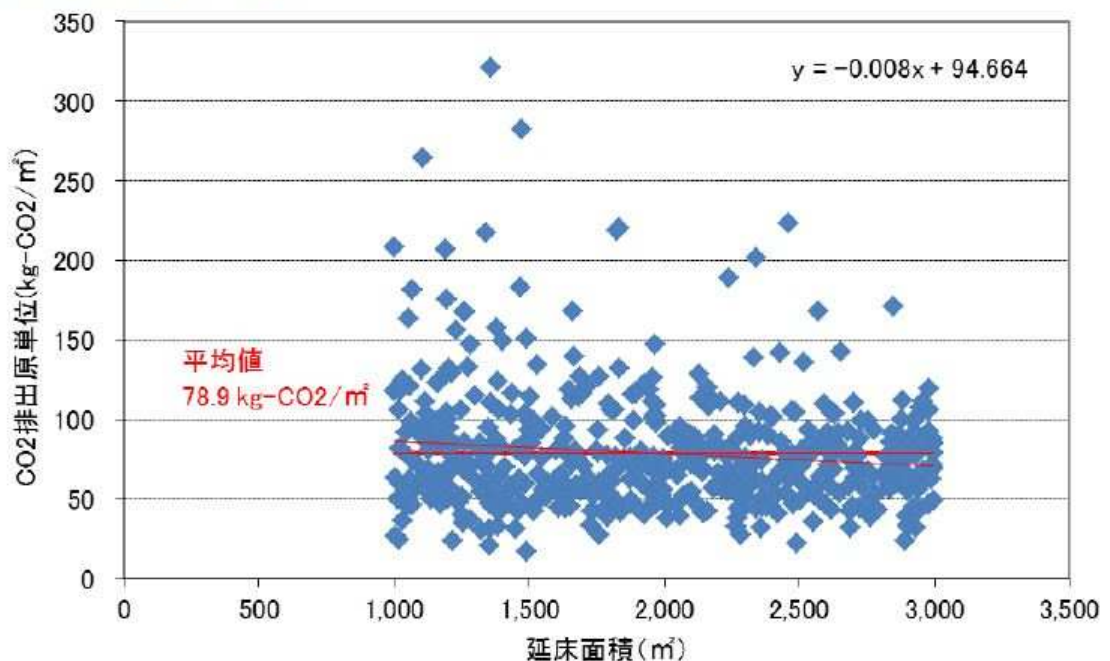
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	43.4 以下	49	9.5%	2014
A3+	0.55超-0.60以下	43.4 超 47.4 以下	28	17.4%	1949
A3	0.60超-0.65以下	47.4 超 51.3 以下	25		1777
A3-	0.65超-0.70以下	51.3 超 55.3 以下	37		1885
A2+	0.70超-0.75以下	55.3 超 59.2 以下	32	15.7%	2058
A2	0.75超-0.80以下	59.2 超 63.2 以下	24		1934
A2-	0.80超-0.85以下	63.2 超 67.1 以下	25		2022
A1+	0.85超-0.90以下	67.1 超 71.1 以下	35	16.8%	2157
A1	0.90超-0.95以下	71.1 超 75.0 以下	24		2004
A1-	0.95超-1.00以下	75.0 超 78.9 以下	28		2151
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 78.9 超 82.9 以下	26	13.5%	2023
B2	1.05超-1.10以下	82.9 超 86.8 以下	24		2026
B2-	1.10超-1.15以下	86.8 超 90.8 以下	20		2118
B1	1.15超-1.50以下	90.8 超 118.4 以下	87	16.8%	1966
C	1.50超	118.4 超	53	10.3%	1660
合計			517	平均	1966

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



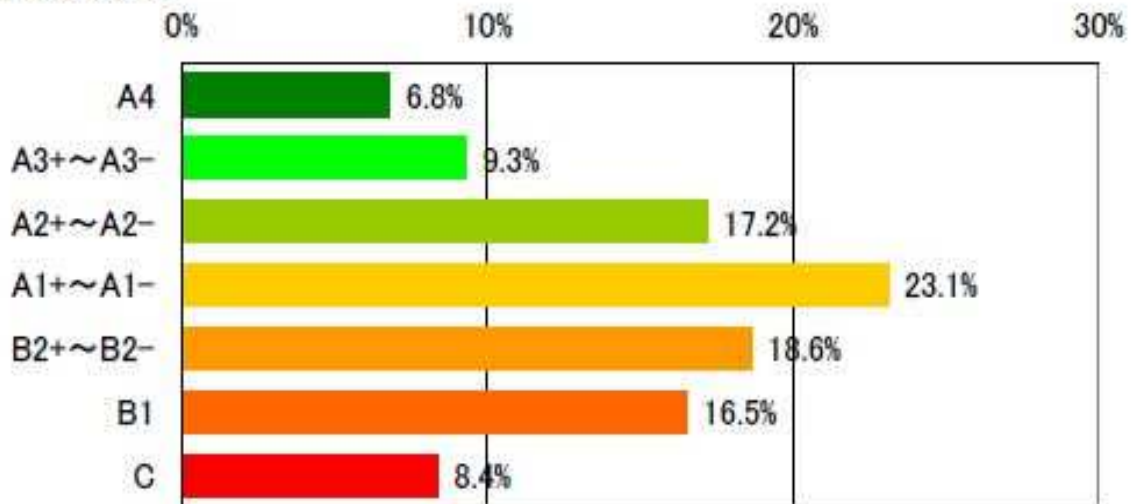
■区分番号-3 (2) テナントビル (オフィス系、中規模)

区分番号:3(2) テナントビル(オフィス系、中規模)

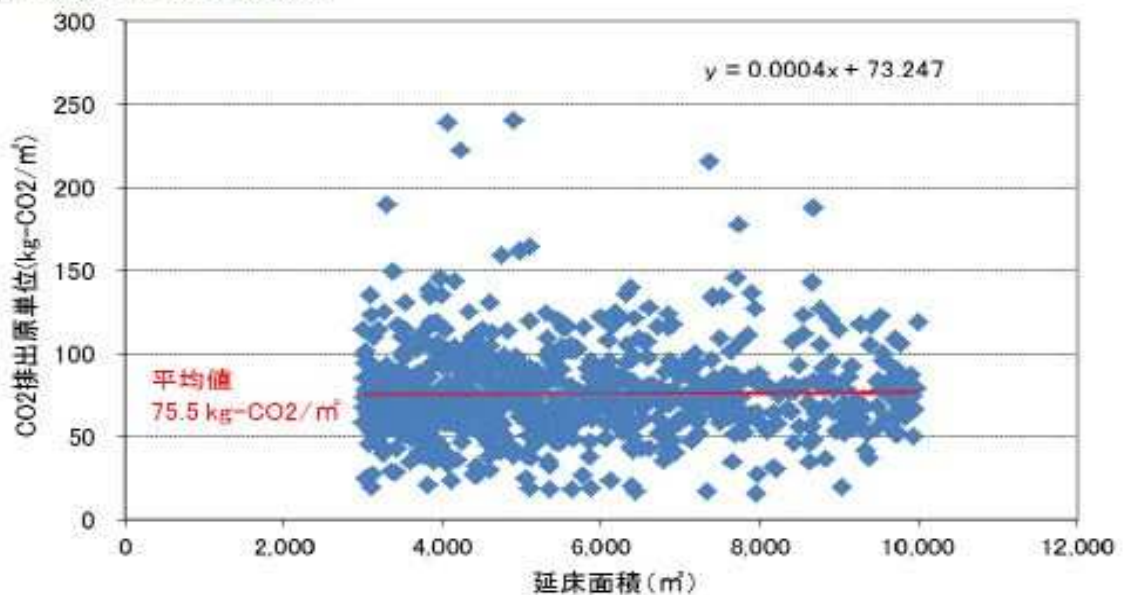
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	41.6 以下	52	6.8%	5473
A3+	0.55超-0.60以下	41.6 超 45.3 以下	19	9.3%	4997
A3	0.60超-0.65以下	45.3 超 49.1 以下	19		5580
A3-	0.65超-0.70以下	49.1 超 52.9 以下	33		5872
A2+	0.70超-0.75以下	52.9 超 56.7 以下	33	17.2%	5576
A2	0.75超-0.80以下	56.7 超 60.4 以下	47		5445
A2-	0.80超-0.85以下	60.4 超 64.2 以下	51		5604
A1+	0.85超-0.90以下	64.2 超 68.0 以下	58	23.1%	5580
A1	0.90超-0.95以下	68.0 超 71.8 以下	57		5570
A1-	0.95超-1.00以下	71.8 超 75.5 以下	61		5334
B2+	1.00超-1.05以下	75.5 超 79.3 以下	53	18.6%	6057
B2	1.05超-1.10以下	79.3 超 83.1 以下	51		5739
B2-	1.10超-1.15以下	83.1 超 86.9 以下	38		5808
B1	1.15超-1.50以下	86.9 超 113.3 以下	126	16.5%	5541
C	1.50超	113.3 超	64	8.4%	5812
合計			762	平均	5612

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■ 区分番号-3 (3) テナントビル (オフィス系、準大規模)

区分番号: 3(3) テナントビル(オフィス系、準大規模)

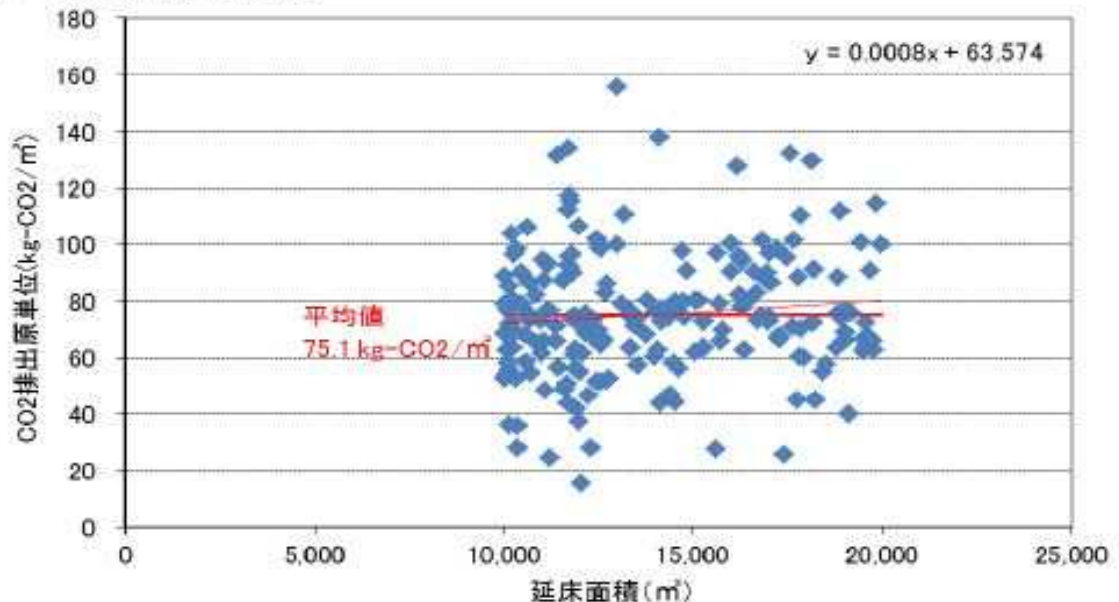
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	41.4 以下	10	5.0%	13061	
A3 +	0.55超-0.60以下	41.4 超 45.1 以下	6	8.5%	14715	
A3	0.60超-0.65以下	45.1 超 48.9 以下	4		12346	
A3 -	0.65超-0.70以下	48.9 超 52.6 以下	7		11796	
A2 +	0.70超-0.75以下	52.6 超 56.4 以下	8	16.1%	12261	
A2	0.75超-0.80以下	56.4 超 60.1 以下	7		13809	
A2 -	0.80超-0.85以下	60.1 超 63.9 以下	17		14752	
A1 +	0.85超-0.90以下	63.9 超 67.6 以下	15	25.1%	14375	
A1	0.90超-0.95以下	67.6 超 71.4 以下	14		13845	
A1 -	0.95超-1.00以下	71.4 超 75.1 以下	21		14280	
B2 +	1.00超-1.05以下	75.1 超 78.9 以下	14	16.1%	14232	
B2	1.05超-1.10以下	78.9 超 82.7 以下	13		13572	
B2 -	1.10超-1.15以下	82.7 超 86.4 以下	5		12583	
B1	1.15超-1.50以下	86.4 超 112.7 以下	48	24.1%	14382	
C	1.50超	112.7 超	10	5.0%	14548	
			合計	199	平均	13970

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



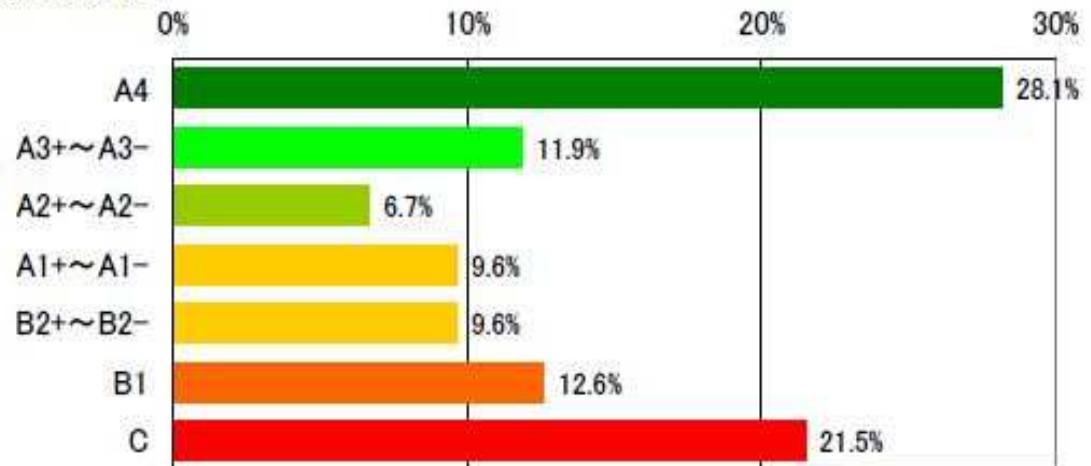
■ 区分番号-4 (1) テナントビル (商業複合系、小規模)

区分番号: 4(1) テナントビル (商業複合系、小規模)

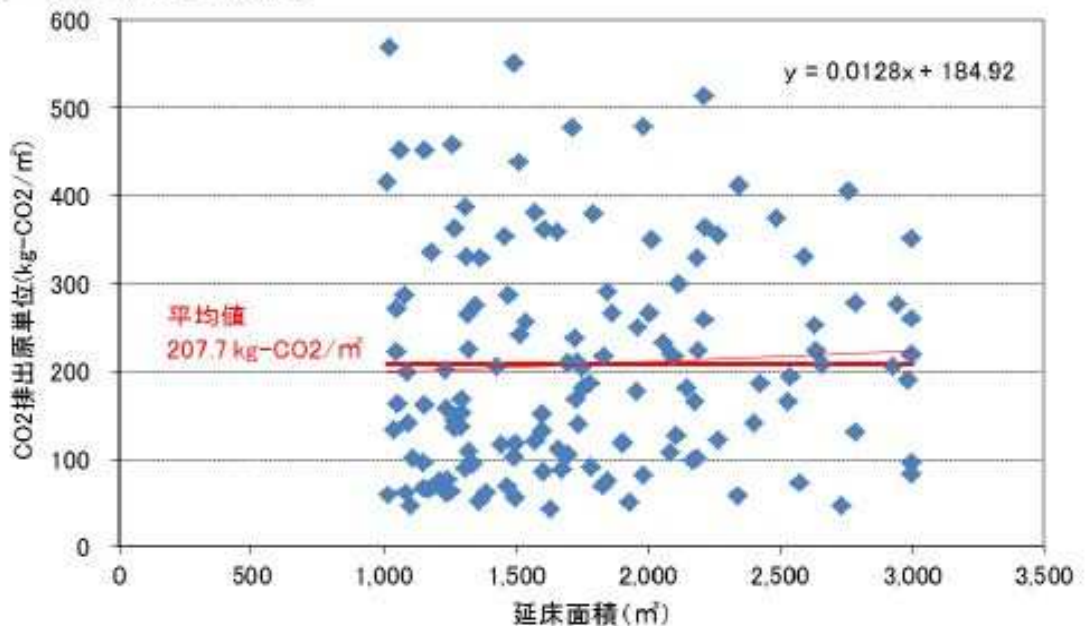
① 自己評価指標 (ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積 (m ²)
A4	0.55以下	114.3 以下	38	28.1%	1654
A3 +	0.55超-0.60以下	114.3 超 124.7 以下	6	11.9%	1765
A3	0.60超-0.65以下	124.7 超 135.1 以下	4		1884
A3 -	0.65超-0.70以下	135.1 超 145.4 以下	6		1510
A2 +	0.70超-0.75以下	145.4 超 155.8 以下	2	6.7%	1448
A2	0.75超-0.80以下	155.8 超 166.2 以下	5		1632
A2 -	0.80超-0.85以下	166.2 超 176.6 以下	2		1513
A1 +	0.85超-0.90以下	176.6 超 187.0 以下	5	9.6%	2012
A1	0.90超-0.95以下	187.0 超 197.4 以下	2		2762
A1 -	0.95超-1.00以下	197.4 超 207.7 以下	6		1848
B2 +	1.00超-1.05以下	207.7 超 218.1 以下	5	9.6%	2072
B2	1.05超-1.10以下	218.1 超 228.5 以下	6		2048
B2 -	1.10超-1.15以下	228.5 超 238.9 以下	2		1891
B1	1.15超-1.50以下	238.9 超 311.6 以下	17	12.6%	1923
C	1.50超	311.6 超	29	21.5%	1753
合計			135	平均	1783

② 事業所割合



③ CO₂排出原単位の散布図



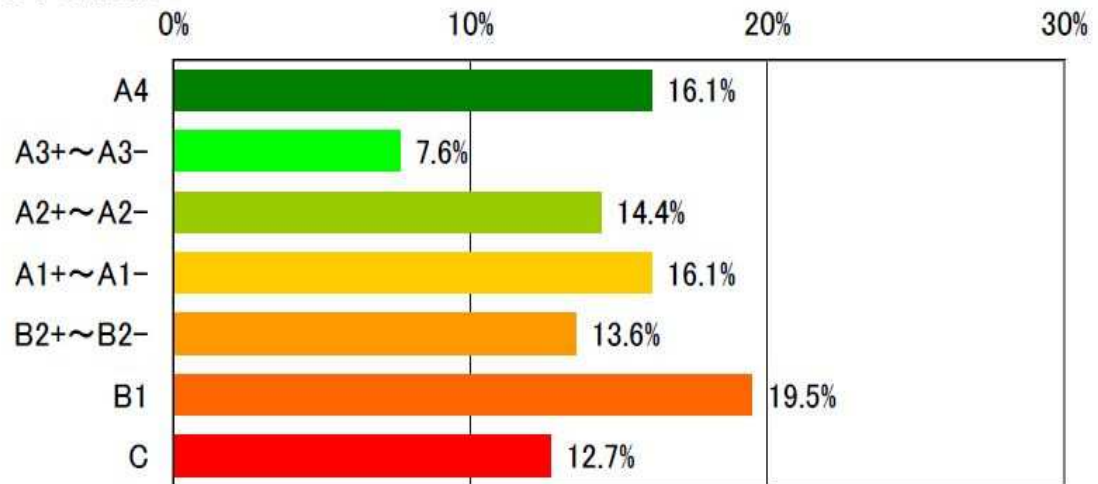
■区分番号-4 (2) テナントビル (商業複合系、中規模)

区分番号: 4(2) テナントビル(商業複合系、中規模)

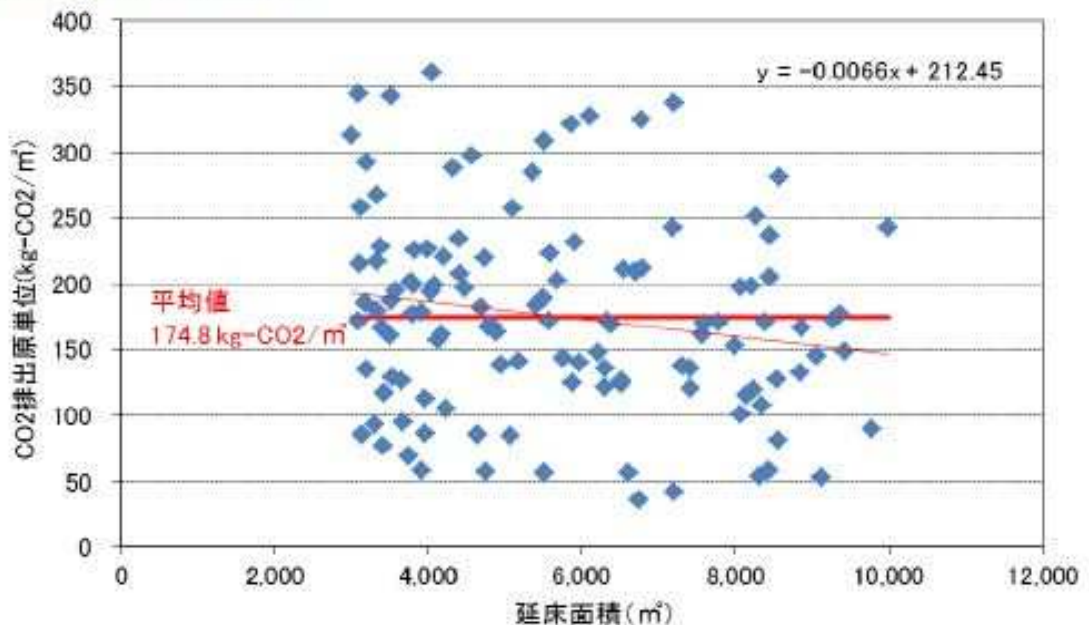
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	96.2 以下		19	16.1%	5780
A3+	0.55超-0.60以下	96.2 超	104.9 以下	2	7.6%	6147
A3	0.60超-0.65以下	104.9 超	113.7 以下	2		6152
A3-	0.65超-0.70以下	113.7 超	122.4 以下	5		6706
A2+	0.70超-0.75以下	122.4 超	131.1 以下	6	14.4%	5772
A2	0.75超-0.80以下	131.1 超	139.9 以下	7		6284
A2-	0.80超-0.85以下	139.9 超	148.6 以下	4		6551
A1+	0.85超-0.90以下	148.6 超	157.4 以下	3	16.1%	7180
A1	0.90超-0.95以下	157.4 超	166.1 以下	4		5036
A1-	0.95超-1.00以下	166.1 超	174.8 以下	12		6357
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 174.8 超	183.6 以下	5	13.6%	5019
B2	1.05超-1.10以下	183.6 超	192.3 以下	4		4398
B2-	1.10超-1.15以下	192.3 超	201.1 以下	7		5180
B1	1.15超-1.50以下	201.1 超	262.2 以下	23	19.5%	5518
C	1.50超	262.2 超		15	12.7%	4965

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■区分番号-4 (3) テナントビル(商業複合系、準大規模)

区分番号:4(3) テナントビル(商業複合系、準大規模)

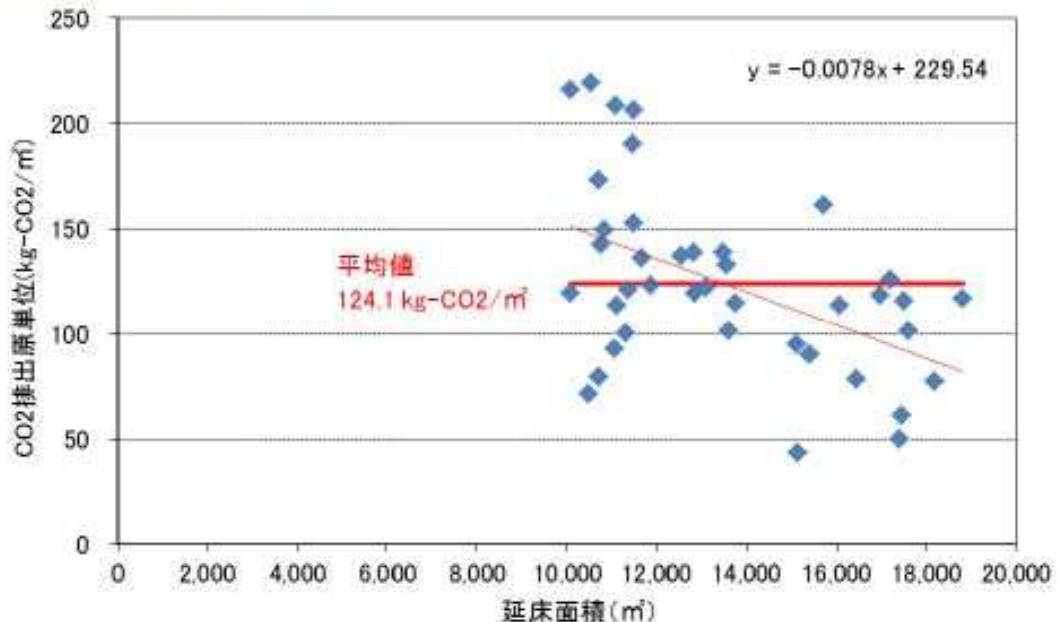
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	68.3 以下		3	7.5%	16663	
A3+	0.55超-0.60以下	68.3 超	74.5 以下	1	10.0%	10472	
A3	0.60超-0.65以下	74.5 超	80.7 以下	3		15116	
A3-	0.65超-0.70以下	80.7 超	86.9 以下	0		0	
A2+	0.70超-0.75以下	86.9 超	93.1 以下	2	15.0%	13227	
A2	0.75超-0.80以下	93.1 超	99.3 以下	1		15120	
A2-	0.80超-0.85以下	99.3 超	105.5 以下	3		14173	
A1+	0.85超-0.90以下	105.5 超	111.7 以下	0	27.5%	0	
A1	0.90超-0.95以下	111.7 超	117.9 以下	5		15446	
A1-	0.95超-1.00以下	117.9 超	124.1 以下	6		12705	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 124.1 超	130.4 以下	1	17.5%	17214	
B2	1.05超-1.10以下	130.4 超	136.6 以下	2		12616	
B2-	1.10超-1.15以下	136.6 超	142.8 以下	4		12393	
B1	1.15超-1.50以下	142.8 超	186.2 以下	4	10.0%	12191	
C	1.50超	186.2 超		5	12.5%	10928	
				合計	40	平均	13470

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■区分番号-5 物販店（コンビニ）

区分番号:5 物販店(コンビニ)

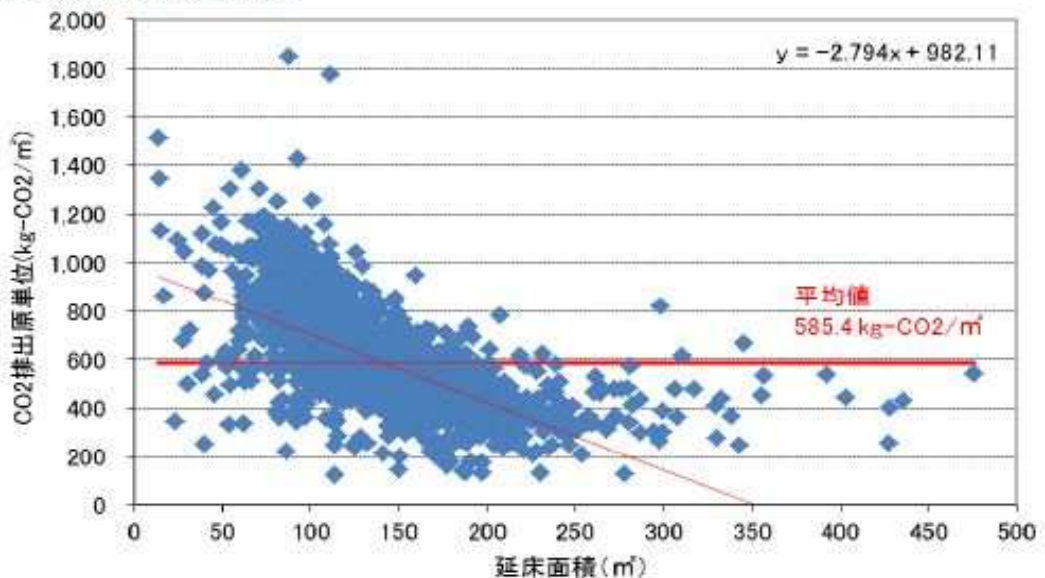
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	322.0 以下	80	2.2%	202
A3 +	0.55超-0.60以下	322.0 超 351.3 以下	62	8.6%	194
A3	0.60超-0.65以下	351.3 超 380.6 以下	106		193
A3 -	0.65超-0.70以下	380.6 超 409.8 以下	146		188
A2 +	0.70超-0.75以下	409.8 超 439.1 以下	221	22.3%	177
A2	0.75超-0.80以下	439.1 超 468.4 以下	251		170
A2 -	0.80超-0.85以下	468.4 超 497.6 以下	341	24.7%	162
A1 +	0.85超-0.90以下	497.6 超 526.9 以下	307		152
A1	0.90超-0.95以下	526.9 超 556.2 以下	293		144
A1 -	0.95超-1.00以下	556.2 超 585.4 以下	302	17.0%	137
B2 +	1.00超-1.05以下	585.4 超 614.7 以下	230		132
B2	1.05超-1.10以下	614.7 超 644.0 以下	208		128
B2 -	1.10超-1.15以下	644.0 超 673.3 以下	181	19.4%	122
B1	1.15超-1.50以下	673.3 超 878.1 以下	708		109
C	1.50超	878.1 超	210	5.8%	88
合計			3646	平均	142

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



区分番号ー6 物販店（ドラッグストア）

区分番号:6 物販店(ドラッグストア)

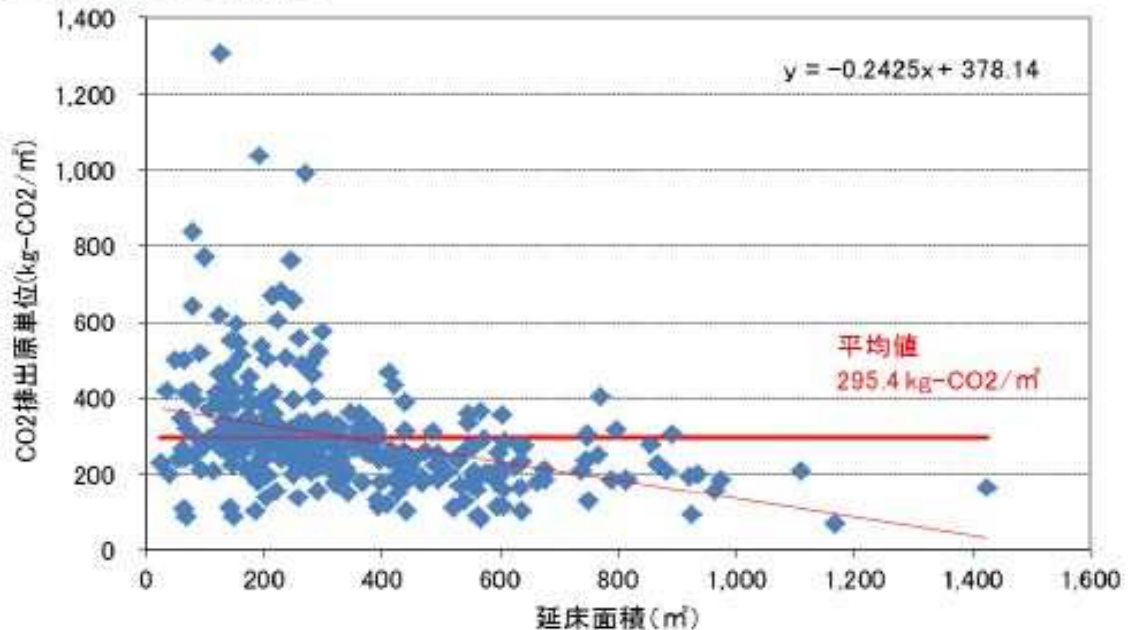
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (m ²)	
A4	0.55以下	162.5 以下		28	9.0%	465	
A3 +	0.55超-0.60以下	162.5 超	177.3 以下	7	14.4%	625	
A3	0.60超-0.65以下	177.3 超	192.1 以下	20		531	
A3 -	0.65超-0.70以下	192.1 超	206.8 以下	18		436	
A2 +	0.70超-0.75以下	206.8 超	221.6 以下	15	19.2%	456	
A2	0.75超-0.80以下	221.6 超	236.4 以下	20		375	
A2 -	0.80超-0.85以下	236.4 超	251.1 以下	25	18.6%	321	
A1 +	0.85超-0.90以下	251.1 超	265.9 以下	19		327	
A1	0.90超-0.95以下	265.9 超	280.7 以下	23		342	
A1 -	0.95超-1.00以下	280.7 超	平均値 295.4 以下	16	15.7%	282	
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 295.4 超	310.2 以下	20		323	
B2	1.05超-1.10以下	310.2 超	325.0 以下	12	12.8%	278	
B2 -	1.10超-1.15以下	325.0 超	339.8 以下	17		256	
B1	1.15超-1.50以下	339.8 超	443.1 以下	40	10.3%	232	
C	1.50超	443.1 超		32		193	
				合計	312	平均	341

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



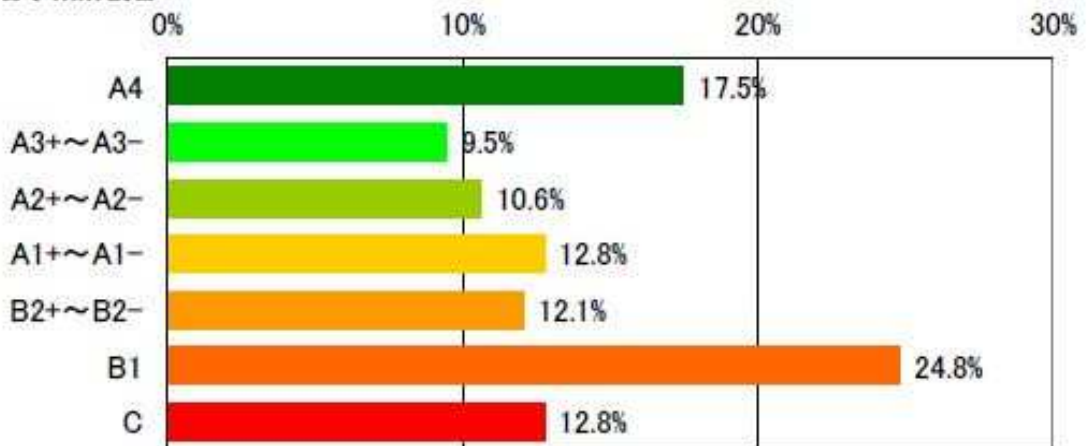
■区分番号ー7 物販店（総合スーパー・百貨店）

区分番号:7 物販店(総合スーパー・百貨店)

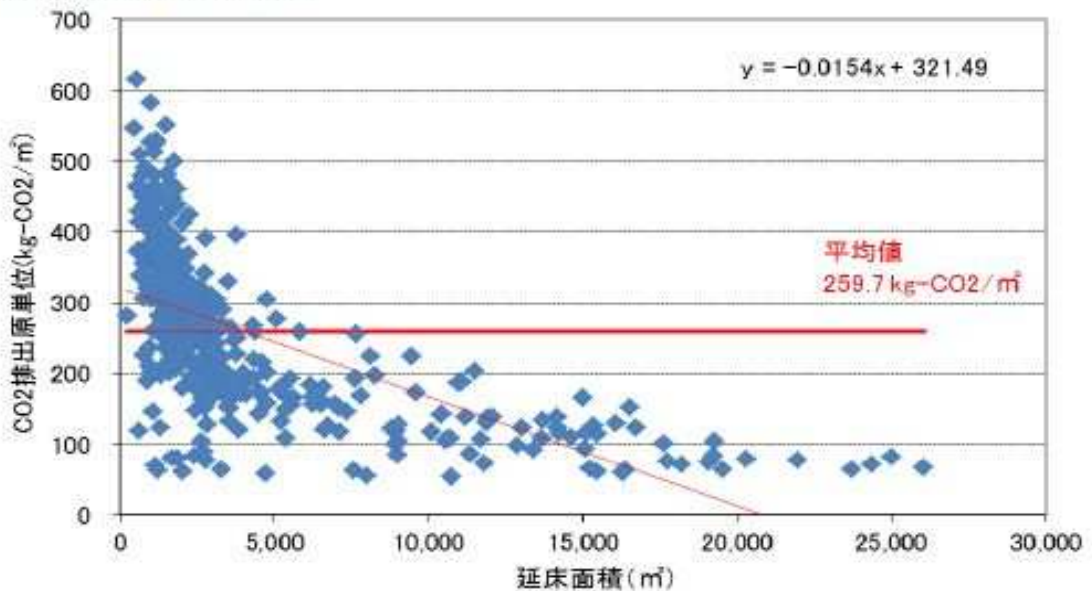
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	142.9 以下		74	17.5%	11307	
A3 +	0.55超-0.60以下	142.9 超	155.9 以下	11	9.5%	5416	
A3	0.60超-0.65以下	155.9 超	168.9 以下	14		5989	
A3 -	0.65超-0.70以下	168.9 超	181.8 以下	15		4235	
A2 +	0.70超-0.75以下	181.8 超	194.8 以下	15	10.6%	4896	
A2	0.75超-0.80以下	194.8 超	207.8 以下	16		3540	
A2 -	0.80超-0.85以下	207.8 超	220.8 以下	14		2375	
A1 +	0.85超-0.90以下	220.8 超	233.8 以下	16	12.8%	3231	
A1	0.90超-0.95以下	233.8 超	246.8 以下	18		2241	
A1 -	0.95超-1.00以下	246.8 超	259.7 以下	20		2715	
B2 +	1.00超-1.05以下	259.7 超	272.7 以下	17	12.1%	2360	
B2	1.05超-1.10以下	272.7 超	285.7 以下	18		2002	
B2 -	1.10超-1.15以下	285.7 超	298.7 以下	16		1953	
B1	1.15超-1.50以下	298.7 超	389.6 以下	105	24.8%	1551	
C	1.50超	389.6 超		54	12.8%	1260	
				合計	423	平均	3999

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



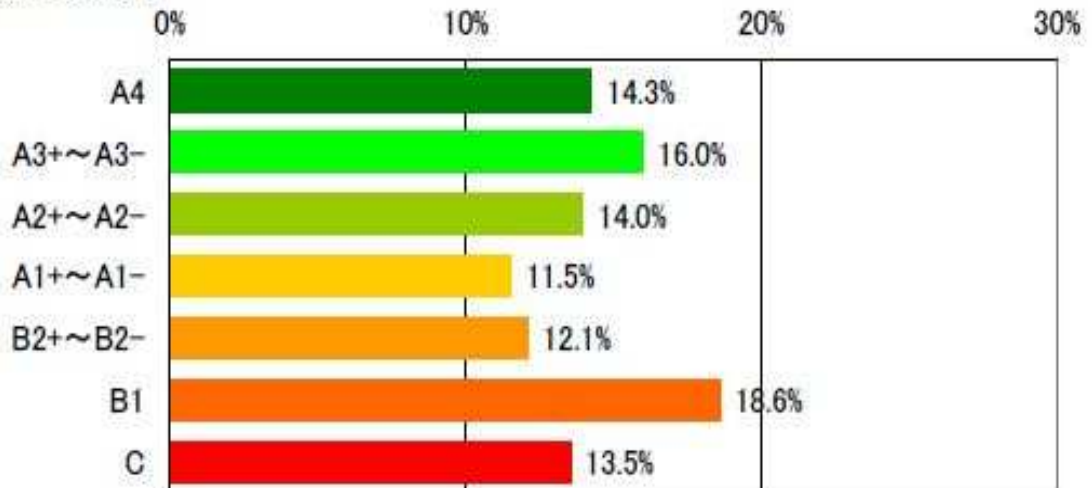
■区分番号ー8 物販店（生鮮食品等）

区分番号:8 物販店(生鮮食品等)

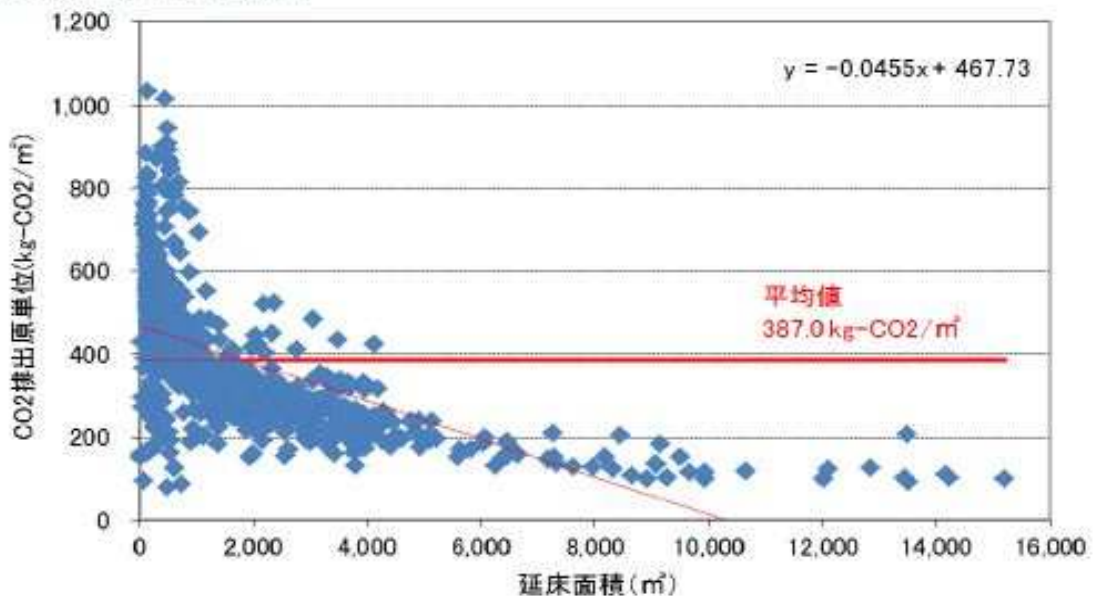
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	212.9 以下		99	14.3%	5249	
A3+	0.55超-0.60以下	212.9 超	232.2 以下	28	16.0%	2717	
A3	0.60超-0.65以下	232.2 超	251.6 以下	36		2612	
A3-	0.65超-0.70以下	251.6 超	270.9 以下	47		2313	
A2+	0.70超-0.75以下	270.9 超	290.3 以下	30	14.0%	2093	
A2	0.75超-0.80以下	290.3 超	309.6 以下	34		1702	
A2-	0.80超-0.85以下	309.6 超	329.0 以下	33		1757	
A1+	0.85超-0.90以下	329.0 超	348.3 以下	37	11.5%	1714	
A1	0.90超-0.95以下	348.3 超	367.7 以下	22		1187	
A1-	0.95超-1.00以下	367.7 超	平均値 387.0 以下	21		933	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 387.0 超	406.4 以下	30	12.1%	676	
B2	1.05超-1.10以下	406.4 超	425.7 以下	24		933	
B2-	1.10超-1.15以下	425.7 超	445.1 以下	30		492	
B1	1.15超-1.50以下	445.1 超	580.5 以下	129	18.6%	450	
C	1.50超	580.5 超		94	13.5%	303	
				合計	694	平均	1772

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



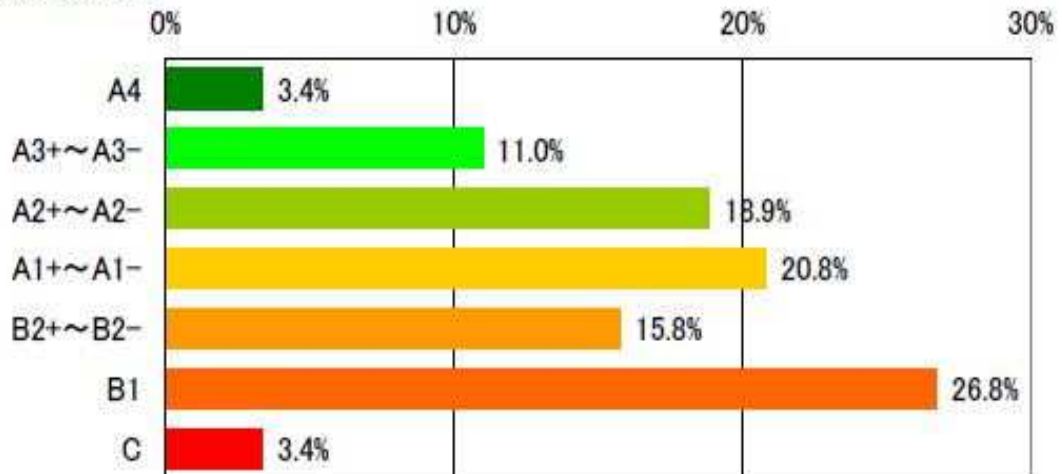
■区分番号ー9 物販店（食料品の製造小売）

区分番号:9 物販店(食料品の製造小売)

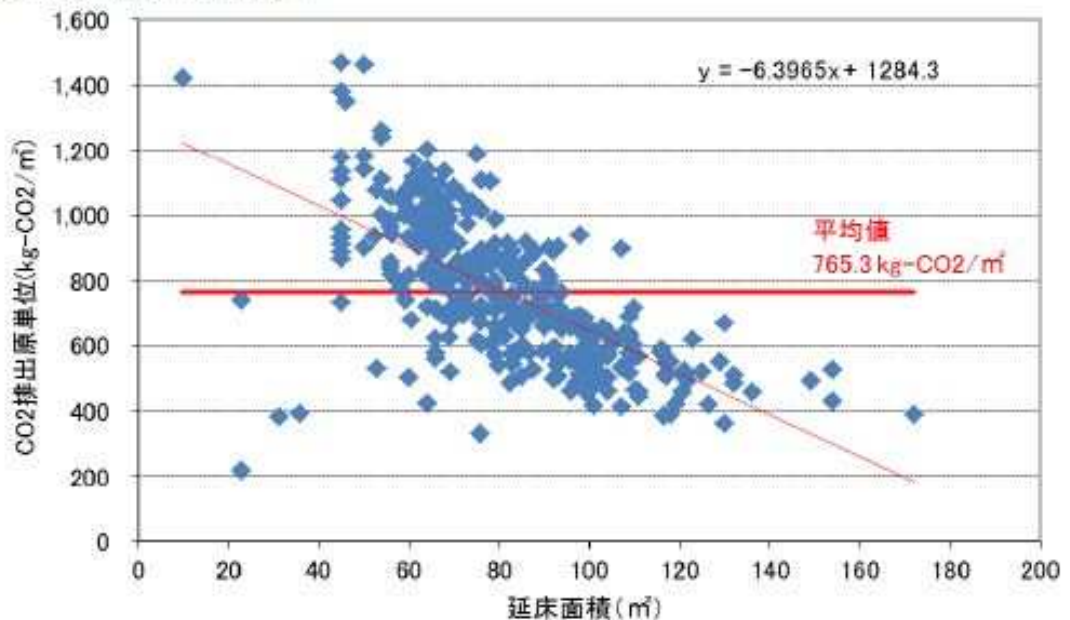
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)	
A4	0.55以下	421.0 以下		12	3.4%	96	
A3+	0.55超-0.60以下	421.0 超	459.2 以下	7	11.0%	112	
A3	0.60超-0.65以下	459.2 超	497.5 以下	10		111	
A3-	0.65超-0.70以下	497.5 超	535.8 以下	22		103	
A2+	0.70超-0.75以下	535.8 超	574.0 以下	23	18.9%	98	
A2	0.75超-0.80以下	574.0 超	612.3 以下	22		96	
A2-	0.80超-0.85以下	612.3 超	650.6 以下	22		95	
A1+	0.85超-0.90以下	650.6 超	688.8 以下	25	20.8%	91	
A1	0.90超-0.95以下	688.8 超	727.1 以下	29		82	
A1-	0.95超-1.00以下	727.1 超	765.3 以下	20		74	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 765.3 超	803.6 以下	16	15.8%	76	
B2	1.05超-1.10以下	803.6 超	841.9 以下	20		72	
B2-	1.10超-1.15以下	841.9 超	880.1 以下	20		73	
B1	1.15超-1.50以下	880.1 超	1148.0 以下	95	26.8%	65	
C	1.50超	1148.0 超		12	3.4%	50	
				合計	355	平均	81

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



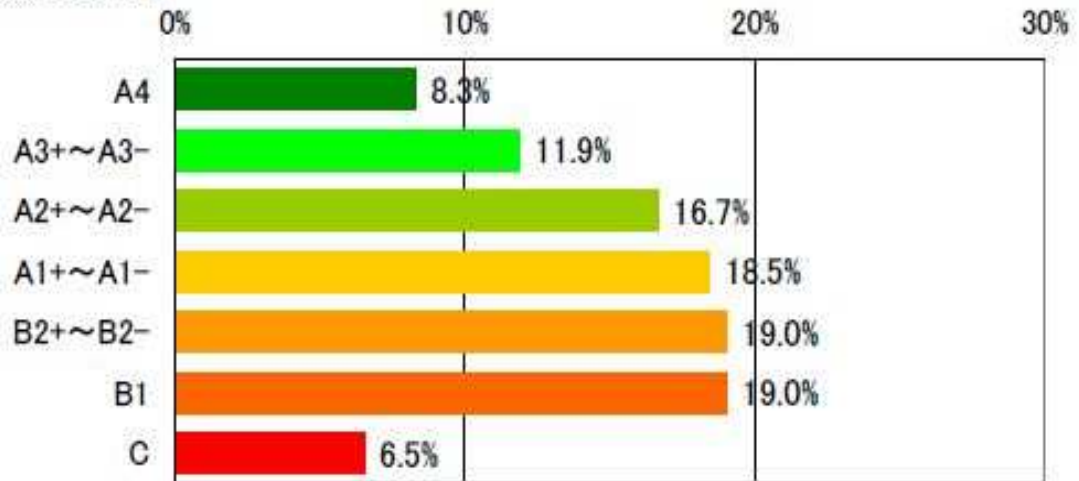
■区分番号－10 物販店（服装品）

区分番号：10 物販店（服飾品）

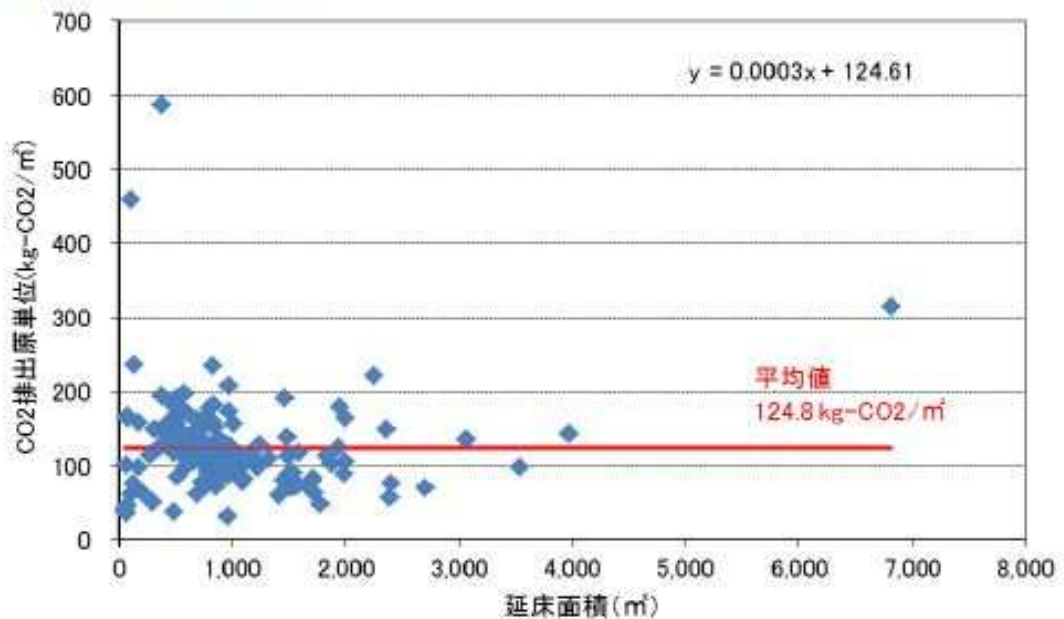
①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	68.7 以下	14	8.3%	849
A3+	0.55超-0.60以下	68.7 超 74.9 以下	7	11.9%	1497
A3	0.60超-0.65以下	74.9 超 81.2 以下	7		1191
A3-	0.65超-0.70以下	81.2 超 87.4 以下	6	16.7%	1038
A2+	0.70超-0.75以下	87.4 超 93.6 以下	5		1337
A2	0.75超-0.80以下	93.6 超 99.9 以下	9	18.5%	1144
A2-	0.80超-0.85以下	99.9 超 106.1 以下	14		996
A1+	0.85超-0.90以下	106.1 超 112.4 以下	12	19.0%	881
A1	0.90超-0.95以下	112.4 超 118.6 以下	11		972
A1-	0.95超-1.00以下	118.6 超 124.8 以下	8	19.0%	651
B2+	1.00超-1.05以下	124.8 超 131.1 以下	16		817
B2	1.05超-1.10以下	131.1 超 137.3 以下	10	6.5%	887
B2-	1.10超-1.15以下	137.3 超 143.6 以下	6		1249
B1	1.15超-1.50以下	143.6 超 187.2 以下	32	合計	713
C	1.50超	187.2 超	11		平均
			168	958	

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



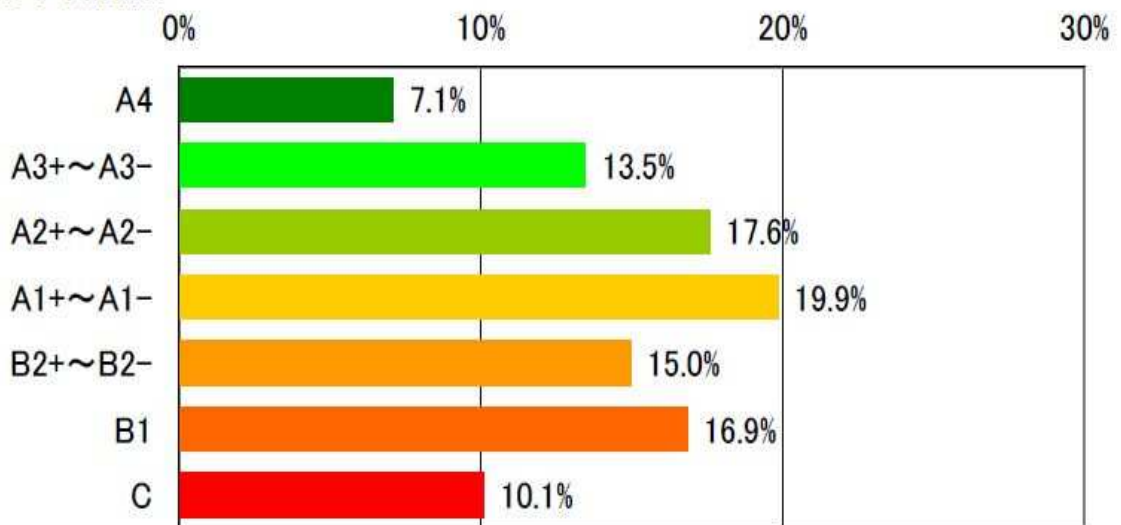
区分番号ー11 物販店（自動車（新車）小売）

区分番号:11 物販店（自動車（新車）小売）

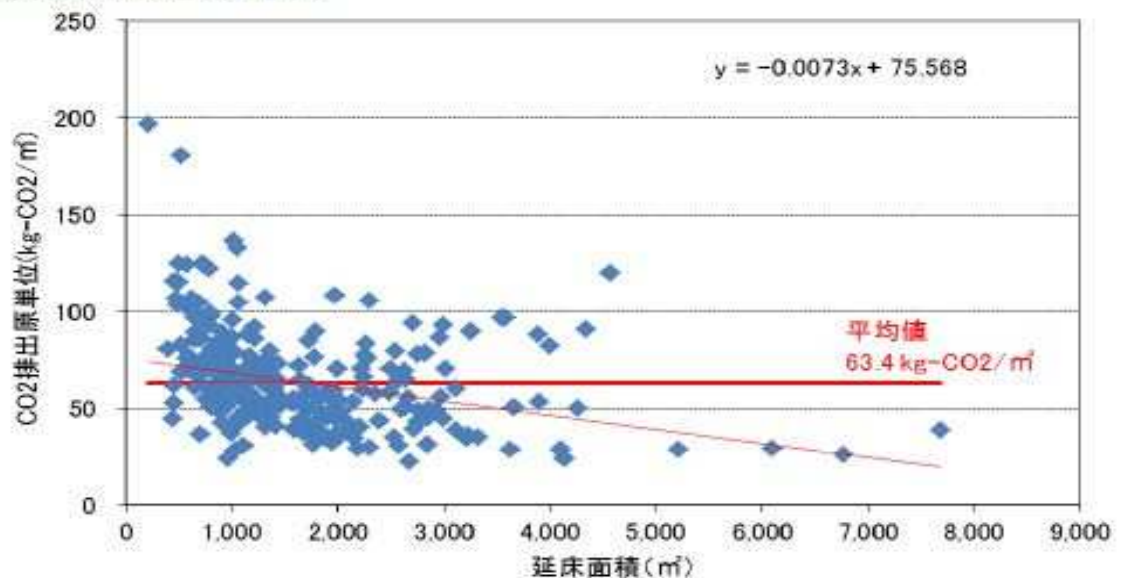
①自己評価指標（ベンチマーク）

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	34.9 以下	19	7.1%	2979
A3 +	0.55超-0.60以下	34.9 超 38.1 以下	13	13.5%	1930
A3	0.60超-0.65以下	38.1 超 41.3 以下	12		2404
A3 -	0.65超-0.70以下	41.3 超 44.4 以下	11		1618
A2 +	0.70超-0.75以下	44.4 超 47.6 以下	14	17.6%	1747
A2	0.75超-0.80以下	47.6 超 50.8 以下	20		2013
A2 -	0.80超-0.85以下	50.8 超 53.9 以下	13		1572
A1 +	0.85超-0.90以下	53.9 超 57.1 以下	24	19.9%	1421
A1	0.90超-0.95以下	57.1 超 60.3 以下	15		1675
A1 -	0.95超-1.00以下	60.3 超 63.4 以下	14		1095
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 63.4 超 66.6 以下	14	15.0%	1444
B2	1.05超-1.10以下	66.6 超 69.8 以下	13		1138
B2 -	1.10超-1.15以下	69.8 超 73.0 以下	13		1508
B1	1.15超-1.50以下	73.0 超 95.1 以下	45	16.9%	1575
C	1.50超	95.1 超	27	10.1%	1182
合計			267	平均	1668

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



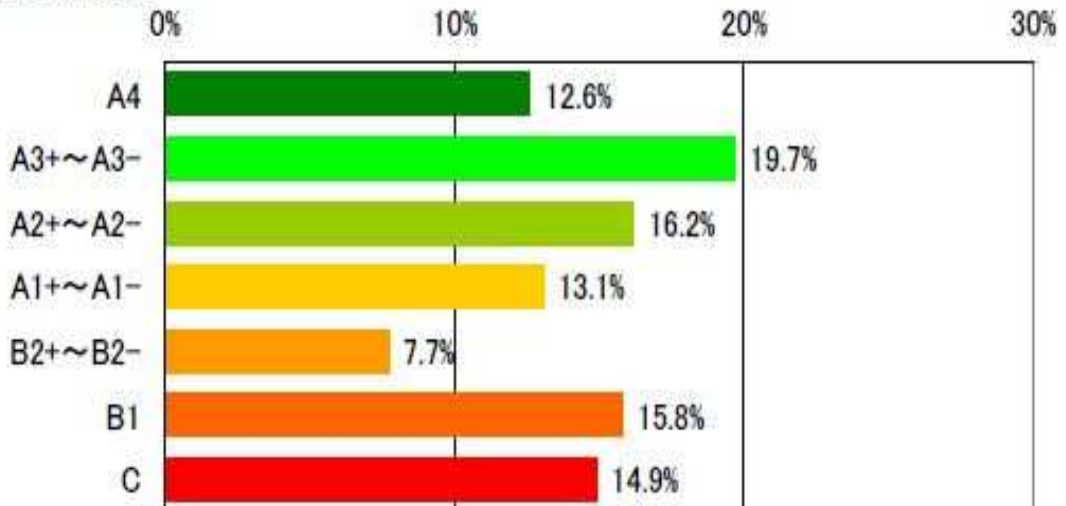
■区分番号-12 飲食店（食堂・レストラン）

区分番号:12 飲食店(食堂・レストラン)

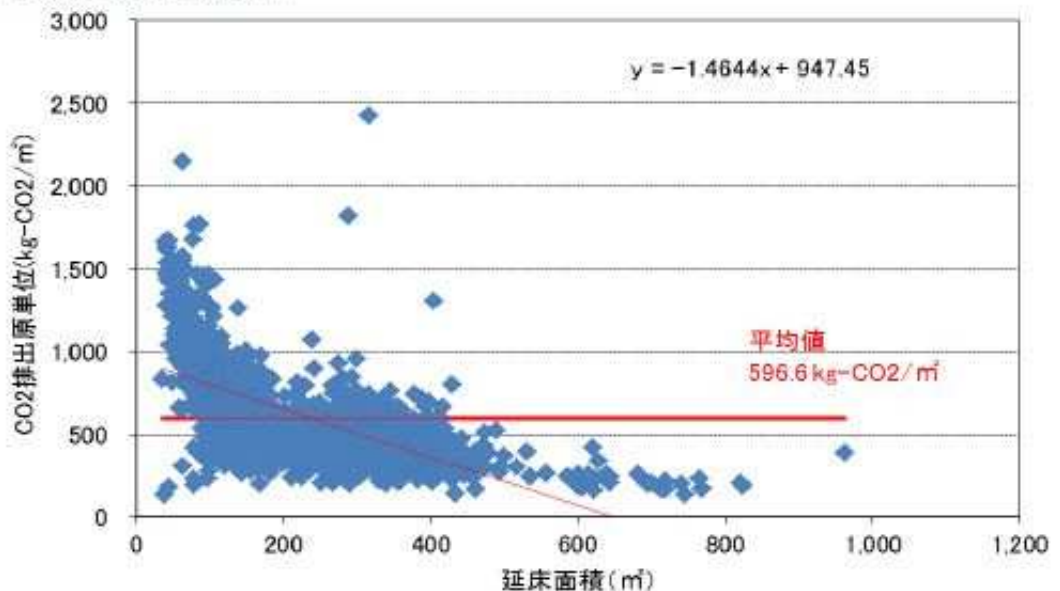
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	328.2 以下	198	12.6%	373	
A3+	0.55超-0.60以下	328.2 超 358.0 以下	80	19.7%	306	
A3	0.60超-0.65以下	358.0 超 387.8 以下	116		306	
A3-	0.65超-0.70以下	387.8 超 417.7 以下	113		304	
A2+	0.70超-0.75以下	417.7 超 447.5 以下	91	16.2%	297	
A2	0.75超-0.80以下	447.5 超 477.3 以下	92		284	
A2-	0.80超-0.85以下	477.3 超 507.2 以下	71		282	
A1+	0.85超-0.90以下	507.2 超 537.0 以下	81	13.1%	274	
A1	0.90超-0.95以下	537.0 超 566.8 以下	61		260	
A1-	0.95超-1.00以下	566.8 超 平均値 596.6 以下	63		231	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 596.6 超 626.5 以下	46	7.7%	245	
B2	1.05超-1.10以下	626.5 超 656.3 以下	38		225	
B2-	1.10超-1.15以下	656.3 超 686.1 以下	37		228	
B1	1.15超-1.50以下	686.1 超 894.9 以下	248		15.8%	136
C	1.50超	894.9 超	234	14.9%	85	
			合計	1569	平均	240

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



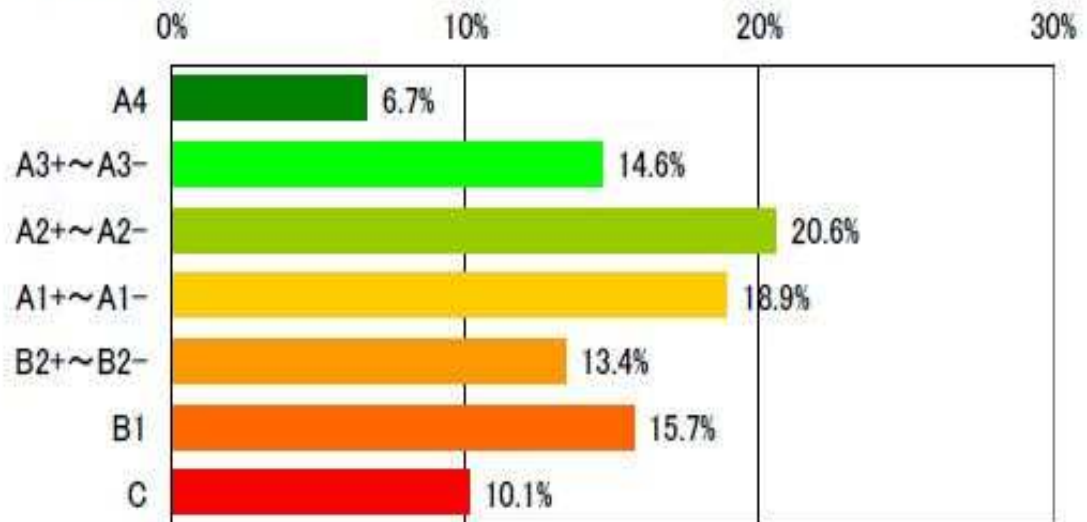
■区分番号ー13 飲食店（居酒屋・バー）

区分番号:13 飲食店(居酒屋・バー)

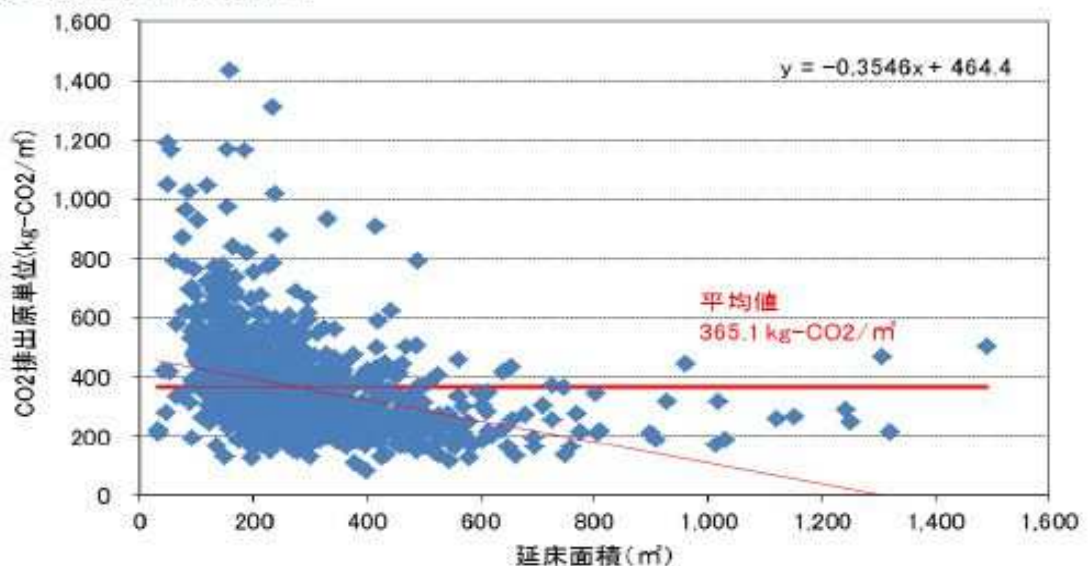
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	200.9 以下		75	6.7%	416	
A3+	0.55超-0.60以下	200.9 超	219.1 以下	50	14.6%	432	
A3	0.60超-0.65以下	219.1 超	237.4 以下	57		334	
A3-	0.65超-0.70以下	237.4 超	255.6 以下	58	20.6%	346	
A2+	0.70超-0.75以下	255.6 超	273.9 以下	68		323	
A2	0.75超-0.80以下	273.9 超	292.1 以下	87	18.9%	286	
A2-	0.80超-0.85以下	292.1 超	310.4 以下	77		281	
A1+	0.85超-0.90以下	310.4 超	328.6 以下	68	18.9%	279	
A1	0.90超-0.95以下	328.6 超	346.9 以下	67		271	
A1-	0.95超-1.00以下	346.9 超	平均値 365.1 以下	78	13.4%	262	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 365.1 超	383.4 以下	64		255	
B2	1.05超-1.10以下	383.4 超	401.7 以下	46	15.7%	234	
B2-	1.10超-1.15以下	401.7 超	419.9 以下	41		249	
B1	1.15超-1.50以下	419.9 超	547.7 以下	177	10.1%	229	
C	1.50超	547.7 超		114		173	
				合計	1127	平均	280

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■区分番号-14 飲食店（ハンバーガー）

区分番号:14 飲食店(ハンバーガー)

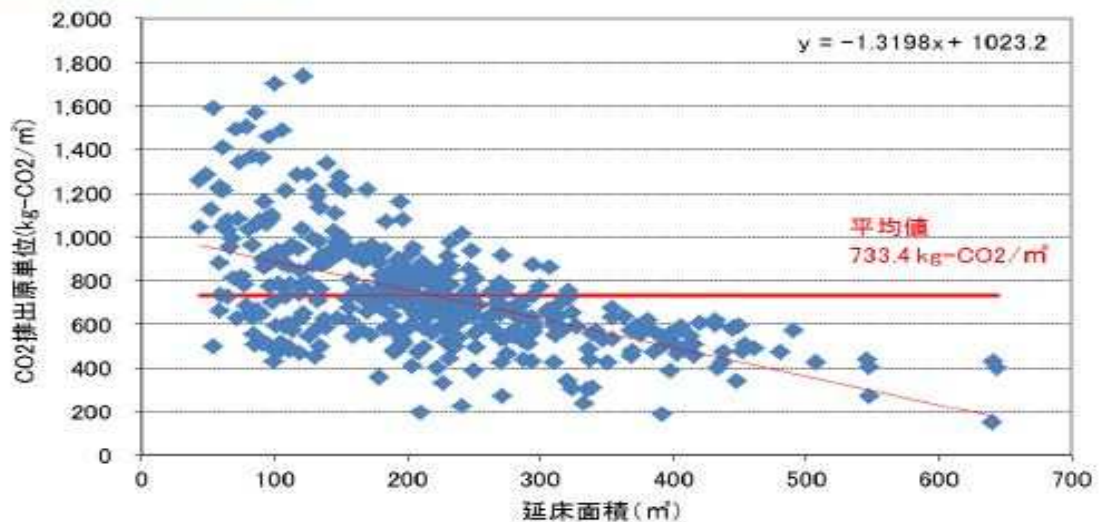
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	403.4 以下	19	4.6%	356
A3+	0.55超-0.60以下	403.4 超 440.1 以下	13	12.1%	372
A3	0.60超-0.65以下	440.1 超 476.8 以下	15		308
A3-	0.65超-0.70以下	476.8 超 513.4 以下	22	18.6%	252
A2+	0.70超-0.75以下	513.4 超 550.1 以下	23		272
A2	0.75超-0.80以下	550.1 超 586.8 以下	31	21.3%	289
A2-	0.80超-0.85以下	586.8 超 623.4 以下	23		268
A1+	0.85超-0.90以下	623.4 超 660.1 以下	36	19.9%	225
A1	0.90超-0.95以下	660.1 超 696.8 以下	23		224
A1-	0.95超-1.00以下	696.8 超 733.4 以下	29	15.5%	202
B2+	1.00超-1.05以下	733.4 超 770.1 以下	23		211
B2	1.05超-1.10以下	770.1 超 806.8 以下	25	8.0%	184
B2-	1.10超-1.15以下	806.8 超 843.5 以下	16		192
B1	1.15超-1.50以下	843.5 超 1100.1 以下	82	153	
C	1.50超	1100.1 超	33	103	
合計			413	平均	220

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



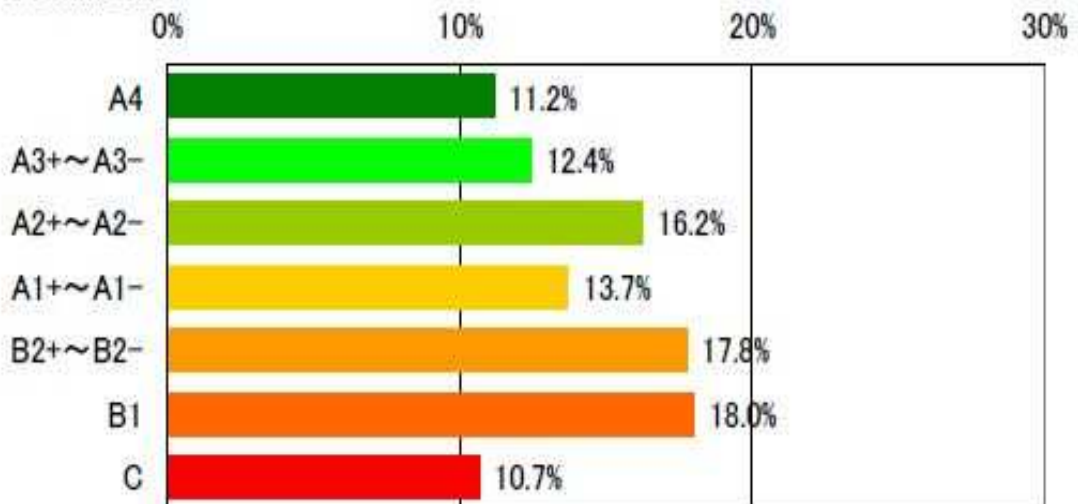
■区分番号-15 飲食店（喫茶）

区分番号:15 飲食店(喫茶)

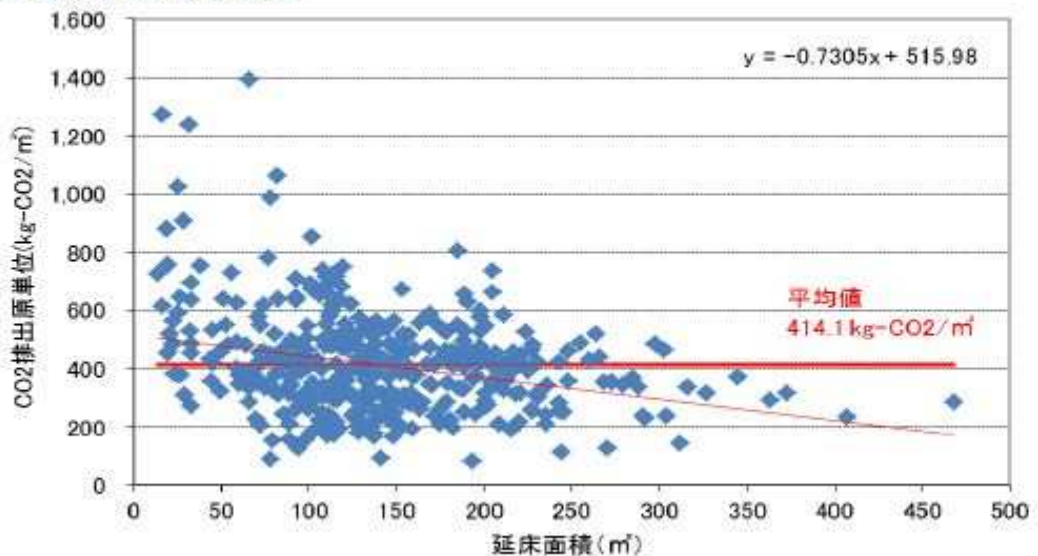
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	227.8 以下		44	11.2%	145	
A3+	0.55超-0.60以下	227.8 超	248.5 以下	18	12.4%	182	
A3	0.60超-0.65以下	248.5 超	269.2 以下	15		161	
A3-	0.65超-0.70以下	269.2 超	289.9 以下	16		169	
A2+	0.70超-0.75以下	289.9 超	310.6 以下	18	16.2%	132	
A2	0.75超-0.80以下	310.6 超	331.3 以下	26		160	
A2-	0.80超-0.85以下	331.3 超	352.0 以下	20		152	
A1+	0.85超-0.90以下	352.0 超	372.7 以下	19	13.7%	169	
A1	0.90超-0.95以下	372.7 超	393.4 以下	16		104	
A1-	0.95超-1.00以下	393.4 超	414.1 以下	19		136	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 414.1	434.9 以下	27	17.8%	147	
B2	1.05超-1.10以下	434.9 超	455.6 以下	23		134	
B2-	1.10超-1.15以下	455.6 超	476.3 以下	20		162	
B1	1.15超-1.50以下	476.3 超	621.2 以下	71	18.0%	127	
C	1.50超	621.2 超		42	10.7%	90	
				合計	394	平均	139

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



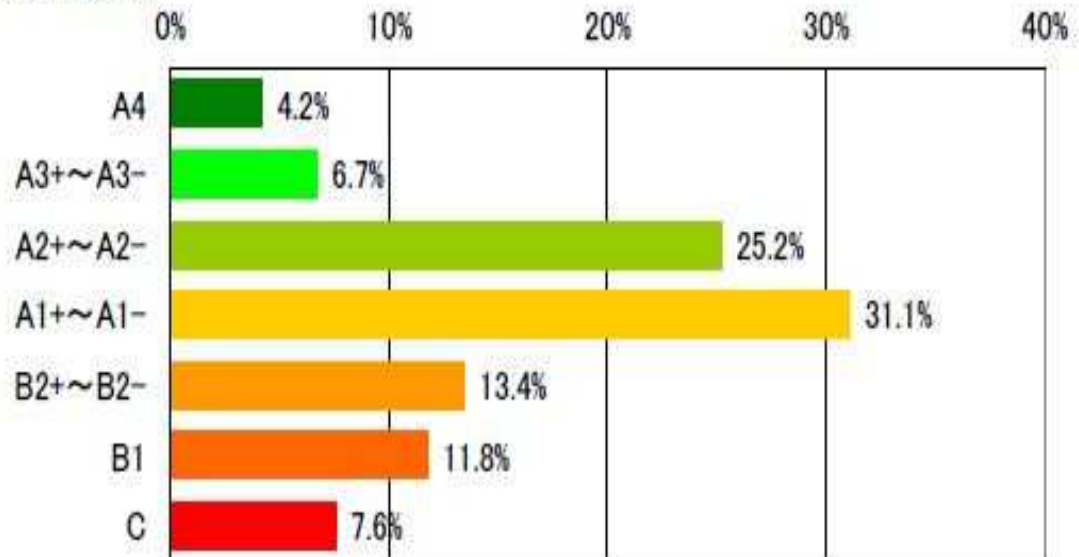
■ 区分番号-16 飲食店（焼肉）

区分番号:16 飲食店舗(焼肉)

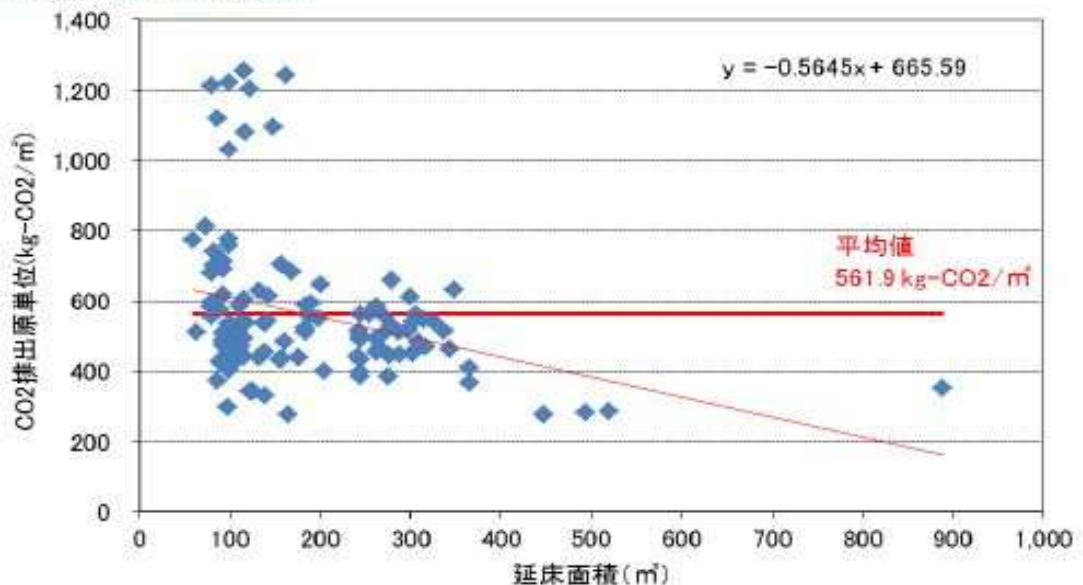
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)	
A4	0.55以下	309.1 以下	5	4.2%	344	
A3+	0.55超-0.60以下	309.1 超 337.2 以下	1	6.7%	139	
A3	0.60超-0.65以下	337.2 超 365.3 以下	3		378	
A3-	0.65超-0.70以下	365.3 超 393.4 以下	4		243	
A2+	0.70超-0.75以下	393.4 超 421.5 以下	5	25.2%	202	
A2	0.75超-0.80以下	421.5 超 449.6 以下	13		167	
A2-	0.80超-0.85以下	449.6 超 477.7 以下	12		187	
A1+	0.85超-0.90以下	477.7 超 505.8 以下	11	31.1%	182	
A1	0.90超-0.95以下	505.8 超 533.9 以下	13		186	
A1-	0.95超-1.00以下	533.9 超 561.9 以下	13		199	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 561.9 超 590.0 以下	7	13.4%	184	
B2	1.05超-1.10以下	590.0 超 618.1 以下	7		143	
B2-	1.10超-1.15以下	618.1 超 646.2 以下	2		240	
B1	1.15超-1.50以下	646.2 超 842.9 以下	14	11.8%	118	
C	1.50超	842.9 超	9	7.6%	114	
			合計	119	平均	184

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■ 区分番号-17 飲食店（中華料理・ラーメン）

区分番号:17 飲食店(中華料理・ラーメン)

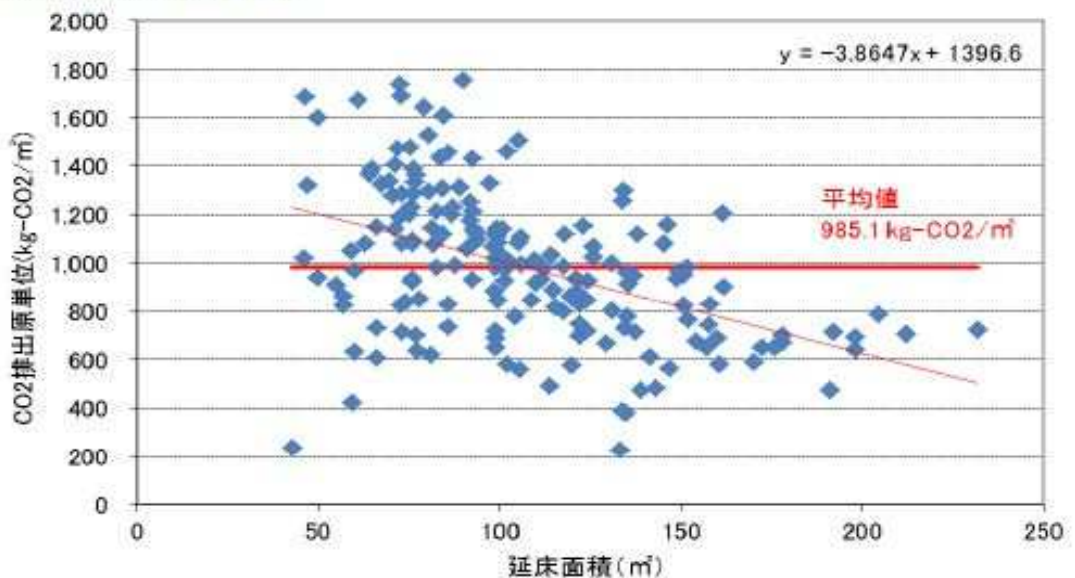
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	541.9 以下		9	4.9%	121
A3+	0.55超-0.60以下	541.9 超	591.1 以下	6	11.5%	134
A3	0.60超-0.65以下	591.1 超	640.4 以下	5		85
A3-	0.65超-0.70以下	640.4 超	689.6 以下	10	16.4%	152
A2+	0.70超-0.75以下	689.6 超	738.9 以下	15		137
A2	0.75超-0.80以下	738.9 超	788.1 以下	6	18.6%	146
A2-	0.80超-0.85以下	788.1 超	837.4 以下	9		112
A1+	0.85超-0.90以下	837.4 超	886.6 以下	9	19.7%	98
A1	0.90超-0.95以下	886.6 超	935.9 以下	14		111
A1-	0.95超-1.00以下	935.9 超	985.1 以下	11	23.5%	112
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 985.1 超	1034.4 以下	12		103
B2	1.05超-1.10以下	1034.4 超	1083.7 以下	12	5.5%	94
B2-	1.10超-1.15以下	1083.7 超	1132.9 以下	12		100
B1	1.15超-1.50以下	1132.9 超	1477.7 以下	43	合計	87
C	1.50超	1477.7 超		10		74
				183	平均	106

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



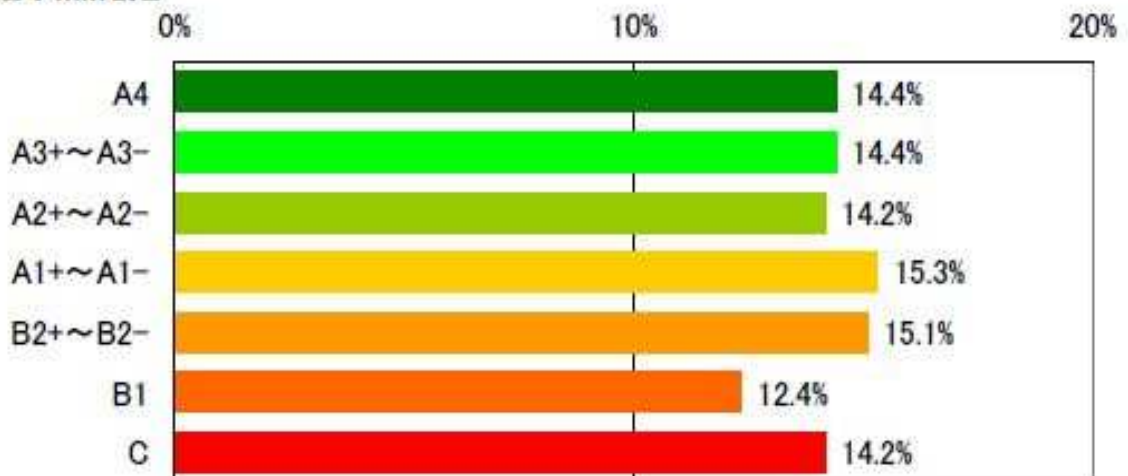
■ 区分番号-18 飲食店（その他）

区分番号:18 飲食店(その他)

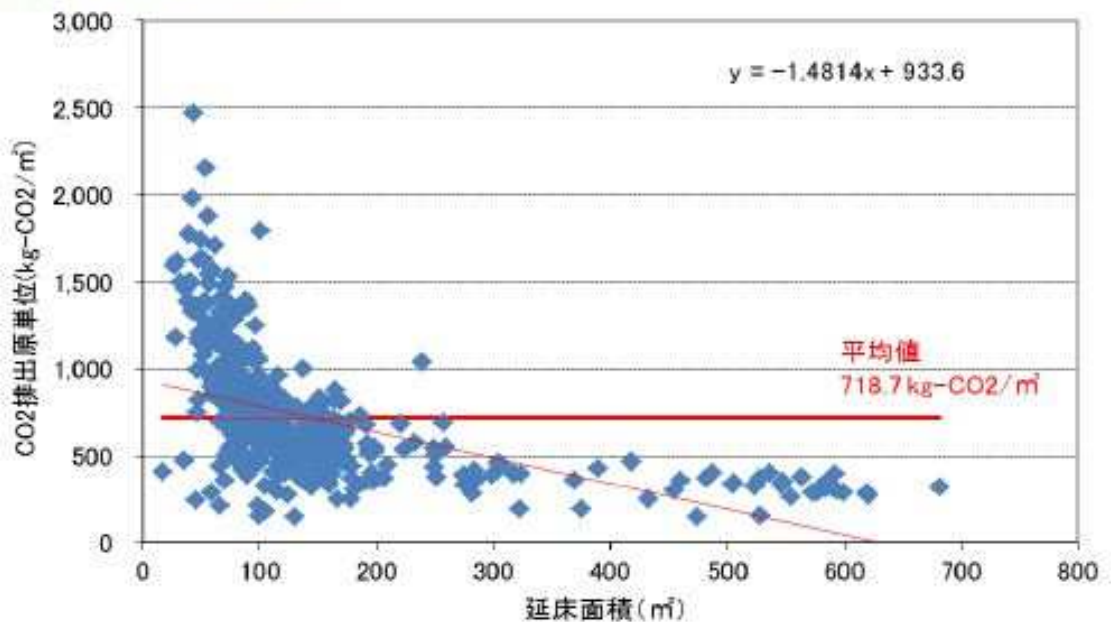
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	395.3 以下	63	14.4%	324	
A3+	0.55超-0.60以下	395.3 超 431.3 以下	16	14.4%	236	
A3	0.60超-0.65以下	431.3 超 467.2 以下	27		160	
A3-	0.65超-0.70以下	467.2 超 503.1 以下	20		129	
A2+	0.70超-0.75以下	503.1 超 539.1 以下	22		141	
A2	0.75超-0.80以下	539.1 超 575.0 以下	18	14.2%	150	
A2-	0.80超-0.85以下	575.0 超 610.9 以下	22		131	
A1+	0.85超-0.90以下	610.9 超 646.9 以下	28	15.3%	119	
A1	0.90超-0.95以下	646.9 超 682.8 以下	16		109	
A1-	0.95超-1.00以下	682.8 超 718.7 以下	23		129	
B2+	1.00超-1.05以下	718.7 超 754.7 以下	27	15.1%	107	
B2	1.05超-1.10以下	754.7 超 790.6 以下	18		109	
B2-	1.10超-1.15以下	790.6 超 826.6 以下	21		100	
B1	1.15超-1.50以下	826.6 超 1078.1 以下	54	12.4%	90	
C	1.50超	1078.1 超	62	14.2%	60	
			合計	437	平均	145

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



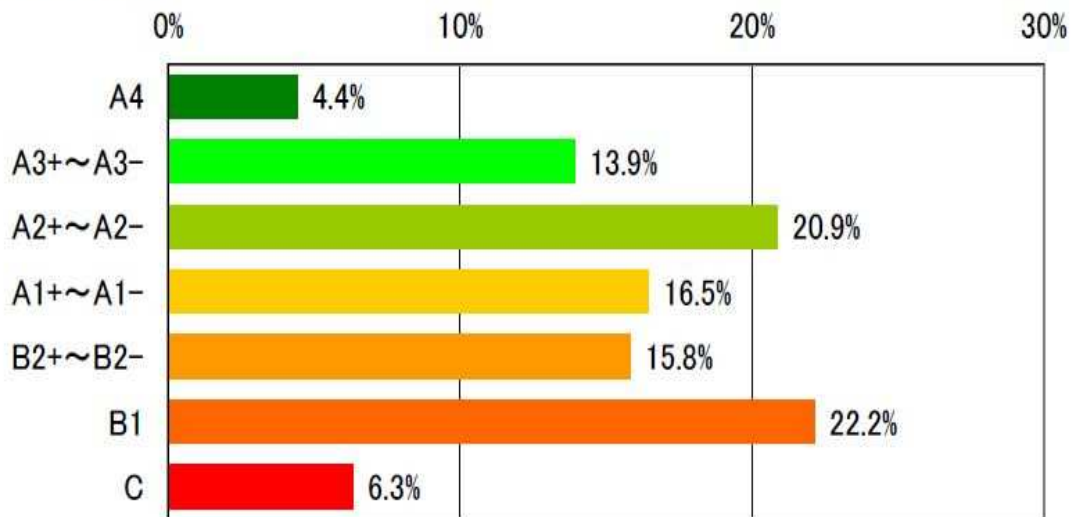
■区分番号－19 旅館・ホテル

区分番号:19 旅館・ホテル

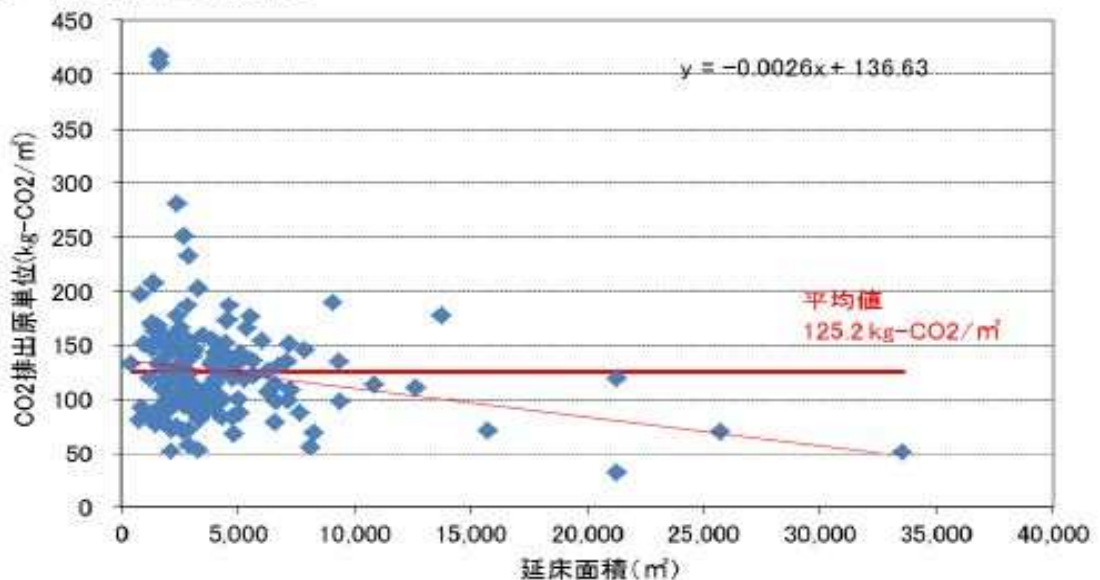
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	68.9 以下	7	4.4%	10873	
A3+	0.55超-0.60以下	68.9 超 75.2 以下	7	13.9%	8539	
A3	0.60超-0.65以下	75.2 超 81.4 以下	5		2429	
A3-	0.65超-0.70以下	81.4 超 87.7 以下	10		3622	
A2+	0.70超-0.75以下	87.7 超 93.9 以下	10	20.9%	2756	
A2	0.75超-0.80以下	93.9 超 100.2 以下	10		4839	
A2-	0.80超-0.85以下	100.2 超 106.5 以下	13		2954	
A1+	0.85超-0.90以下	106.5 超 112.7 以下	9	16.5%	5033	
A1	0.90超-0.95以下	112.7 超 119.0 以下	14		5467	
A1-	0.95超-1.00以下	119.0 超 平均値 125.2 以下	3		4422	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 125.2 超 131.5 以下	9	15.8%	3698	
B2	1.05超-1.10以下	131.5 超 137.8 以下	10		4407	
B2-	1.10超-1.15以下	137.8 超 144.0 以下	6		3676	
B1	1.15超-1.50以下	144.0 超 187.8 以下	35	22.2%	3453	
C	1.50超	187.8 超	10	6.3%	2716	
			合計	158	平均	4311

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■ 区分番号-20 学校・教育施設

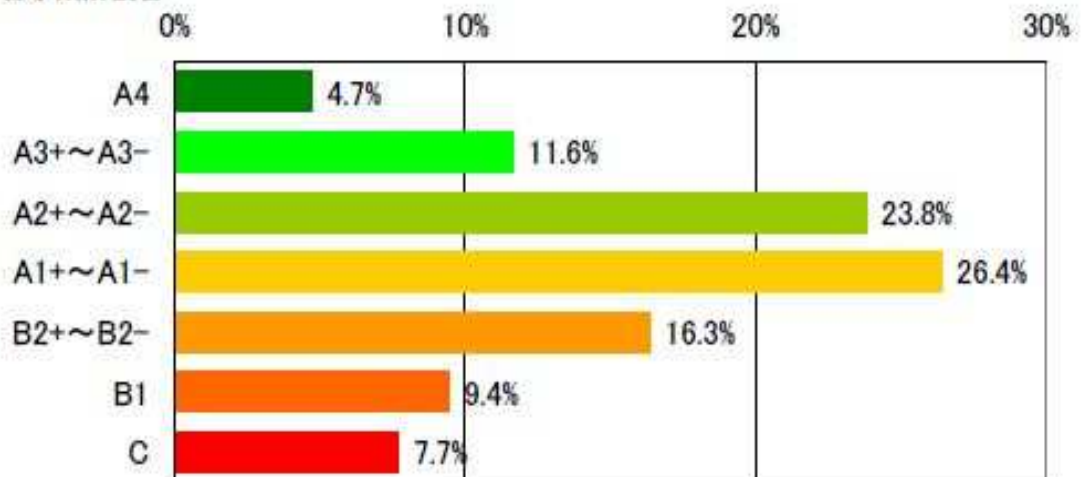
区分番号:20

学校・教育施設

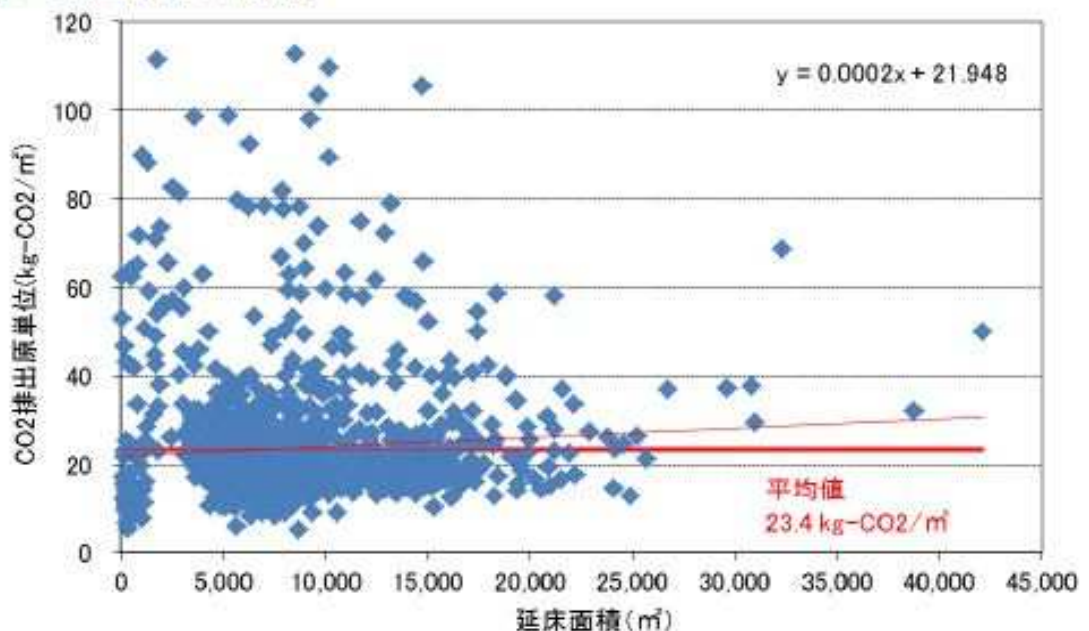
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	12.9 以下	84	4.7%	5576	
A3+	0.55超-0.60以下	12.9 超 14.1 以下	39	11.6%	8316	
A3	0.60超-0.65以下	14.1 超 15.3 以下	66		8312	
A3-	0.65超-0.70以下	15.3 超 16.4 以下	102	23.8%	7841	
A2+	0.70超-0.75以下	16.4 超 17.6 以下	117		7217	
A2	0.75超-0.80以下	17.6 超 18.8 以下	138		7385	
A2-	0.80超-0.85以下	18.8 超 19.9 以下	169	26.4%	7134	
A1+	0.85超-0.90以下	19.9 超 21.1 以下	176		7078	
A1	0.90超-0.95以下	21.1 超 22.3 以下	173		6852	
A1-	0.95超-1.00以下	22.3 超 23.4 以下	121	16.3%	6742	
B2+	1.00超-1.05以下	23.4 超 24.6 以下	126		6838	
B2	1.05超-1.10以下	24.6 超 25.8 以下	109		6992	
B2-	1.10超-1.15以下	25.8 超 27.0 以下	56	9.4%	7271	
B1	1.15超-1.50以下	27.0 超 35.1 以下	168		7950	
C	1.50超	35.1 超	137	7.7%	9098	
			合計	1781	平均	7339

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



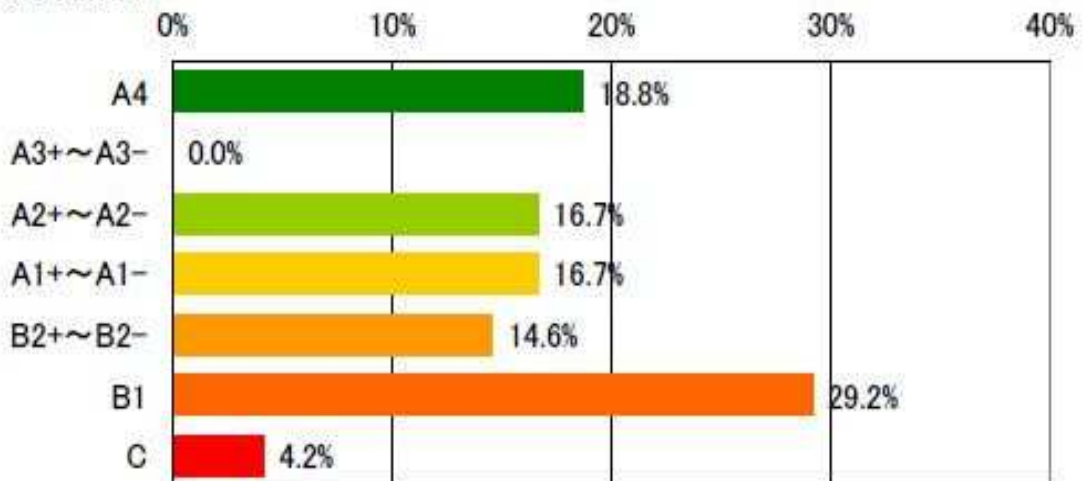
■ 区分番号-21 病院・診療所

区分番号: 21 病院・診療所

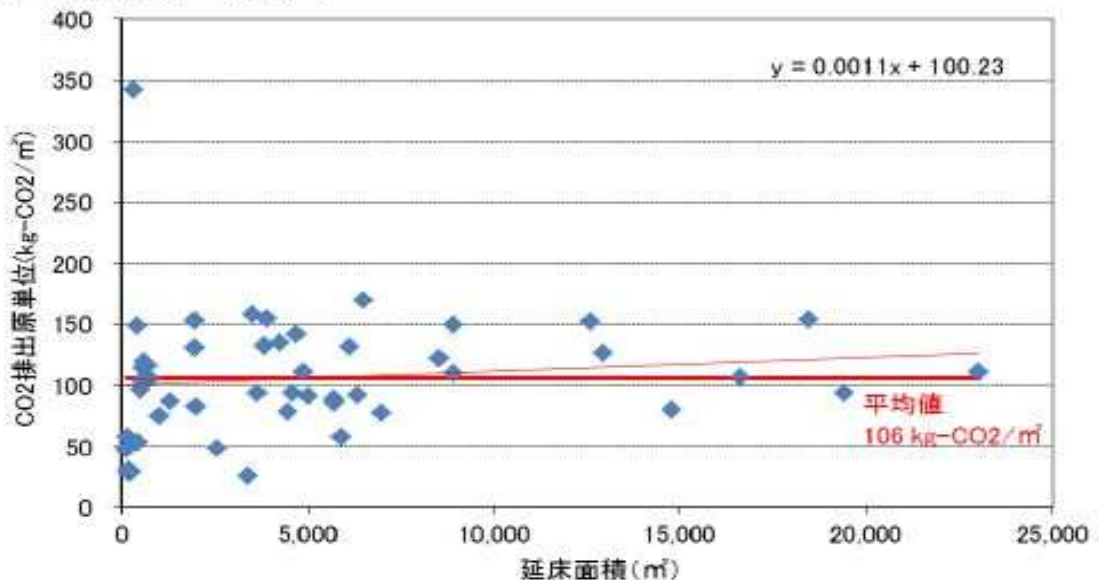
① 自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	58.3 以下		9	18.8%	1469	
A3+	0.55超-0.60以下	58.3 超	63.6 以下	0	0.0%	0	
A3	0.60超-0.65以下	63.6 超	68.9 以下	0		0	
A3-	0.65超-0.70以下	68.9 超	74.2 以下	0		0	
A2+	0.70超-0.75以下	74.2 超	79.5 以下	3	16.7%	4152	
A2	0.75超-0.80以下	79.5 超	84.8 以下	2		8384	
A2-	0.80超-0.85以下	84.8 超	90.1 以下	3		4246	
A1+	0.85超-0.90以下	90.1 超	95.4 以下	5	16.7%	7796	
A1	0.90超-0.95以下	95.4 超	100.7 以下	1		500	
A1-	0.95超-1.00以下	100.7 超	106.0 以下	2		656	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 106.0 超	111.3 以下	4	14.6%	13365	
B2	1.05超-1.10以下	111.3 超	116.6 以下	2		638	
B2-	1.10超-1.15以下	116.6 超	121.9 以下	1		602	
B1	1.15超-1.50以下	121.9 超	159.0 以下	14	29.2%	6580	
C	1.50超	159.0 超		2	4.2%	3405	
				合計	48	平均	5213

② 事業所割合



③ CO₂排出原単位の散布図



■区分番号-22 保育所

区分番号:22 保育所

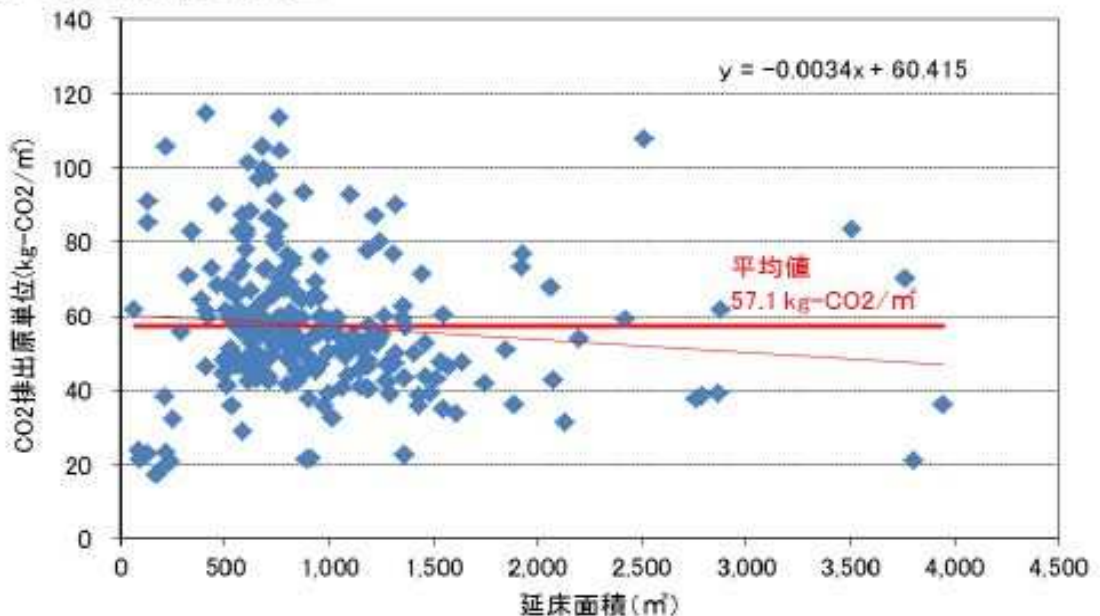
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (m ²)	
A4	0.55以下	31.5 以下		13	5.4%	832	
A3+	0.55超-0.60以下	31.5 超	34.3 以下	3	7.5%	956	
A3	0.60超-0.65以下	34.3 超	37.2 以下	6		1719	
A3-	0.65超-0.70以下	37.2 超	40.0 以下	9		1637	
A2+	0.70超-0.75以下	40.0 超	42.9 以下	15	20.7%	1106	
A2	0.75超-0.80以下	42.9 超	45.7 以下	12		908	
A2-	0.80超-0.85以下	45.7 超	48.6 以下	23		898	
A1+	0.85超-0.90以下	48.6 超	51.4 以下	16	23.2%	903	
A1	0.90超-0.95以下	51.4 超	54.3 以下	21		1039	
A1-	0.95超-1.00以下	54.3 超	57.1 以下	19		833	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 57.1 超	60.0 以下	21	17.0%	865	
B2	1.05超-1.10以下	60.0 超	62.9 以下	13		971	
B2-	1.10超-1.15以下	62.9 超	65.7 以下	7		774	
B1	1.15超-1.50以下	65.7 超	85.7 以下	43	17.8%	939	
C	1.50超	85.7 超		20	8.3%	789	
				合計	241	平均	960

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



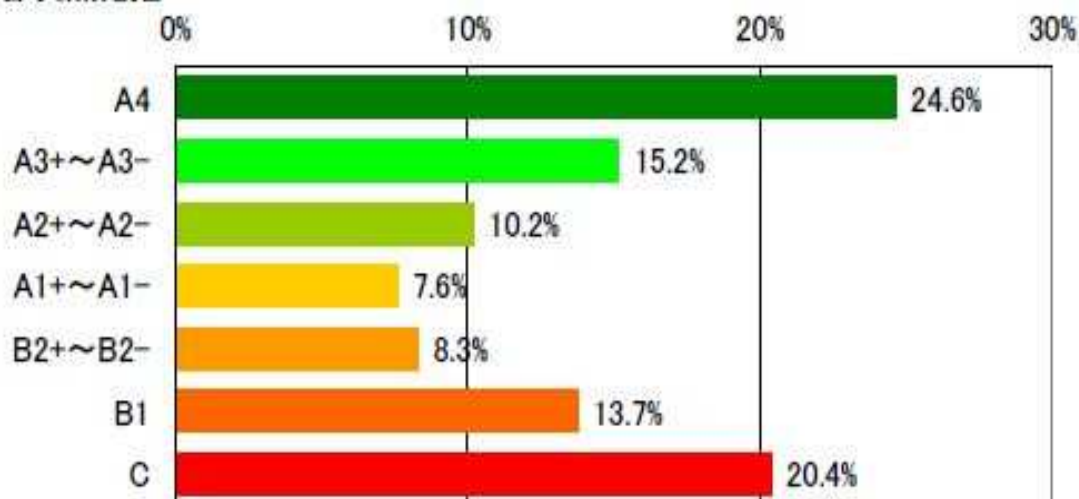
■区分番号-23 保健・介護施設

区分番号:23 保健・介護施設

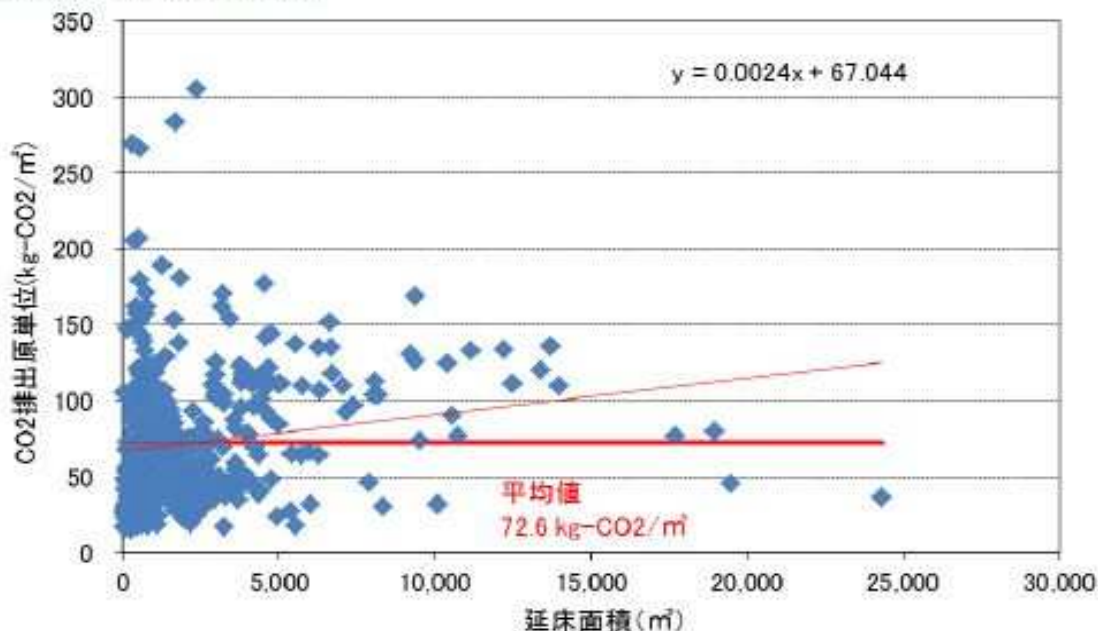
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	40.0 以下	104	24.6%	1645
A3+	0.55超-0.60以下	40.0 超 43.6 以下	26	15.2%	1345
A3	0.60超-0.65以下	43.6 超 47.2 以下	20		3192
A3-	0.65超-0.70以下	47.2 超 50.9 以下	18		1976
A2+	0.70超-0.75以下	50.9 超 54.5 以下	22	10.2%	1602
A2	0.75超-0.80以下	54.5 超 58.1 以下	13		1419
A2-	0.80超-0.85以下	58.1 超 61.8 以下	8		1629
A1+	0.85超-0.90以下	61.8 超 65.4 以下	10	7.6%	3328
A1	0.90超-0.95以下	65.4 超 69.0 以下	13		1419
A1-	0.95超-1.00以下	69.0 超 72.6 以下	9		2189
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 72.6 超 76.3 以下	13	8.3%	2145
B2	1.05超-1.10以下	76.3 超 79.9 以下	12		3762
B2-	1.10超-1.15以下	79.9 超 83.5 以下	10		3034
B1	1.15超-1.50以下	83.5 超 108.9 以下	58	13.7%	2395
C	1.50超	108.9 超	86	20.4%	3467
合計			422	平均	2332

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



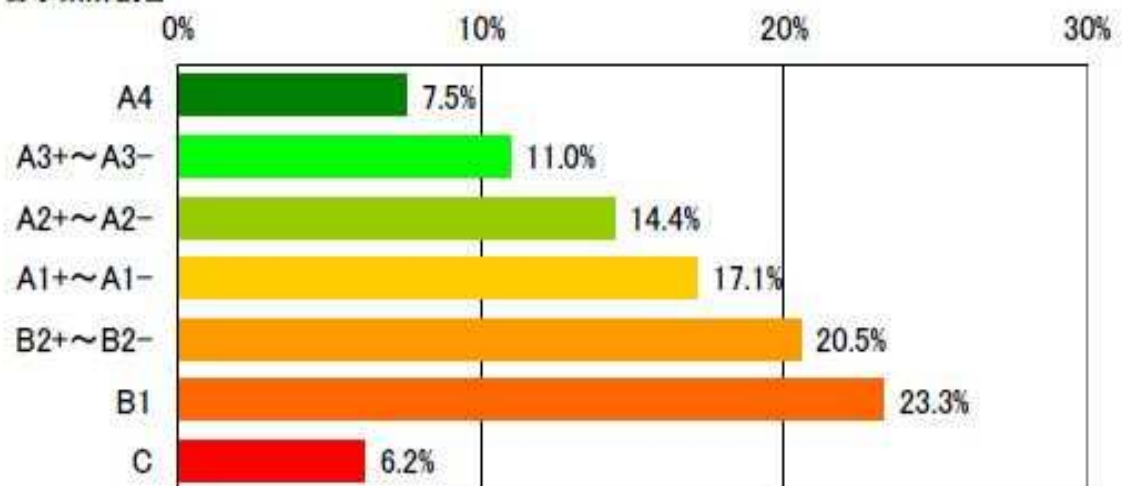
■区分番号-24 フィットネス施設

区分番号:24 フィットネス施設

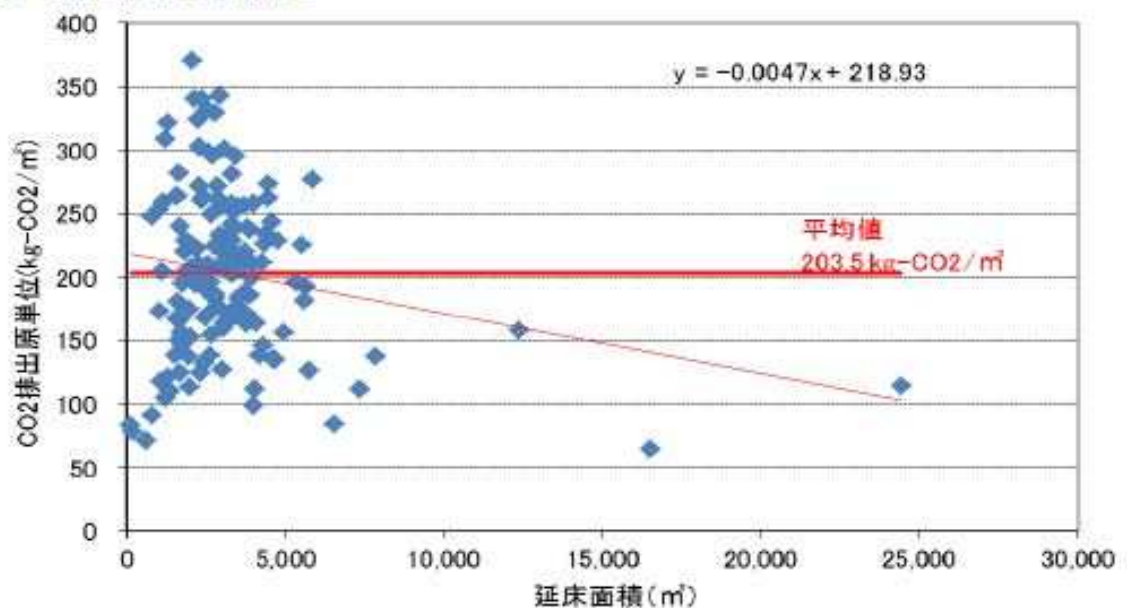
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	112.0 以下	11	7.5%	3885	
A3+	0.55超-0.60以下	112.0 超 122.1 以下	4	11.0%	7199	
A3	0.60超-0.65以下	122.1 超 132.3 以下	5		3033	
A3-	0.65超-0.70以下	132.3 超 142.5 以下	7		3915	
A2+	0.70超-0.75以下	142.5 超 152.7 以下	3	14.4%	2559	
A2	0.75超-0.80以下	152.7 超 162.8 以下	7		4363	
A2-	0.80超-0.85以下	162.8 超 173.0 以下	11	17.1%	3045	
A1+	0.85超-0.90以下	173.0 超 183.2 以下	6		2772	
A1	0.90超-0.95以下	183.2 超 193.4 以下	9		3449	
A1-	0.95超-1.00以下	193.4 超 203.5 以下	10		2914	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 203.5 超 213.7 以下	12	20.5%	2825	
B2	1.05超-1.10以下	213.7 超 223.9 以下	7		2964	
B2-	1.10超-1.15以下	223.9 超 234.1 以下	11		3386	
B1	1.15超-1.50以下	234.1 超 305.3 以下	34	23.3%	2944	
C	1.50超	305.3 超	9	6.2%	2174	
			合計	146	平均	3248

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



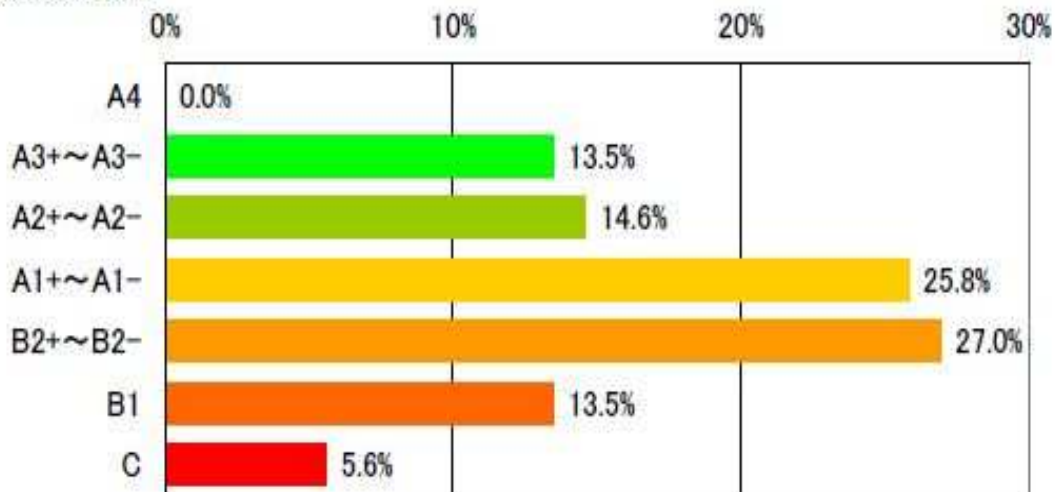
■ 区分番号-25 パチンコ店舗

区分番号:25 パチンコ店舗

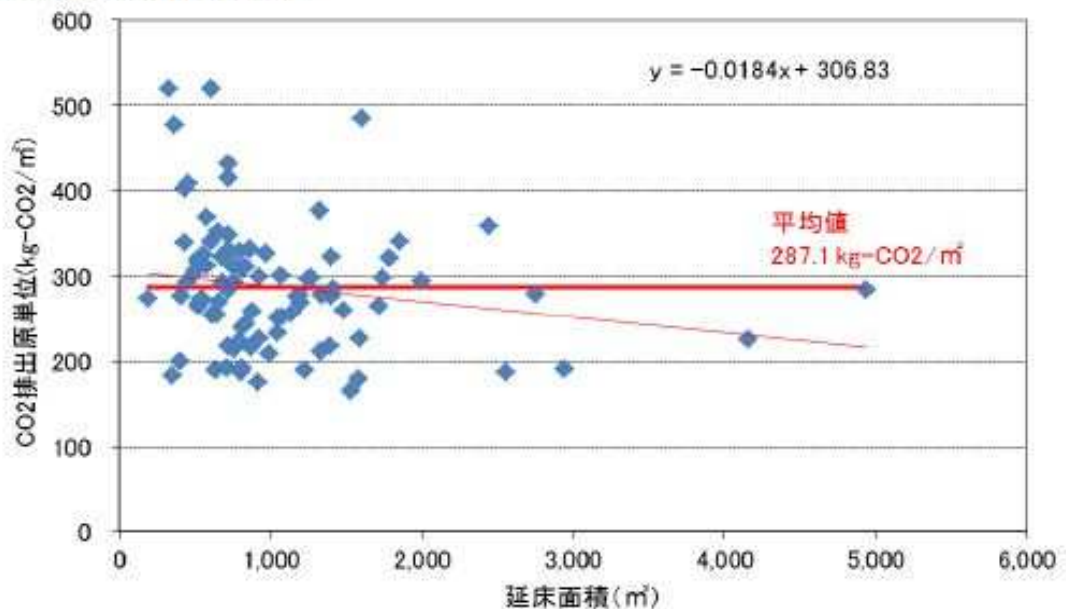
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	158.0 以下	0	0.0%	0
A3 +	0.55超-0.60以下	158.0 超 172.3 以下	1	13.5%	1524
A3	0.60超-0.65以下	172.3 超 186.7 以下	4		912
A3 -	0.65超-0.70以下	186.7 超 201.0 以下	7		1324
A2 +	0.70超-0.75以下	201.0 超 215.4 以下	3	14.6%	1024
A2	0.75超-0.80以下	215.4 超 229.7 以下	7		1490
A2 -	0.80超-0.85以下	229.7 超 244.1 以下	3		895
A1 +	0.85超-0.90以下	244.1 超 258.4 以下	5	25.8%	902
A1	0.90超-0.95以下	258.4 超 272.8 以下	7		996
A1 -	0.95超-1.00以下	272.8 超 287.1 以下	11		1459
B2 +	1.00超-1.05以下	287.1 超 301.5 以下	10	27.0%	1086
B2	1.05超-1.10以下	301.5 超 315.9 以下	5		691
B2 -	1.10超-1.15以下	315.9 超 330.2 以下	9		881
B1	1.15超-1.50以下	330.2 超 430.7 以下	12	13.5%	921
C	1.50超	430.7 超	5	5.6%	722
合計			89	平均	1068

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



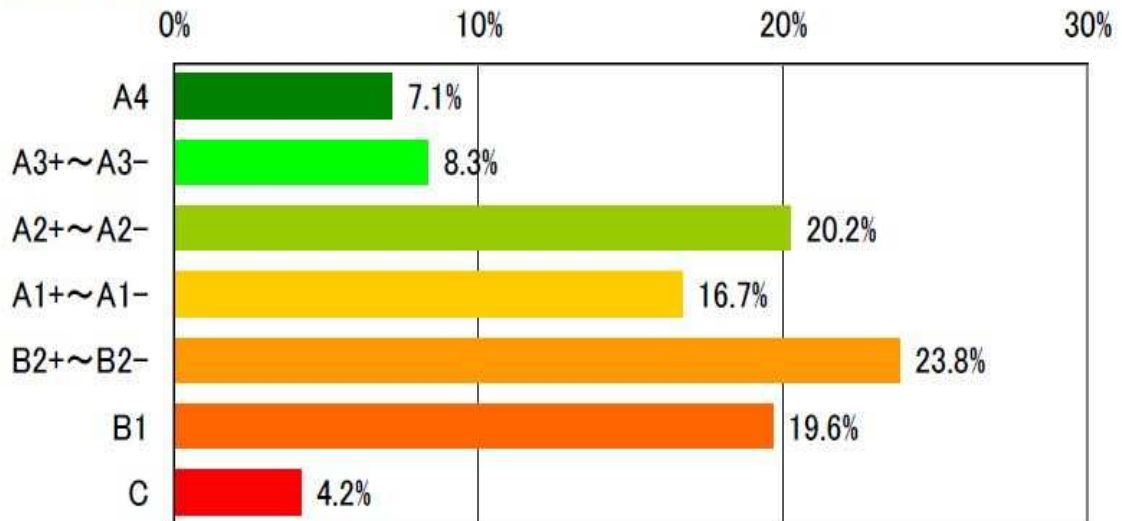
■区分番号-26 カラオケボックス店舗

区分番号:26 カラオケボックス店舗

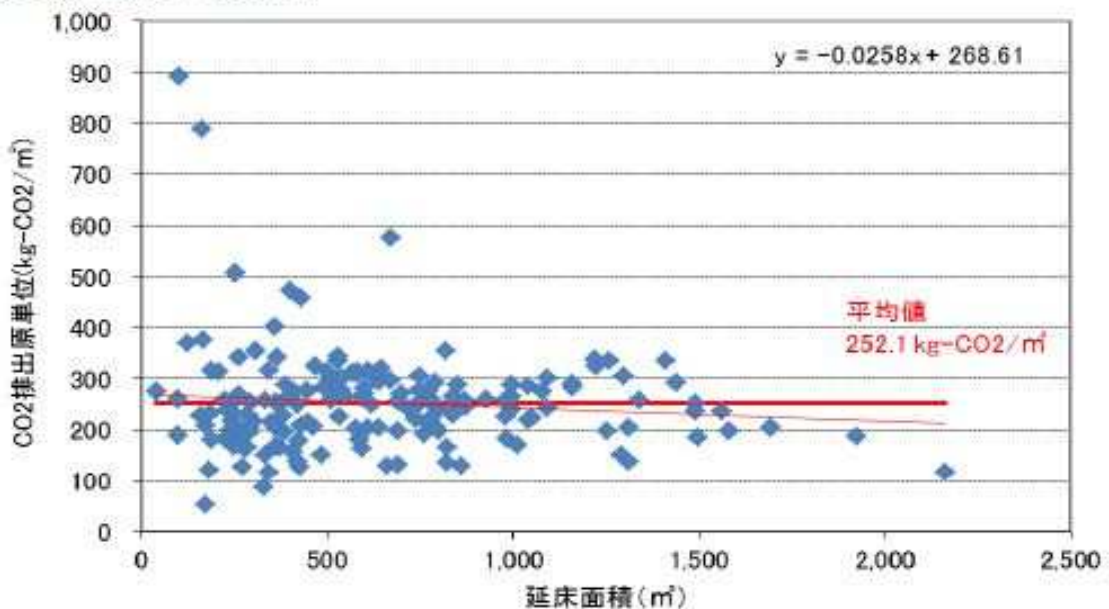
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)	
A4	0.55以下	138.7 以下	12	7.1%	612	
A3+	0.55超-0.60以下	138.7 超 151.3 以下	3	8.3%	709	
A3	0.60超-0.65以下	151.3 超 163.9 以下	2		850	
A3-	0.65超-0.70以下	163.9 超 176.5 以下	9	20.2%	472	
A2+	0.70超-0.75以下	176.5 超 189.1 以下	8		758	
A2	0.75超-0.80以下	189.1 超 201.7 以下	12		574	
A2-	0.80超-0.85以下	201.7 超 214.3 以下	14		623	
A1+	0.85超-0.90以下	214.3 超 226.9 以下	9	16.7%	680	
A1	0.90超-0.95以下	226.9 超 239.5 以下	9		598	
A1-	0.95超-1.00以下	239.5 超 252.1 以下	10		854	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 252.1 超 264.8 以下	20	23.8%	608	
B2	1.05超-1.10以下	264.8 超 277.4 以下	10		551	
B2-	1.10超-1.15以下	277.4 超 290.0 以下	10		774	
B1	1.15超-1.50以下	290.0 超 378.2 以下	33	19.6%	661	
C	1.50超	378.2 超	7	4.2%	340	
			合計	168	平均	635

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■区分番号-27 ゲームセンター

区分番号:27 ゲームセンター

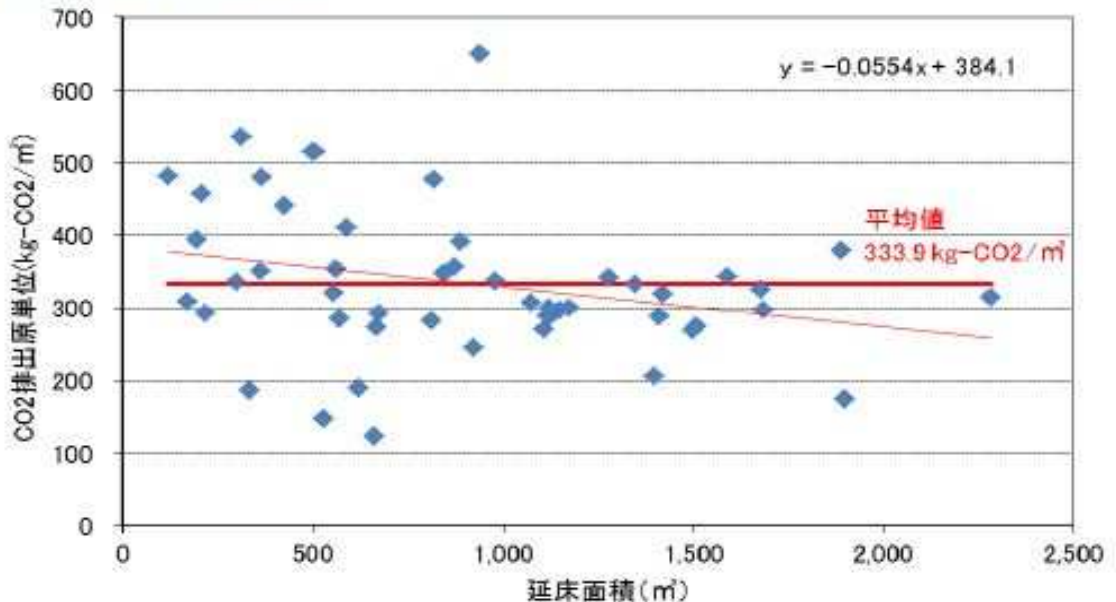
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	183.7 以下	3	6.0%	1031
A3+	0.55超-0.60以下	183.7 超 200.4 以下	2	6.0%	476
A3	0.60超-0.65以下	200.4 超 217.1 以下	1		1398
A3-	0.65超-0.70以下	217.1 超 233.8 以下	0	12.0%	0
A2+	0.70超-0.75以下	233.8 超 250.5 以下	1		924
A2	0.75超-0.80以下	250.5 超 267.2 以下	0		0
A2-	0.80超-0.85以下	267.2 超 283.9 以下	5	34.0%	1119
A1+	0.85超-0.90以下	283.9 超 300.6 以下	9		1007
A1	0.90超-0.95以下	300.6 超 317.3 以下	4		1176
A1-	0.95超-1.00以下	317.3 超 平均値 333.9 以下	4	18.0%	1250
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 333.9 超 350.6 以下	6		892
B2	1.05超-1.10以下	350.6 超 367.3 以下	2	16.0%	716
B2-	1.10超-1.15以下	367.3 超 384.0 以下	1		1890
B1	1.15超-1.50以下	384.0 超 500.9 以下	8	16.0%	451
C	1.50超	500.9 超	4	8.0%	564
合計			50	平均	905

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



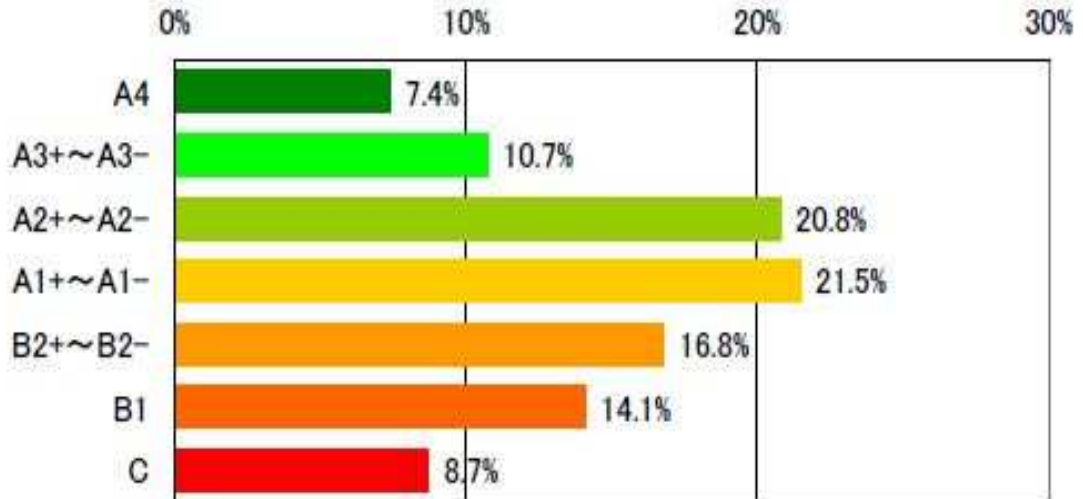
■区分番号-28 図書館

区分番号:28 図書館

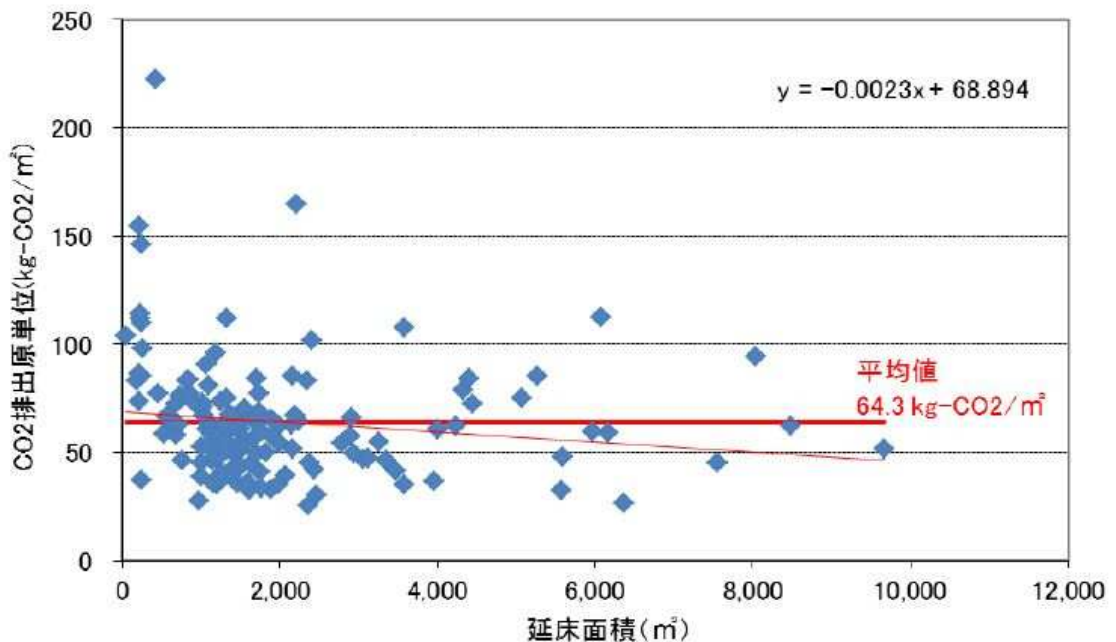
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	35.4 以下	11	7.4%	2703
A3+	0.55超-0.60以下	35.4 超 38.6 以下	6	10.7%	1612
A3	0.60超-0.65以下	38.6 超 41.8 以下	5		1915
A3-	0.65超-0.70以下	41.8 超 45.1 以下	5		1690
A2+	0.70超-0.75以下	45.1 超 48.3 以下	11	20.8%	2761
A2	0.75超-0.80以下	48.3 超 51.5 以下	6		3173
A2-	0.80超-0.85以下	51.5 超 54.7 以下	14		1534
A1+	0.85超-0.90以下	54.7 超 57.9 以下	9	21.5%	1731
A1	0.90超-0.95以下	57.9 超 61.1 以下	10		2475
A1-	0.95超-1.00以下	61.1 超 64.3 以下	13		2143
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 64.3 超 67.6 以下	12	16.8%	1560
B2	1.05超-1.10以下	67.6 超 70.8 以下	5		1593
B2-	1.10超-1.15以下	70.8 超 74.0 以下	8		1312
B1	1.15超-1.50以下	74.0 超 96.5 以下	21	14.1%	2097
C	1.50超	96.5 超	13	8.7%	1345
合計			149	平均	1981

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



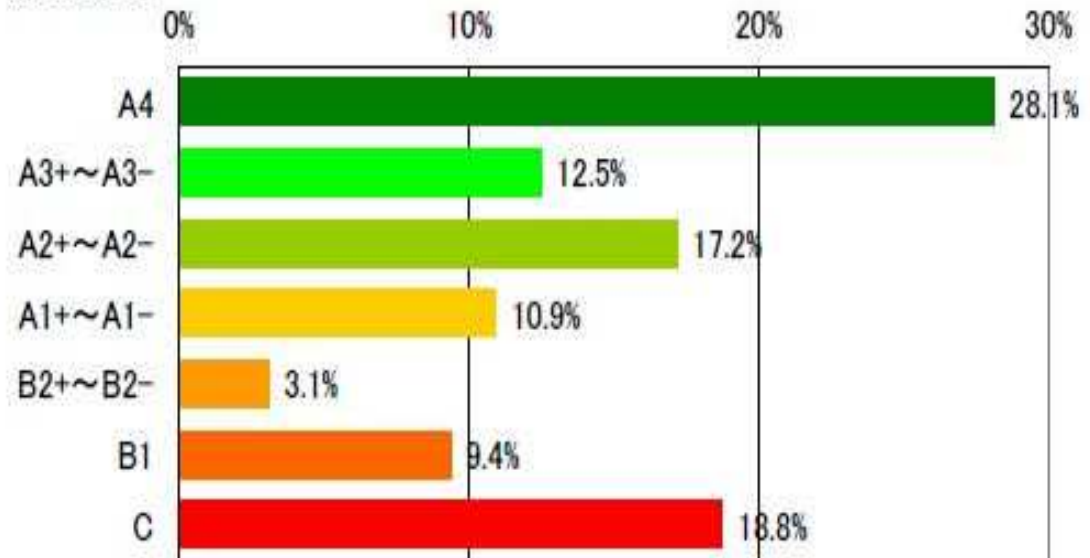
■区分番号-29 博物館・美術館

区分番号:29 博物館・美術館

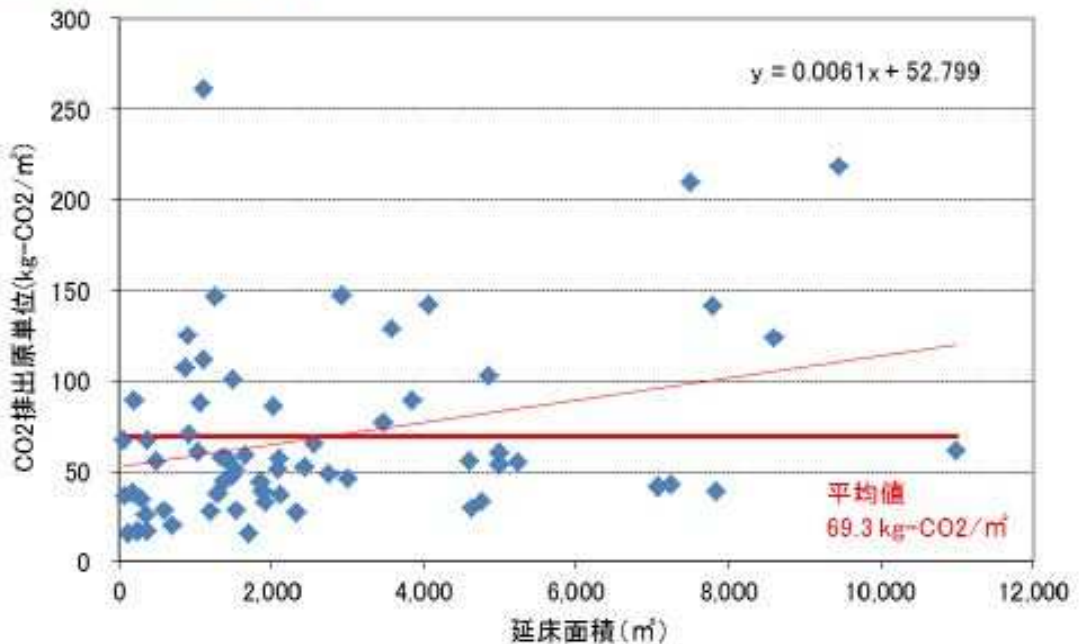
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)	
A4	0.55以下	38.2 以下	18	28.1%	1358	
A3+	0.55超-0.60以下	38.2 超 41.6 以下	3		5606	
A3	0.60超-0.65以下	41.6 超 45.1 以下	3	12.5%	3498	
A3-	0.65超-0.70以下	45.1 超 48.6 以下	2		2241	
A2+	0.70超-0.75以下	48.6 超 52.0 以下	3		2123	
A2	0.75超-0.80以下	52.0 超 55.5 以下	3	17.2%	4220	
A2-	0.80超-0.85以下	55.5 超 59.0 以下	5		1987	
A1+	0.85超-0.90以下	59.0 超 62.4 以下	4		4668	
A1	0.90超-0.95以下	62.4 超 65.9 以下	1	10.9%	2562	
A1-	0.95超-1.00以下	65.9 超 平均値 69.3 以下	2		216	
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 69.3 超 72.8 以下	1		911	
B2	1.05超-1.10以下	72.8 超 76.3 以下	0	3.1%	0	
B2-	1.10超-1.15以下	76.3 超 79.7 以下	1		3475	
B1	1.15超-1.50以下	79.7 超 104.0 以下	6	9.4%	2249	
C	1.50超	104.0 超	12	18.8%	4097	
			合計	64	平均	2717

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



■ 区分番号-30 区市町村庁舎等

区分番号: 30 区市町村庁舎等

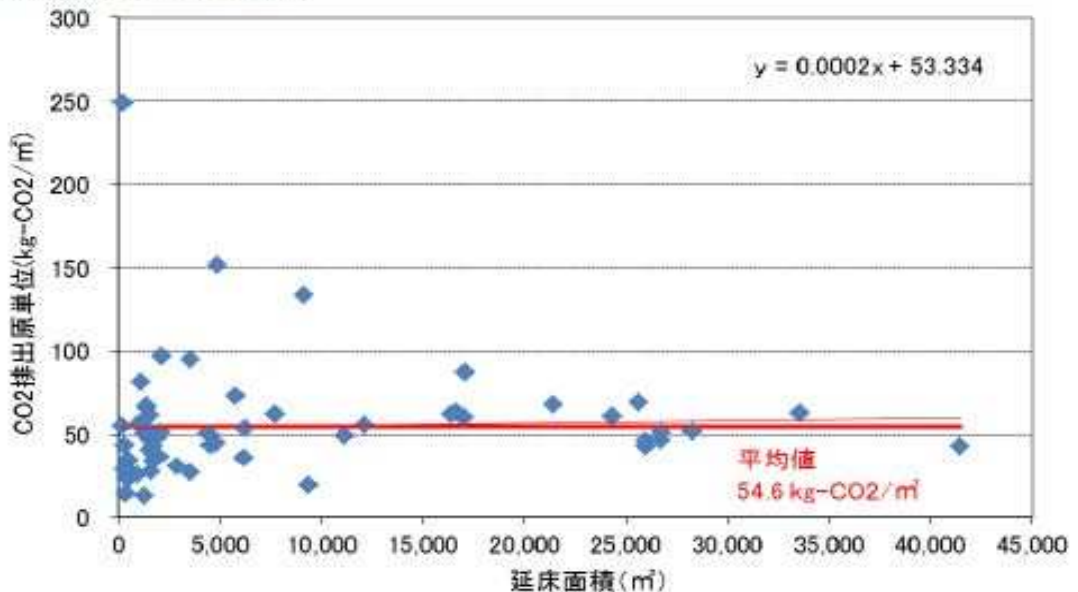
① 自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	30.1 以下	10	16.1%	1857
A3+	0.55超-0.60以下	30.1 超 32.8 以下	1	11.3%	2843
A3	0.60超-0.65以下	32.8 超 35.5 以下	4		1115
A3-	0.65超-0.70以下	35.5 超 38.3 以下	2		4080
A2+	0.70超-0.75以下	38.3 超 41.0 以下	2	17.7%	1605
A2	0.75超-0.80以下	41.0 超 43.7 以下	6		12596
A2-	0.80超-0.85以下	43.7 超 46.5 以下	3		19158
A1+	0.85超-0.90以下	46.5 超 49.2 以下	3	17.7%	1686
A1	0.90超-0.95以下	49.2 超 51.9 以下	7		10757
A1-	0.95超-1.00以下	51.9 超 平均値 54.6 以下	1		6219
B2+	1.00超-1.05以下	平均値 54.6 超 57.4 以下	3	16.1%	4425
B2	1.05超-1.10以下	57.4 超 60.1 以下	2		9124
B2-	1.10超-1.15以下	60.1 超 62.8 以下	5		16703
B1	1.15超-1.50以下	62.8 超 81.9 以下	7	11.3%	10476
C	1.50超	81.9 超	6	9.7%	6169
合計			62	平均	7778

② 事業所割合



③ CO₂排出原単位の散布図



別添別紙 6

ベンチマークレンジ	コメント
A4～A3-	上記【参考】に記載している同業種の平均原単位と比較すると、貴事業所のベンチマークレンジは（現在のベンチマークをセット）であり、CO2排出量は平均より大変少ないことがわかります。本報告書を参考に、引き続き省エネを推進していきましょう。
A2+～A1-	上記【参考】に記載している同業種の平均原単位と比較すると、貴事業所のベンチマークレンジは（現在のベンチマークをセット）であり、CO2排出量は平均より少ないことがわかります。本報告書を参考に、引き続き省エネを推進していきましょう。
A1	上記【参考】に記載している同業種の平均原単位と比較すると、貴事業所のベンチマークレンジは（現在のベンチマークをセット）であり、CO2排出量はほぼ平均的であることがわかります。本報告書を参考に、引き続き省エネを推進していきましょう。
A1-	上記【参考】に記載している同業種の平均原単位と比較すると、貴事業所のベンチマークレンジは（現在のベンチマークをセット）であり、CO2排出量は平均的であることがわかります。本報告書を参考に、引き続き省エネを推進していきましょう。
B2+～B1	上記【参考】に記載している同業種の平均原単位と比較すると、貴事業所のベンチマークレンジは（現在のベンチマークをセット）であり、CO2排出量は平均より少し多いことがわかります。本報告書を参考に、まずは平均値を目標に省エネを推進していきましょう。
C	上記【参考】に記載している同業種の平均原単位と比較すると、貴事業所のベンチマークレンジは（現在のベンチマークをセット）であり、CO2排出量は平均よりかなり多いことがわかります。本報告書を参考に、まずは平均値を目標に省エネを推進していきましょう。

■改善提案一a(a)

省エネ対策名

エネルギー管理体制の構築

[省エネ対策の概要]

貴事業所では、エネルギー管理体制が構築されていません。次頁の該当する対策を実施して、エネルギー使用量の削減を図ります。

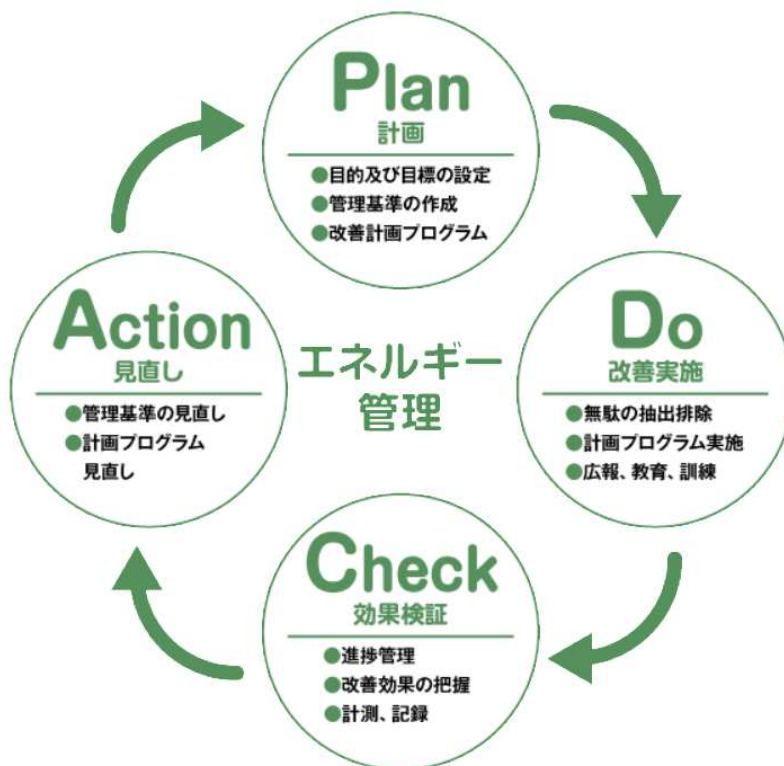
[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 省エネ対策は、組織的に取り組むことが重要です。
- 目標の達成状況を確認して、未達成の場合にはその原因を明確にして対策を立てましょう。省エネ活動は継続的に取り組むことが大切です。
- 全員参加で運用改善について話し合い、省エネを推進しましょう。その効果について検証を行い、ポスターやグラフ等で掲示しましょう。
- 東京都では、アニメで分かる省エネ（動画）【「これからはじめる」省エネ推進体制】を公開しています。



PDCA による省エネルギー推進の例



出典：東京都『令和5年度版 中小規模事業所の省エネルギー対策・再生可能エネルギー活用テキスト』

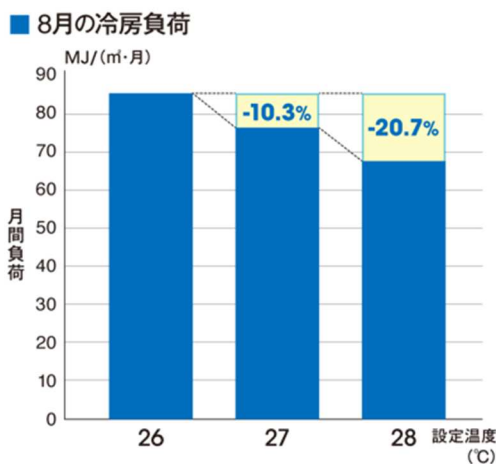
■改善提案一a(c)

省エネ対策名

空調設定温度の適正化

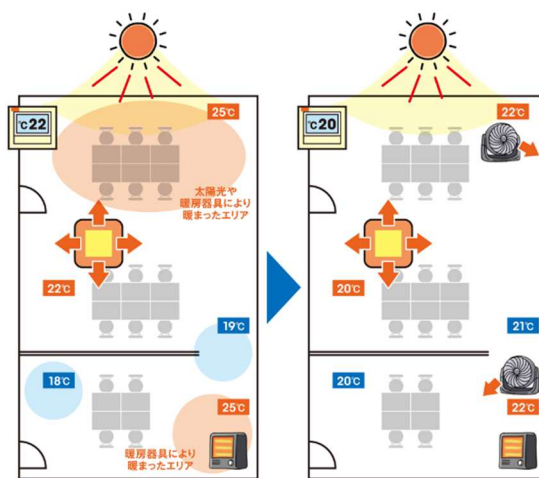
[省エネ対策の概要]

空調機の設定温度を見直してエネルギー使用量の削減を図ります（下図参照）。東京都では、実際の室温で「夏期：28℃、冬期：20℃」を目安に、それを上（下）回らないよう上手に節電＜湿度管理も併せて行い快適性を確保＞することを推奨しています。



図：冷房設定温度と空調負荷

出典：一般財団法人省エネルギーセンター『ビル省エネ手帳 2024』



図：室内温度ムラの緩和イメージ

出典：東京都『令和5年度版 中小規模事業所の省エネルギー対策・再生可能エネルギー活用テキスト』

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 空調機の設定温度は実際の室温と異なることがあるため、室温を計測して室温が目標温度になるよう管理しましょう。
- 空調時の室内規定温度については、事業所内で十分協議する必要があります。
- 「暑い」「寒い」といった快適性が損なわれる室内温度にならないよう注意しましょう。
- 規定された温度管理を徹底するためには、温度計の設置とリモコンスイッチに室内規定温度を掲示しましょう。
- 中間期（4、5、10、11月）は、可能な限り空調機を使用せず、窓の開放や換気扇・扇風機等を利用して、省エネを図りましょう。
- 空調運転時に、扇風機・サーキュレータ等を利用して室内の空気を循環させ、温度ムラをなくすようにしましょう。過剰な空調運転を防止することで電力使用量が削減できます。
- ブラインドやカーテンを活用して、窓からの熱の入射を防止しましょう。

■改善提案一a(d)

省エネ対策名

空調設備の点検・清掃

[省エネ対策の概要]

フィンコイルを点検・清掃して、空調機の効率低下を防止します。薬品洗浄の頻度は、フィンコイルの汚れによりますが、通常は3～4年に1回の実施が適当です。

屋外に設置されている空調室外機は、フィンコイルの表面が埃や排気ガス等で汚れています。室外機のフィンコイルは、冷房時には室内の熱を大気へ放出し、暖房時には大気の手を取り入れる大切な役割を担っています。

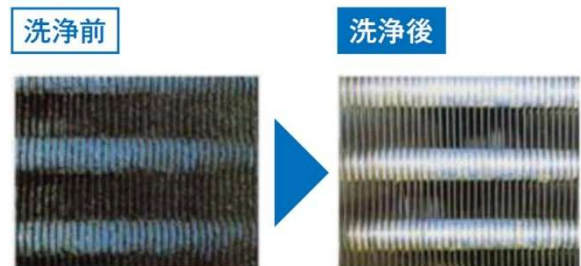
[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 薬品代及び労務費等が発生しますが、必要経費と考え「運用改善」とします。
- フィンコイルの清掃は、高圧水や薬品を使用するため、初回は専門業者への作業依頼を推奨します。
- 作業時には、薬品が周囲に飛び散るため、周囲の物や人にかからないよう注意しましょう。
- 室内機のフィンコイルは、室外機ほど汚れません。但し、室外機のフィンコイル清掃時に、汚れていたら一緒に清掃しましょう。
- 室内機のフィルターは、フィンコイル等へのゴミや埃の付着を防いでいます。フィルターは汚れを確認して、毎月1回程度の清掃で空調機の運転効率を維持しましょう。
- 清掃した日は管理表に記録しましょう。



写真：空調室外機の清掃（フィンコイル）



写真：エアコンアルミフィンの清掃例

出典：東京都『令和5年度版 中小規模事業所の
省エネルギー対策・再生可能エネルギー活用テキスト』

■改善提案—a(e)

省エネ対策名

換気運転の見直し

[省エネ対策の概要]

換気設備の運転時間を見直して、電力使用量の削減を図ります。

少人数の時や不在の場合の換気設備の稼働は、電力を無駄に消費しています。また、空調設備が負荷運転となり、効率の低下が懸念されます。

[省エネ対策実施上の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 稼働時間を短縮する場合は、利用者の理解と協力を求め省エネに取り組みましょう。
- 運転時間の見直しは、運転時間のルール化や調整担当を決めましょう。
- 本提案では、換気設備の動力分で試算しました。空調運転時は、換気扇の停止で空調設備の運転効率が上がり、本提案以上の省エネ効果が期待できます。
- 室温及び CO₂ を管理して換気設備を稼働させた場合は、更に省エネ効果を発揮します。
- 更なる省エネ効果として、全熱交換器の導入を推奨します。全熱交換器を稼働することにより空調負荷が低減されるため、空調機のエネルギー使用量の削減につながります。

■改善提案一a(f)

省エネ対策名

全熱交換器の運転改善

[省エネ対策の概要]

全熱交換器の運転方法には、空調運転時に稼働する全熱交換運転と空調運転をしない時に稼働する普通換気運転（全熱交換器を通さない）があります。

全熱交換器による空調設備の省エネ運転は以下のとおりです。

- ・冷暖房期（夏・冬）は、全熱交換運転
- ・中間期（春・秋）は、外気が室温よりも低い又は高い場合は、普通換気運転で、外気冷房（暖房）の効果が期待できます。

メーカーの資料によると、外気温度に合わせて「全熱交換運転と普通換気運転」の自動切替を行なうことで、空調負荷（空調電力使用量）を約 6%削減できると言われています。今回は手動切替とし、半分の 3%の削減で試算します。

[省エネ対策の留意点]

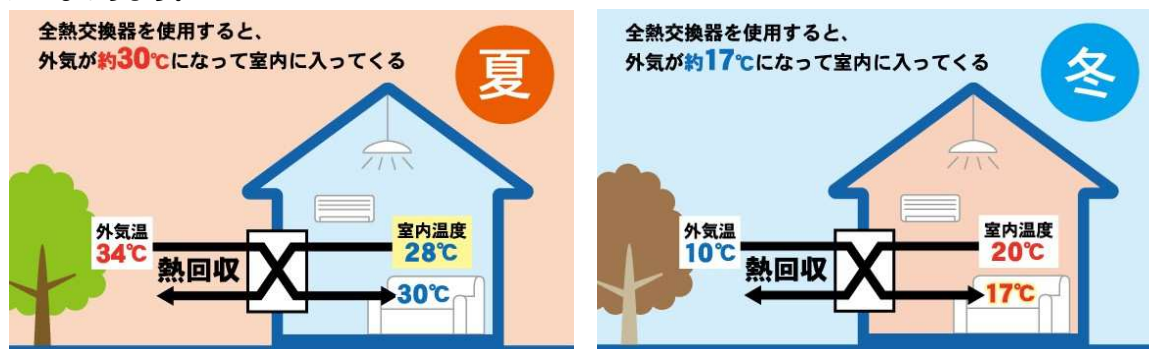
省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- ・貴事業所で設置されている全熱交換器のメーカー等へ確認のうえ、最適な運転ルールのマニュアル化を推奨します。
- ・実施の際は、各階利用者からの理解と協力を得ましょう。
- ・最新の機種では、自動モードがあり空調運転と連動しています。自動モードがある場合は自動モードの設定を推奨します。
- ・全熱交換器の使用方法や効果等は、利用者に周知すると共に、マニュアルの簡易版等を作成し、スイッチの脇に掲示しましょう。
- ・東京都では、アニメで分かる省エネ（動画）【「すぐできる」全熱交換器の省エネ対策】を公開しています。



全熱交換器の効果

全熱交換器は、ビル、住宅等の空調換気に使用され、換気によって失われる空調エネルギーの全熱（顕熱＝温度と潜熱＝湿度）を交換回収する省エネルギー装置で、夏の冷房・冬の暖房の空調エネルギー削減につながります。



図：全熱交換器の効果のイメージ

出典：東京都『令和5年度版 中小規模事業所の
省エネルギー対策・再生可能エネルギー活用テキスト』

■改善提案—a(h)

省エネ対策名

照度の適正化

[省エネ対策の概要]

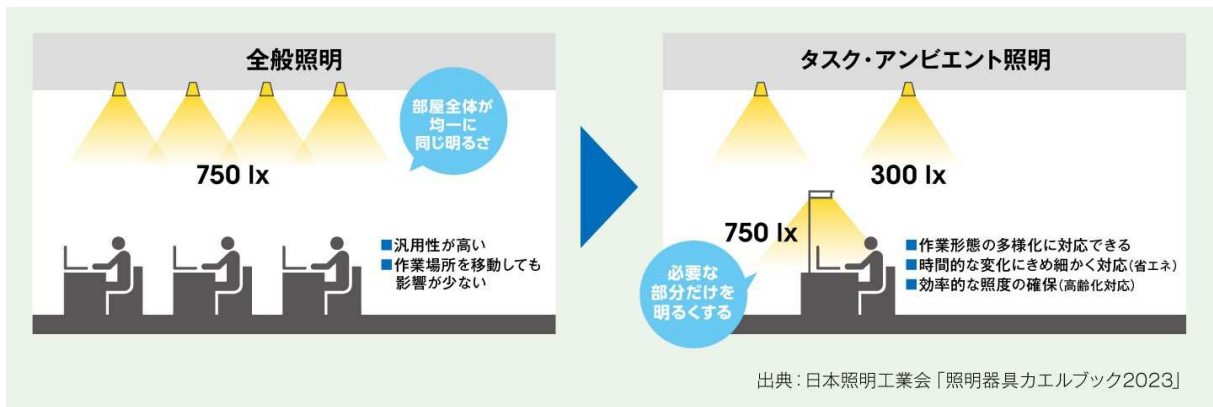
照明を間引きして、照度を低下させることにより、照明の電力使用量を削減できます。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 対策の実施に際しては、部屋を使用される方に十分説明し、省エネへの理解と協力を得て実施しましょう。
- 間引きは、まず一部の部屋で実施して問題がないことを確認したうえで、各部屋へ展開しましょう。
- スタンド照明（タスク・アンビエント照明）を活用し、天井照明の削減を図ることもできます。その場合には、天井照明は 300Lx 程度とし、必要な箇所でスタンド照明を用いて作業に適した照度を保つようにしましょう。
- 非常用照明器具は、建築基準法第 126 条の 4 により、該当する建築物への設置が義務付けられています。誤って取り外さないよう注意しましょう。

タスク・アンビエント方式のイメージ



■改善提案—a(i)

省エネ対策名

不要時消灯

[省エネ対策の概要]

不要な照明を消灯して、電力使用量の削減を図ります。

省エネ診断時、使用されていない部屋の照明が点灯されていました。不要時の照明の点灯は、電力を無駄に消費しています。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 消灯は、業務や活動等に支障がないことを確認したうえで実施しましょう。
- 明るさの感じ方には、個人差等があるため配慮が必要です。
- 不要時消灯を徹底するためには、「退出時は消灯しましょう！！」等の注意喚起を掲示しましょう。



省エネ啓発ポスター

■改善提案—a(j)

省エネ対策名

不要時消灯（窓側照明の消灯）

[省エネ対策の概要]

日中の晴天時、窓側の照明を消灯し、電力使用量の削減を図ります。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 消灯は、業務や活動等に支障がないことを確認したうえで実施しましょう。
- 明るさの感じ方には、個人差等があるため配慮が必要です。
- 不要時消灯を徹底するためには、「晴天時は消灯しましょう！！」等の注意喚起を掲示しましょう。



省エネ啓発ポスター

■改善提案一a(k)

省エネ対策名

省エネ型ランプへの交換

[省エネ対策の概要]

既設の照明器具を LED ランプに更新し、電力使用量の削減と長寿命化を図ります。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- LED ランプの購入には費用が発生しますが、必要経費と考え「運用改善」とします。
- LED 照明を導入する際は電力使用量の削減だけでなく、現在の室内環境に適した製品を選択しましょう。
- 室内照度は、室内環境（取付高さ、壁の色等）に影響されます。既存照明器具の仕様（光源色の種類、演色性等）を確認しましょう。
- 製品の選定を誤ると「明るすぎる」・「暗い」といった状況になる可能性があります。
- 購入の際は、口金のサイズや既設の器具への取り付け可否等を事前確認しましょう。
- 電球形 LED 照明は、従来型のランプより重いため、交換作業に注意が必要です。
- LED ランプは、電球切れの際に交換すると経済的ですが、電力使用量の削減効果が大きいので、早めの交換を推奨します。

電球ごとの明るさ比較（照明効果）

区分		暗	明るさ			明
白熱電球	W形	25W形	40W形	50W形	60W形	100W形
	W形		10W形		15W形	25W形
LED電球 E26口金	全光束 ルーメン		485lm	640lm	810lm	1520lm
			230lm	440lm	600lm	760lm
LED電球 E17口金	全光束 ルーメン					

出典：一般社団法人 日本照明工業会
HP「LEDランプの選び方・使い方」より

■改善提案—a(l)

省エネ対策名

省エネ型自動販売機の採用

[省エネ対策の概要]

既設の自動販売機を省エネタイプの自動販売機に交換し、電力使用量の削減を図ります。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 自動販売機を更新する際は、契約業者と相談しましょう。
- 自動販売機は、銘板に年間定格電力使用量が記載されています。

飲料自動販売機出荷台数 1 台あたりの年間消費電力 (kWh)



出典：一般社団法人日本自動販売システム機械工業会

■改善提案ーa(m)

省エネ対策名

待機電力の削減

[省エネ対策の概要]

夜間や休日、パソコンを長時間使用しない時は、電源を完全に遮断した状態にし、待機電力を削減します。電源の遮断は、通常コンセントからスイッチ付テーブルタップに変更して、テーブルタップのスイッチを OFF にすることで、実施することができます。

また、パソコンのディスプレイ輝度を現在の 100%から 70%にし、電力使用量を削減します。



写真：スイッチ付テーブルタップの例

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- テーブルタップの購入は、必要経費と考え「運用改善」とします。
- パソコンのディスプレイ輝度は、業務に支障のない範囲で調整しましょう。
- テーブルタップはスイッチの ON・OFF やその確認が容易にできる場所に設置しましょう。
- パソコンの中には業務の用途によって、電源を OFF にできない場合があります。プラグに業務用途等を明記し、スイッチを OFF にする際は間違えないように注意しましょう。
- 1 台当たりの削減電力量は僅かですが、省エネ活動のひとつのテーマとして考えましょう。

■改善提案一a(q)

省エネ対策名

給湯運転時間の見直し

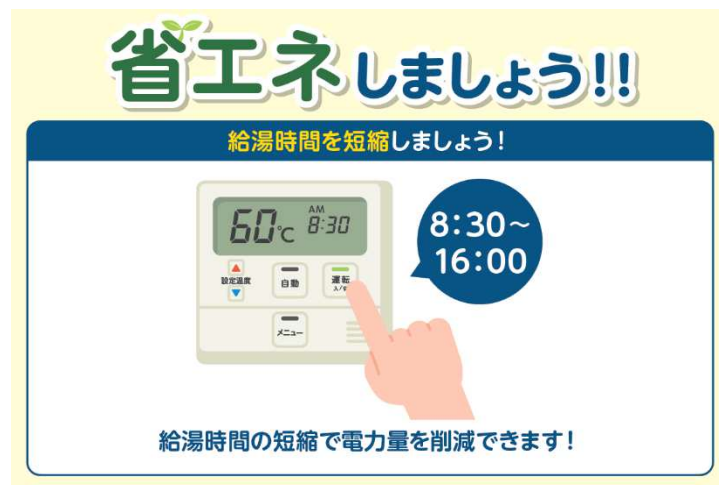
[省エネ対策の概要]

貴事業所には、電気給湯器が設置されています。電気給湯器の使用時間を見直して消費電力を削減します。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 対策の実施に際しては、利用者の理解と協力を得たうえで実施しましょう。
- 食器の洗浄等がなく、飲用が多い場合は、ポットの使用を検討しましょう。
- 給湯運転時間の見直しは、利用者に省エネの施策を説明しましょう。
- 給湯運転時間の見直しの他、給湯温度の見直しも同時にご検討ください。
- 長期間休止した電気給湯器の再使用は、取り扱い説明書の内容に従ってください。



省エネ啓発ポスター

■改善提案—a(r)

省エネ対策名

給湯運転期間の見直し

[省エネ対策の概要]

電気給湯器は、常時温水を貯め保温しており、未使用時にも電力を消費しています。夏期等の温水の使用量が少量な期間は、電気給湯器を停止し省エネを図ります。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 対策の実施に際しては、利用者の理解と協力を得たうえで実施しましょう。
- 休止した電気給湯器の再使用は、取扱説明書の内容に従ってください。
- 給湯運転期間の見直しについては、利用者に省エネの施策であることをよく説明してください。
- 給湯運転期間の見直しの他、給湯温度の見直しも同時に検討しましょう。



省エネ啓発ポスター

■改善提案—a(s)

省エネ対策名

空調運転時間の見直し

[省エネ対策の概要]

空調設備の運転時間を短縮し、エネルギー使用量の削減を図ります。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 空調設備の運転時間について利用者と協議して、勤務時間外の空調設備の運転を禁止する等、運用ルールを明確にしましょう。
- 運用ルールを全ての利用者に周知するため、空調スイッチ付近に表示しましょう。
- 空調設備の ON・OFF を行う担当者を選任することで、運用ルールの徹底が図りやすくなります。
- 中間期（4、5、10、11 月）は、可能な限り空調設備を使用せず、窓の開放や換気扇・扇風機等を利用することで、省エネを図ることができます。
- 運転時間の見直しについては、まず一部の部屋で実施して、業務上問題がないことを確認してから各部屋へ展開しましょう。

■改善提案一a(t)

省エネ対策名

給湯温度の見直し

[省エネ対策の概要]

電気給湯器の設定温度を見直し、電力使用量の削減を図ります。

電気給湯器の使用用途に対して設定温度が過剰なため、電力を無駄に消費していることが懸念されます。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- ・給湯温度の見直しについては、利用者に省エネの施策であることをよく説明しましょう。
- ・給湯温度の見直しの他、給湯運転時間の見直しも同時に検討しましょう。



■改善提案－a(u)

省エネ対策名

冷蔵・冷凍設備設定温度の見直し

[省エネ対策の概要]

冷蔵・冷凍設備の設定温度を緩和することで、電力使用量を削減することができます。

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 本提案では、消費電力が確認できた設備についてご提案します。その他の冷蔵庫や冷凍庫についても設定温度の見直しを検討しましょう。
- 冷蔵・冷凍庫の設定温度を緩和する際は、冷蔵・冷凍庫内の食品材料の適正温度を必ず確認してください。
- 冷蔵・冷凍庫の扉の開閉は、極力少なくしましょう。
- 扉の開閉のない時間帯では、更に庫内の温度設定を 1℃程度緩和しても冷蔵・冷凍の効果が維持できます。

■改善提案－a(v)

省エネ対策名

その他（パソコンディスプレイの輝度調整）

[省エネ対策の概要]

パソコンのディスプレイ輝度を現在の 100%から 70%にし、電力使用量を削減します。

[省エネ対策実施上の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- パソコンのディスプレイ輝度は、業務に支障のない範囲で調整しましょう。
- 1 台当たりの削減電力量は僅かですが、省エネ活動のひとつのテーマとして考えましょう。



■改善提案—a(w)

省エネ対策名

その他（暖房便座の節電機能の活用）

[省エネ対策の概要]

暖房便座の節電機能を使用して、電力使用量を削減します。

[省エネ対策実施上の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 対策の実施に際しては、利用者に省エネの施策であることをよく説明しましょう。
- 暖房便座の不使用时における蓋閉めの徹底、夏期の電源 OFF 等を併せて実施し、電力会社の請求書等から効果を確認しましょう。また、この効果を情報として利用者と共有し、省エネ活動の推進につなげましょう。
- 暖房便座の機種によっては、節電機能の設定方法に相違があります。各社の取扱説明書を参考に適切に実施しましょう。

● 年間消費電力量の推移 (kWh/年)



出典：経済産業省資源エネルギー庁『2023 年度版家庭用省エネカタログ』

■改善提案一b(a)

省エネ対策名

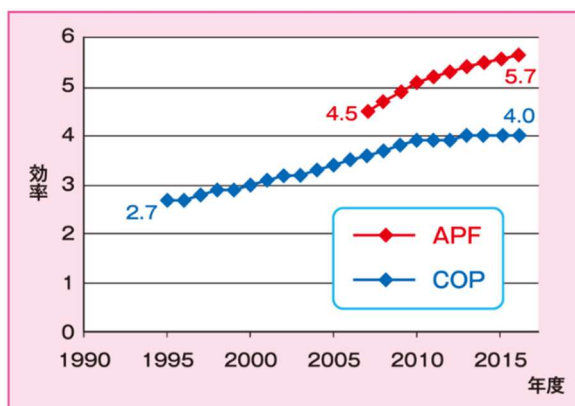
高効率空調設備の導入 (EHP)

[省エネ対策の概要]

貴事業所の空調設備は、経年使用により運転効率が低下しているため、無駄に電力を消費しています。

空調設備を高効率空調機に更新して、電力使用量の削減を図ります。なお、既設の冷媒配管はそのまま使用することとします。

空冷パッケージ空調機の効率推移 (28kW の場合)



※メーカー技術資料より クール・ネット東京作成

[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 更新時には、室外機の周囲環境を整備（風通しを良くする等）しましょう。
- 更新にあたっては、冷暖房能力を確認し現在の状況に適した機種を選定しましょう。
- 投資金額は参考価格です。複数の施工業者等から見積りを徴取してご検討ください。
- COP（成績係数）とは、投入したエネルギーを1として、その何倍の冷温熱が得られるかを示したものです。数値が大きいほど効率が良いことになります。
冷暖房能力 (kW) ÷ 電力使用量 (kW) で計算できます。
- 本提案の空調機器リストは、経年使用による効率の低下が懸念される空調機器及び台数について記載してあります。その他の効率の悪い空調機があった場合は、高効率空調機に更新することにより省エネ効果が得られます。
- 空調設備の機種を選定する際は、より高効率な機種を選定するようにしましょう。高効率な機種ほど、導入コストが高くなる傾向にあります。一般的な性能の機種とランニングコストを比較しご検討ください。施工業者等への相談をおすすめします。
- 設置年数が長くなっている空調機には生産中止となっている冷媒（フロン等）が使用されている場合があります。
- 空調設備の選定機種等によっては税が減免されます。詳細は『■東京都支援策 ④【中小企業者向け省エネ促進税制（法人事業税・個人事業税の減免）】』をご参照ください。



■改善提案一b(d)

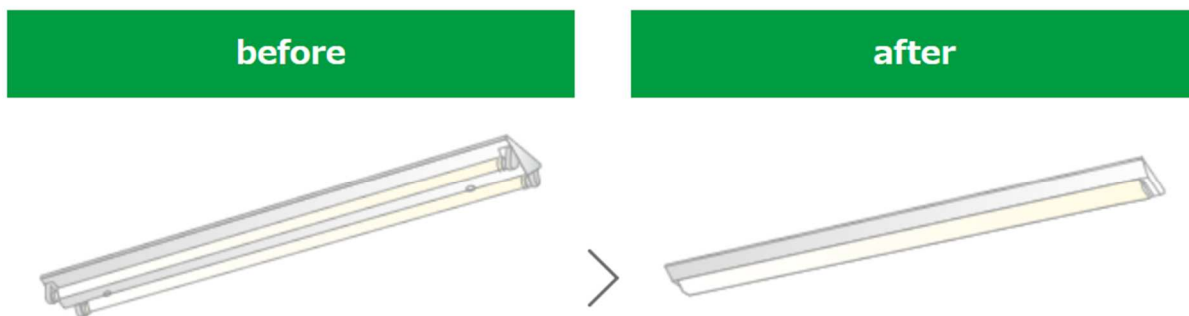
省エネ対策名

高効率照明器具の導入（LED）

[省エネ対策の概要]

既設の照明器具を LED 照明に更新し、電力使用量の削減と長寿命化を図ります。

現在使用している照明器具は、LED 照明と比べると効率が低く寿命も短いため、ランプ交換の頻度も多くなります。



[省エネ対策の留意点]

省エネ対策を実施する際の一般的な留意点は、以下の通りです。

- 室内照度は、室内環境（取付高さ、壁の色等）に影響されます。製品の選択は、使用電力の削減量だけでなく、既存照明器具との違い（光源色の種類、演色性、光の広がり等）室内環境に適した製品であることを確認しましょう。選定を誤ると「明るすぎる」・「暗い」といった事態を招く可能性があります。
- 直管形 LED 照明は、光の方向が主として下方を向いています。そのため、LED の全光束が蛍光灯より小さくても、机上の明るさが変わりません。
- LED 照明の特徴は、天井面と壁面が多少暗くなるため、部分的に導入して問題のないことを確認してから全体に導入しましょう。
- 日本照明工業会では、「照明を LED 化する際は照明器具一式の交換」を推奨しています。LED 照明の寿命は 40,000 時間とされていますが、ランプのみを交換した場合、器具の劣化により寿命を達成できない可能性があります。
- 投資金額は参考価格です。複数の施工業者等から見積りを徴取してご検討ください。
- 本提案の照明器具リストは、代表的な照明設備及び台数について記載してあります。貴事業所全体において、その他の効率の悪い照明器具があった場合は、LED 照明器具に交換することにより省エネ効果が得られます。
- 照明設備の選定機種等によっては税が減免されます。詳細は■東京都支援策 ④【中小企業者向け省エネ促進税制（法人事業税・個人事業税の減免）】をご参照ください。



別添別紙8

R6年度_診断ツール対象建物用途一覧

No	建物用途（大項目）	建物用途（小項目）	説明	備考
1	テナントビル	オフィス系	主用途がオフィスのビル	延床面積によって、小規模/中規模/準大規模、に分類
2	テナントビル	商業複合系	主用途が店舗のビル	延床面積によって、小規模/中規模/準大規模、に分類
3	テナントビル	その他	主用途がオフィス、店舗以外のビル、主用途不明のビル)	
4	オフィス	自社ビル	自社ビル等	
5	オフィス	テナント専有部	診断先事業所/診断範囲がテナント入居/テナント専有部	
6	飲食店舗			ベンチマークなし
7	小売店舗			ベンチマークなし
8	旅館・ホテル			
9	学校・教育施設			
10	病院・診療所			
11	保健・介護施設			
12	工場	加工・組立て		ベンチマークなし
13	工場	印刷・製本		ベンチマークなし
14	その他			上記に該当しない用途の場合に選択